

年報

2023年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



2023年度 年報 発刊にあたって

本年報は、2023年度に地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）が実施した事業活動をまとめたものです。是非ご高覧いただき、都産技研における各種の技術支援活動への率直なご意見を頂戴できれば幸いに存じます。

都産技研は、2021年10月に設立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しています。都産技研の使命は、「産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献すること」であり、現在の都産技研憲章（2007年策定）にも謳われています。設立時から一貫して、中小企業の皆さまへの技術支援を通じて東京の産業振興に貢献するという信念のもと日々の業務に励んでおります。

第四期中期計画（2021年4月から2026年3月までの5年間）では、研究開発に基づく技術支援を強化するとともに中小企業の製品化・事業化に貢献することを目指しています。この目標を実現するために、経営方針として「中小企業のイノベーションを加速させる技術支援」、「新技術・新製品に着実につながる研究開発」、「変化に的確に対応できる機動的運営」という3つの柱を掲げています。技術支援と研究開発の相乗効果によって一層高度な支援を展開し、「総合力で頼りになる都産技研」となるよう鋭意努力してまいります。

2023年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻が継続する中、イスラエルとハマスの衝突をはじめとした国際紛争の多発により、世界経済は不確実性を高めております。日本経済においては、デフレ脱却への期待感という明るい材料もありますが、原材料費・燃料費・電気代の高騰、人件費の上昇、円安の影響、脱炭素への取り組みなど中小企業にとっては解決すべき多くの課題があり、厳しい経営環境が続いています。特に深刻化する気候変動への対策として、全世界で脱炭素への取り組みが加速しており、環境に配慮した製品や技術の開発が必須となっています。都産技研では、2023年度、脱炭素に関する中小企業支援策として「サーキュラーエコノミーへの転換支援事業」を開始いたしました。その他の中小企業支援策として、中小企業の海外展開を支援する「海外展開競争力強化支援事業」、高齢者がいつまでも活躍できる社会の実現に向けた「活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業」、「本部の機器更新整備」、「城東支所の施設整備」を開始いたしました。一方、業務運営の改善の一環として、東京都人事委員会の「令和5年職員の給与に関する報告と勧告」を参考に地方独立行政法人へ移行後初めての給与改定を実施しました。

都産技研は、これからも、中小企業の皆様が必要とされる技術支援を迅速かつ的確に提供できるよう精進してまいります。また、都内事業者の皆様との技術支援などを通じた地に足のついたディスカッションを大切にしつつも、地球規模の気候変動や激動する世界情勢も見据え、東京都の長期戦略や我が国のイノベーション戦略なども参照しながら、価値ある技術を育み、その社会実装に貢献していきたいと考えています。

今後も、一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2024年8月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
理事長 黒部 篤

2023年度 東京都立産業技術研究センター年報

目 次

1. 概 要	1
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援	3
2.1 技術相談	3
2.1.1 技術相談実績	3
2.2 依頼試験	3
2.2.1 依頼試験実績	3
2.2.2 計量法校正事業者登録制度への取り組み	4
2.2.3 環境計量証明事業の登録	4
2.3 機器利用	5
2.3.1 機器利用実績	5
2.3.2 機器利用ライセンス制度	5
2.4 オーダーメイド型技術支援	6
2.4.1 オーダーメイド型技術支援実績	6
2.4.2 外部専門家を利用した支援	6
2.5 基盤研究・協創的研究開発	7
2.5.1 基盤研究	7
2.5.2 協創的研究開発	8
2.6 共同研究	9
2.7 外部資金導入研究・調査	10
2.7.1 提案公募型研究	10
2.7.2 受託研究	11
2.8 研究成果の普及活動	11
2.9 職員の受賞	30
2.10 知的財産権	31
2.10.1 知的財産権保有件数	31
2.10.2 保有する登録済み知的財産権	31
2.10.3 出願案件	54
2.10.4 消滅案件	55
2.10.5 実施許諾	57
2.10.6 著作権の許諾	60
2.11 機器整備	61

3. 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援	62
3.1 新産業創出支援	62
3.1.1 中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業	62
3.1.2 航空機産業への参入支援事業	64
3.1.3 ものづくりベンチャー育成事業	65
3.2 社会的課題解決支援	66
3.2.1 バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業	66
3.2.2 フードテックによる製品開発支援事業	67
3.2.3 活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業	69
3.2.4 サーキュラーエコノミーへの転換支援事業	69
4. 中小企業等の新事業展開支援	71
4.1 多様な連携によるオープンイノベーション等の促進	71
4.1.1 「東京イノベーション発信交流会2024」の開催	71
4.1.2 異業種交流事業	71
4.1.3 医療機器産業参入支援	72
4.1.4 業種別交流会	73
4.1.5 技術研究会	73
4.1.6 技術審査	73
4.1.7 首都圏公設試験研究機関との連携	73
4.1.8 協定・覚書締結一覧	74
4.2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援	77
4.2.1 製品開発支援ラボ	77
4.2.2 スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組み	78
4.3 海外展開の促進	78
4.3.1 海外展開技術支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）	78
4.3.2 海外支援拠点（バンコク支所）	80
5. 地域や支所の特色を活かした支援	81
5.1 多摩テクノプラザ	81
5.2 城東支所	81
5.3 墨田支所	82
5.4 城南支所	82
5.5 食品技術センター	82

6. 東京の産業を支える産業人材の育成	83
6.1 技術セミナー・講習会	83
6.2 委員・講師などの派遣	88
6.2.1 委員などの派遣	88
6.2.2 講師などの派遣	88
6.3 インターンシップなどの受け入れ	89
6.3.1 インターンシップの受け入れ	89
6.3.2 研修学生の受け入れ	89
7. 情報発信の推進	90
7.1 イベント開催	90
7.1.1 TIRI クロスミーティング	90
7.1.2 産業交流展	90
7.2 展示会出展	91
7.3 刊行物	93
7.3.1 冊子	93
7.3.2 TIRI NEWS	93
7.3.3 note	94
7.4 都産技研ウェブサイト	94
7.5 都産技研メールニュース	94
7.6 マスコミ報道	94
7.7 図書室	96
8. 業務運営	97
8.1 組織運営	97
8.1.1 組織体制および運営	97
8.1.2 人材育成	97
8.2 施設整備	97
8.2.1 本部・DX 推進センター	98
8.2.2 城東支所	99
8.2.3 墨田支所	99
8.2.4 城南支所	99
8.2.5 食品技術センター	99
8.2.6 多摩テクノプラザ	100
8.3 安全衛生管理	101
8.3.1 安全衛生管理	101
8.3.2 化学物質等管理	102
8.3.3 高圧ガスの管理	102
8.3.4 放射線安全管理	102

8.4	社会的責任	105
8.4.1	リスクマネジメント	105
8.4.2	内部統制	105
8.4.3	情報開示	106
資料		107
1	沿革	107
2	施設	108
3	東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	116
4	2023年度 年度計画	117

1. 概要

1.1 概要

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、2006年4月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行した公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）である。法人化18年目であり、第四期中期計画の3年目にあたる2023年度は、活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業の開始、サーキュラーエコノミーへの転換支援事業の開始、法人化以降初の例月給与改定などの取り組みを実施した。

(1) 活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業の開始

障害者の社会参加と共生社会の実現のために、日常の活発な活動を支える障害者等向けの新製品・新技術の開発について、公募型共同研究を2テーマ実施した。

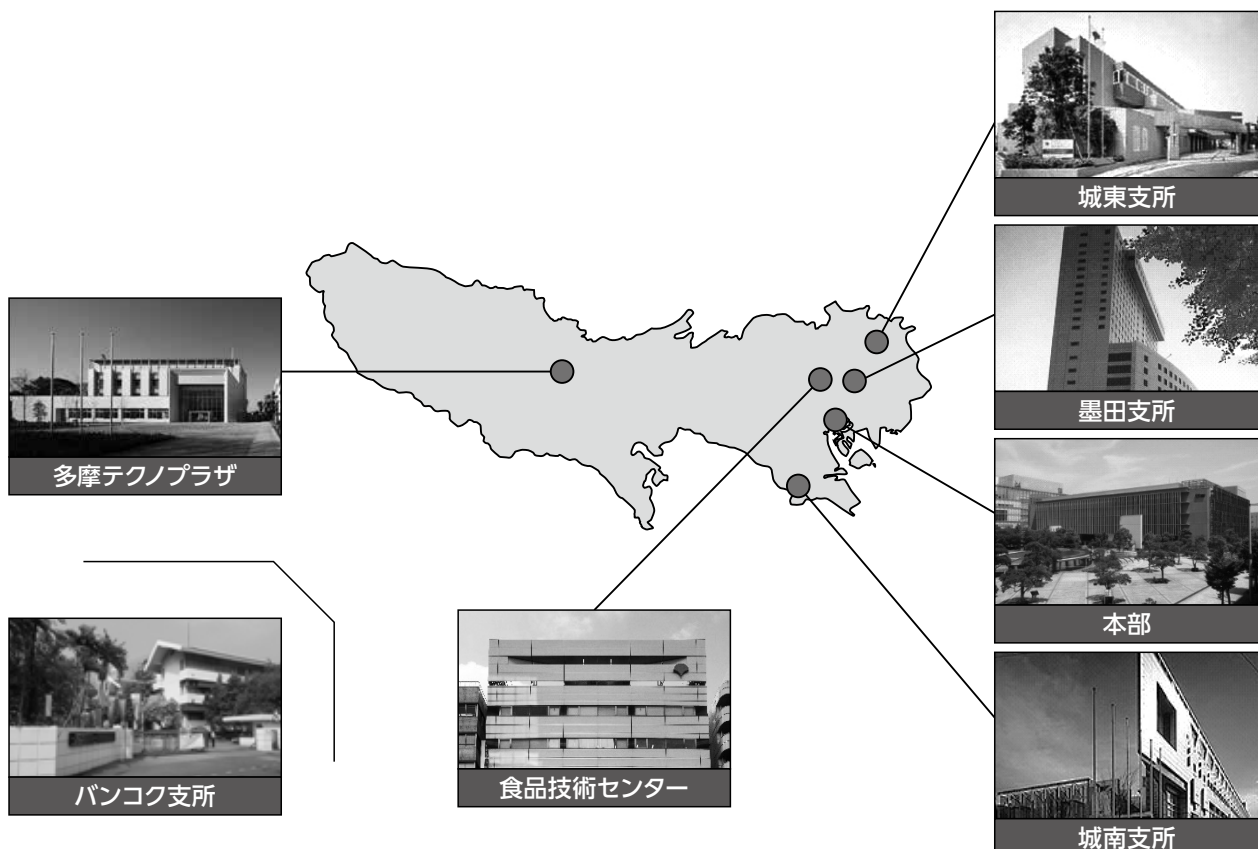
(2) サーキュラーエコノミーへの転換支援事業の開始

サーキュラーエコノミー実現のため、中小企業を対象とした技術動向・技術潮流の調査を行い、今後向かうべき方向性を示すナビゲーションマップを作成した。また、オンラインセミナーを開催し、公募型共同研究の募集を開始した。

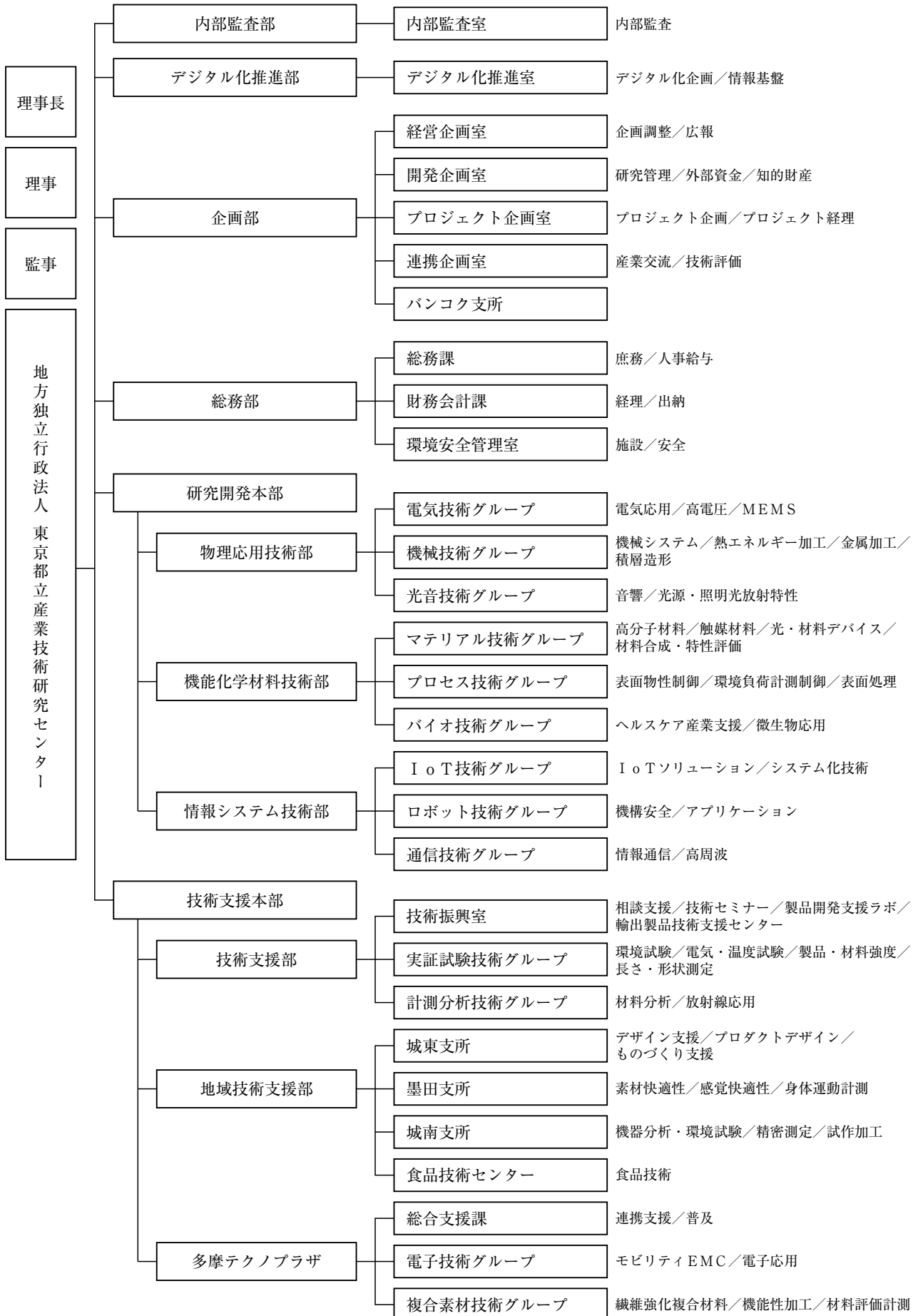
(3) 例月給与改定

多くの民間企業、公務員などが賃上げを行う社会情勢の中で、都産技研でも人事院勧告および東京都人事委員会勧告を踏まえて、初任給を始め若年層に重点を置いた例月給与の改定を独法化後初めて実施した。

都産技研は都民の期待に応えつつ、中小企業に対する事業化支援、研究開発、技術移転、人材育成などの総合的な技術支援によって、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



1.2 組織



2024年3月31日現在

2. 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援

2.1 技術相談

2.1.1 技術相談実績

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。

技術相談は、製造業だけでなく、ものづくりに関連するサービス産業などからも13,264件あり、技術相談の総数は59,000件であった。なお、デジタル媒体を活用した技術相談は40%であった。

2.2 依頼試験

2.2.1 依頼試験実績

中小企業の生産活動に必要な製品、部品、材料などについて、日本産業規格（JIS）などに定める各種の試験、測定、分析、加工などを実施し、試験報告書を発行した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

2023年度の依頼試験の実績を以下の表に示す。

2023年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	件数	金額（円）
（共通事項）試験報告書等の交付に関わる項目	1,399	804,070
1. 各種試験に関わる事前の処置	1,631	4,077,740
2. 強度試験	15,842	34,786,410
3. 材料又は製品の環境試験及び性能試験	50,053	94,396,870
4. 材料特性試験	5,643	23,826,080
5. 顕微鏡観察	1,253	2,889,980
6. 化学分析	10,719	81,576,980
7. バイオ分析	0	0
8. ガラス技術	639	1,221,830
9. 工業製品の微生物試験	2,106	3,939,340
10. におい分析試験	1,094	8,006,010
11. 繊維・複合材料評価試験	3,861	8,436,500
12. 食品試験	600	2,509,340
13. 非破壊透視試験	6,073	33,259,090
14. 放射線試験	3,037	4,177,600
15. 精密測定	3,703	9,292,110
16. 校正試験	2,596	7,826,290
17. 電気安全試験	958	4,631,360
18. 高電圧試験	2,768	11,189,810
19. EMC試験	777	7,299,350

試験項目	件数	金額 (円)
20. 高速通信試験	1,169	1,636,890
21. 光放射計測	1,158	7,148,440
22. 音響試験	1,553	11,859,480
23. 加工又はデザイン	850	1,146,710
24. サービスロボット評価試験	14	140,590
25. 航空機規格試験	544	1,324,450
26. ヘルスケア関連評価試験	617	8,448,580
合 計	120,657	375,851,900

2.2.2 計量法校正事業者登録制度への取り組み

2006年度から、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、2008年度から、英文の校正証明書の発行を開始した。

2023年度は、4年に1度の登録更新審査を受検し、既存の項目に加え新たに、長さでは「幾何偏差」、「最小二乗直径」および「球の平均直径」、電気では「交・直流電圧測定装置」と「交・直流電流測定装置」の追加が認められた。

これらの項目は国際MRA対応の認定を受けており、国際相互承認の証であるILAC MRA（相互承認取決）認定シンボルを付与したJCSS校正証明書の発行が可能である。都産技研の発行する校正証明書は、ILAC MRAに加盟する世界115国・地域（2023年7月現在）で有効である。



都産技研は、認定基準としてISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) および国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

都産技研は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0184は、都産技研の認定番号です。

2.2.3 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、2008年度に区分「濃度」、「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。2011年10月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。

2.3 機器利用

2.3.1 機器利用実績

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について、技術的なアドバイスをを行った。

2023年度の機器利用の実績を以下の表に示す。

2023年度機器利用（試験項目別）実績

機器利用項目	件数	金額（円）
（共通項目）機器利用に関わる共通項目	14,839	12,934,820
1. 強度試験機	3,800	4,749,250
2. 物理特性試験機	1,555	3,249,750
3. 観察機器	5,040	9,728,310
4. 化学分析機器	1,732	4,241,820
5. バイオ分析機器	13	18,720
6. 環境試験機器	64,321	33,982,510
7. 電源機器	2,074	2,067,380
8. 電気測定機器	4,104	5,832,820
9. MEMS 関連機器	2,137	3,213,210
10. EMC 試験機器	5,648	17,781,250
11. シミュレーションシステム	267	641,430
12. 精密測定機器	1,586	2,719,100
13. 加工機器	2,157	3,311,200
14. 立体造形機器	19,264	18,155,100
15. デザイン支援機器	1,344	1,697,470
16. 繊維計測・生産加工機器	2,685	3,705,180
17. 生活科学計測機器	3,678	3,683,200
18. 食品関連機器	4,285	1,611,880
19. サービスロボット評価機器	816	2,099,850
20. ヘルスケア関連機器	11,453	9,791,780
21. IoT 評価機器	633	2,325,240
合 計	153,431	147,541,270

2.3.2 機器利用ライセンス制度

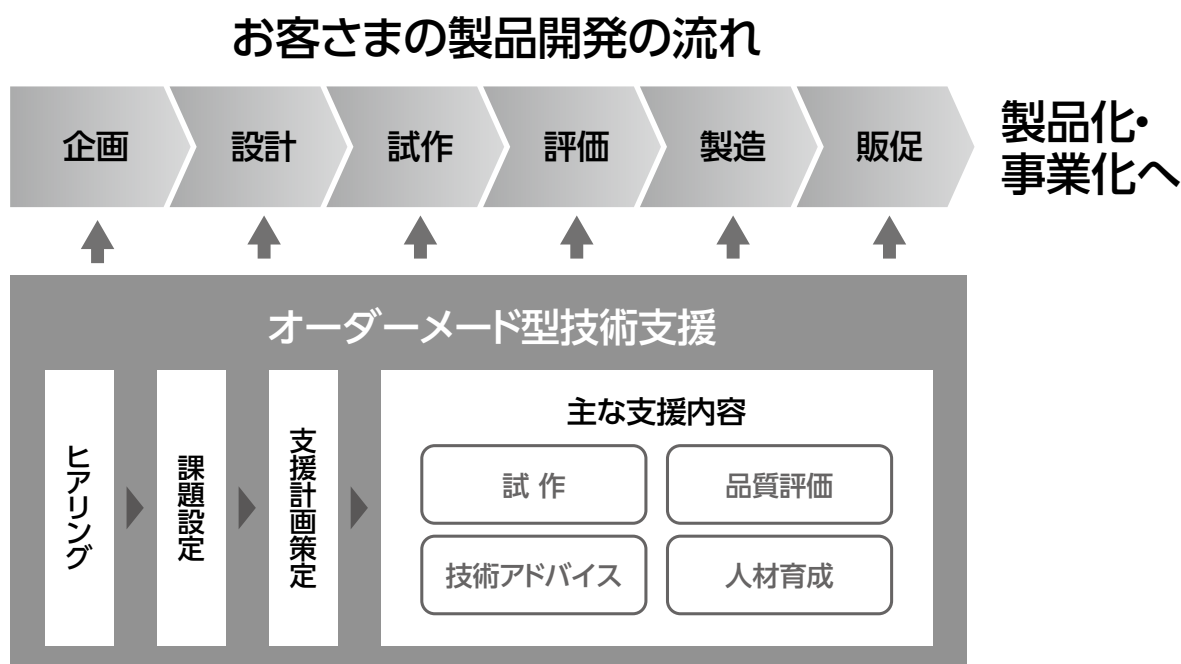
2012年2月から機器利用ライセンス制度を導入し、要望が多かった高性能で操作に習熟が必要な装置を対象機器とした。現在、対象機器は合計14機種である。利用希望者には、利用方法習得セミナー受講後「機器利用ライセンスカード」を交付している。2023年度は、153枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は1,458枚となった。

2.4 オーダーメイド型技術支援

2.4.1 オーダーメイド型技術支援実績

中小企業の開発段階（企画から販売促進まで）に応じたきめ細かい支援を行うために、製品の試作、品質評価、技術アドバイス、人材育成までさまざまなメニューを組み合わせて柔軟に対応するオーダーメイド型技術支援を実施した。日本産業規格（JIS）などに定めのない分析・評価や試作、人材育成のための実習などを適宜組み合わせるとともに、各技術分野の連携を強化して、包括的に支援を行った。

2023年度は607件に対応し、中小企業の目的達成に寄与した。



2.4.2 外部専門家を利用した支援

都内に事業所を持つ中小企業に対して、製造や販促など、実際の生産工程等への技術アドバイスができる外部専門家とともに技術支援を実施した。2023年度は3社3件の利用があり、外部専門家が支援を行った日数は延べ14日であった。

2.5 基盤研究・協創的研究開発

2.5.1 基盤研究……………55テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

No.	テーマ名	期間
1	矩形波インピーダンス法の高電圧化による絶縁材料の非破壊診断法の検討	2023年5月～2024年3月
2	メタサーフェス光学フィルタ原理検証と微細加工技術の検討	2023年5月～2024年3月
3	界面制御熱電薄膜構造のドーピング制御による界面効果の評価	2023年5月～2024年3月
4	ラティス構造を有する熱交換器の熱交換特性の解析	2023年5月～2024年3月
5	リップ付きハードルアーの水中挙動解析	2023年5月～2024年3月
6	多孔質 AM 材の吸音特性	2023年5月～2024年3月
7	再結晶化温度以下で実施するレーザー焼結の収縮形状の体系的調査	2023年5月～2024年3月
8	面内曲げ部品成形法の開発	2023年5月～2024年3月
9	難加工材のセミダイレス加工によるプレス成形の達成	2023年5月～2024年3月
10	紫外光領域における光拡散特性評価装置と光拡散制御方法の開発	2023年5月～2024年3月
11	空間的・時間的に分布する光の心理的評価方法確立に向けた検討	2023年5月～2024年3月
12	背景騒音および他者の存在を考慮した騒音評価手法の開発	2023年5月～2024年3月
13	音声情報漏洩防止と非常放送聴取を両立する可動式小型ブース構造の開発	2023年5月～2024年3月
14	有機物が吸着した酸化鉄(III)表面のPYSA法による電子状態評価と光触媒活性の考察	2023年5月～2024年3月
15	無機有機積層技術の開発	2023年5月～2024年3月
16	改質した多孔質シリカを利用した吸着材料の開発	2023年5月～2024年3月
17	任意の面における機能性を有したGFRPの開発	2023年5月～2024年3月
18	新規メカノクロミック化合物の有機半導体材料としての展開	2023年5月～2024年3月
19	芳香族縮環チオフェン構造を有するn型ポリマーの開発	2023年5月～2024年3月
20	コンポジット材料のフィラー分散評価手法の開発	2023年5月～2024年3月
21	ペロブスカイト型ハロゲン化物による希土類フリー赤色蛍光体の創成	2023年5月～2024年3月
22	熱硬化性CFRPへのめっきに適したプライマーの開発	2023年5月～2024年3月
23	ホウ素使用量削減に向けたニッケルめっき液の開発	2023年5月～2024年3月
24	腐食過程の可視化装置を用いた試験における腐食機構の検討	2023年5月～2024年3月
25	排水処理工程管理用センサの設置環境による影響に関する研究	2023年5月～2024年3月
26	近傍磁界結合法の開発	2023年5月～2024年3月
27	放射・環状流路を有する遠心式羽根車の流路本数がポンプ性能に及ぼす影響	2023年5月～2024年3月
28	強度試験におけるひずみ可視化による製品開発の高度化	2023年5月～2024年3月
29	非接触式測定機の校正における不確かさ評価	2023年5月～2024年3月
30	LA-ICP-MSによる定量分析に向けた新規試料作製法の開発	2023年5月～2024年3月

No.	テーマ名	期間
31	ペプチドを用いた蛋白質センサーの感度及び標的特異性評価	2023年5月～2024年3月
32	ウォーターマークと乾湿繰り返しによる黄銅の腐食挙動	2023年5月～2024年3月
33	コロイド粒子集合体をベースにした機能性構造色材作製プロセスの開発	2023年5月～2024年3月
34	長期保存を目的としたソフトエレクトロンによる諸島産レモンの表面カビ殺菌法の開発	2023年5月～2024年3月
35	高エネルギー放射線透過撮影試験デジタル撮影方法のスクリーン効果検討	2023年5月～2024年3月
36	X線CTスキャンデータ解析技術の向上	2023年5月～2024年3月
37	バイオベース度測定の効率化に係る研究	2023年5月～2024年3月
38	リソグラフィーへの利用に向けた軟X線によるエネルギー付与の検討	2023年5月～2024年3月
39	圧力分布を考慮した握り心地の良い製品デザイン手法の検討	2023年5月～2024年3月
40	ストロー補助具の感性評価によるデザイン開発	2023年5月～2024年3月
41	ユニバーサルデザインを考慮した包装容器の開封方法の検討	2023年5月～2024年3月
42	三次元スキャナの死角低減方法の検討	2023年5月～2024年3月
43	食用コオロギ臭に寄与する成分の特定	2023年5月～2024年3月
44	上肢サポート製品の保温性予測に向けた研究	2023年5月～2024年3月
45	東京都オリジナル清酒酵母の開発	2023年5月～2024年3月
46	微小加工穴の簡易測定方法の検討	2023年5月～2024年3月
47	X線CTスキャンを活用した形状の隙間自動検出技術の開発	2023年5月～2024年3月
48	機械学習を用いた近傍界・遠方界推定手法の測定領域拡張と高周波数分解能化	2023年5月～2024年3月
49	車載放射エミッションの簡易測定	2023年5月～2024年3月
50	導電性テキスタイル構造の適正設計の検討	2023年5月～2024年3月
51	染色技術を応用した造形物の高強度化	2023年5月～2024年3月
52	現場環境における三次元測定機の温度補正評価の効率化	2023年5月～2024年3月
53	導電性テキスタイルの屈曲耐久性の検討	2023年5月～2024年3月
54	CFRTPを用いたアルミニウム/CFRP接合法の検討	2023年5月～2024年3月
55	金型レス印刷賦形品の高強度化	2023年5月～2024年3月

2.5.2 協創的研究開発……………1テーマ

社会の多様化・急激な変化などを背景とした複層的な技術課題の解決を図るため、研究部門を超えて、都産技研の技術分野を横断・融合したテーマ設定型の研究開発事業である。

No.	テーマ名	期間
1	排熱回収およびIoTセンサー用自立電源を目的とした中低温域熱電材料の高性能化	2023年6月～2025年3月

2.6 共同研究……………32テーマ

一歩進んだ技術の事業化・製品化に向け、都内中小企業や業界団体、大学、公的試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、共同で推進する研究である。

No.	テーマ名	期間
1	転移がん細胞ハイスループット識別法の開発	2022年5月～2024年3月
2	ゴルフクラブにおける打撃反発係数の予測技術の高度化	2022年10月～2023年9月
3	低着火性マグネシウム合金粉末の積層造形技術の検討	2022年10月～2023年9月
4	ひずみ速度を考慮したバウシング効果の特性取得および有限要素解析への適用	2022年10月～2023年9月
5	異方性ヘテロ凝固核を含有したアルミニウム合金粉末のレーザー積層造形技術開発	2022年10月～2023年9月
6	軽量金属材料の高速・高精度多段絞り加工による小径管製造	2022年10月～2023年9月
7	明るさ感受性測定方法の確立および測定システムの開発に関する研究	2022年10月～2023年9月
8	低位相差高精度複屈折計測法の開発	2022年10月～2023年9月
9	時計用文字盤の黒色化技術の開発	2022年10月～2023年9月
10	裏面鏡の再資源化システムの開発	2022年10月～2023年9月
11	二輪車用コンバージョンシステムの開発	2022年10月～2023年9月
12	緋板用図案のデジタル化の検討	2022年10月～2023年9月
13	人工ダイヤモンドの研磨技術の開発	2023年1月～2023年9月
14	ストロー補助具の製品化にむけた改良	2023年1月～2023年9月
15	高効率なDCモータ用速度コントローラの開発	2023年5月～2024年3月
16	食品容器包装のプラスチック使用量削減を目指した異素材射出成型品の開発	2023年5月～2024年3月
17	シンクロバイアス機構による金型用HiPIMS-DLC膜の硬質化技術の開発	2023年5月～2024年3月
18	制御コードおよびハードウェアの安全性を考慮したB to B向けIoTコントローラの開発	2023年5月～2024年3月
19	ポンプパラメータを活用した吐出流量推定技術の確立	2023年5月～2024年3月
20	緊急時の人命探査と平時の見守りが可能なレーダーデバイスユニットの開発	2023年5月～2024年3月
21	蚕を原料とした新たな高タンパク質食品の製造技術開発	2023年5月～2024年3月
22	水中における境界面測定センサーの開発	2023年5月～2024年3月
23	農業向け光計測モジュールの開発	2023年5月～2024年3月
24	ナノバブル水の活性酸素発生機構	2023年6月～2024年3月
25	ScN系混晶半導体の物性開拓	2023年6月～2024年3月
26	分岐構造を有する油性ポリマーのトライボロジー特性	2023年7月～2024年3月
27	プレス加工における不整形抑制技術の開発	2023年10月～2024年9月
28	ゴルフクラブ形状がミート率に及ぼす影響に関する研究	2023年10月～2024年9月
29	超高速飛翔体衝突によるラティス構造PA12の変形挙動の解明	2023年10月～2024年9月
30	ゲノム編集技術UCAYのgRNA設計最適化	2023年10月～2024年9月
31	精密加工機用全自動レベル出し調整装置の開発	2023年10月～2024年9月
32	熱伝導率測定装置用デバイスの開発	2023年10月～2024年9月

2.7 外部資金導入研究・調査

2.7.1 提案公募型研究……………76テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においてはその積極的な獲得に努めている。

2023年度に実施した研究は、文部科学省の「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」をはじめ、以下のとおりである。

開始年度	研究費配布機関	事業名	件数 ()内は分担数
2019	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	1 (0)
2020	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	2 (1)
		科学研究費助成事業 若手研究	2 (0)
	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	海洋生分解性プラスチックの社会実装に向けた技術開発事業	1 (1)
2021	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	3 (3)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	8 (2)
		科学研究費助成事業 国際共同研究強化 (B)	1 (1)
		科学研究費助成事業 若手研究	1 (0)
	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)	2 (0)
	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	1 (1)
	(国研)日本医療研究開発機構	医療研究開発推進事業費補助金(医薬品等規制調和・評価研究事業)	1 (1)
(公財)天田財団	奨励研究助成	1 (0)	
2022	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	2 (2)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	5 (1)
		科学研究費助成事業 若手研究	2 (0)
		科学研究費助成事業 研究活動スタート支援	1 (0)
	経済産業省	成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)	4 (0)
	(国研) 科学技術振興機構	研究成果最適展開支援プログラム トライアウト	1 (0)
		研究成果最適展開支援プログラム 産学共同(育成型)	1 (1)
	(公財)精密測定技術振興財団	調査・研究事業	1 (0)
(公財)津川モーター研究財団	研究助成金	1 (0)	
2023	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	1 (1)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	12 (3)
		科学研究費助成事業 若手研究	6 (0)
		科学研究費助成事業 萌芽研究	1 (0)
	(国研)日本医療研究開発機構	橋渡し研究支援機関学校法人慶應義塾(採択シーズ A)	1 (0)
		医療機器等研究成果発展事業(チャレンジタイプ)	1 (0)
		医療機器等研究成果展開事業(開発実践タイプ)	1 (1)
(国研) 科学技術振興機構	大学発新産業創出基金事業 可能性検証	1 (0)	

開始年度	研究費配布機関	事業名	件数 ()内は分担数
2023	(公財) 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	2022 年度学術研究助成金	1 (0)
	(一財) 日本鋳業振興会	2023 年度試験研究助成金	1 (1)
	物質・デバイス領域共同研究拠点	基盤共同研究	1 (0)
	(公財) スズキ財団	2022 年度科学技術研究(一般) 助成金	1 (1)
	荒川区	地域産業活性化研究補助金	1 (0)
	(公財) 軽金属奨学会	統合的の先端研究助成金	1 (1)
	(公財)天田財団	一般研究開発助成	1 (0)
		国際会議等参加助成(若手研究者枠)(後期)	1 (0)
	(一財) 鷹野学術振興財団	研究助成	1 (0)
(公財) 大倉和親記念財団	研究助成	1 (0)	

2.7.2 受託研究……………15件

企業などからの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、緊急な技術課題に対して即応できるという特徴がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、機密性が高いことも受託研究の特徴の一つである。2023年度は、15件の研究・調査を実施し、6,266,940円の受託研究費を受け入れた。

2.8 研究成果の普及活動

基盤研究などの成果普及は、学協会などへの論文投稿、口頭発表等を通じて行っている。また、依頼講演や依頼原稿を通じて成果普及を行うことで、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

2023年度は計318件の成果普及を行った。発表の実績は以下のとおりである。

論文発表(査読あり) 39件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
1	Ti-6Al-4V 合金板の温間逐次成形における成形性に及ぼす成形条件の影響	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	(一社)日本塑性加工学会	塑性と加工
2	英語シャドーイング学習用 VR システムの開発と被験者による主観評価	大平倫宏	(一社)情報処理学会	情報処理学会論文誌デジタルプラクティス
3	Natural band alignment of MgO _{1-x} S _x alloys	太田優一 ほか3名	AIP Publishing	AIP Advances
4	Penetration depth optimization for proper interlayer adhesion using near-infrared laser in a low-temperature process of PBF-LB/P	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	Elsevier	Journal of Manufacturing Processes
5	Pretreatment with fine bubbles for effective zinc ion precipitation and removal from zinc electroplating wastewater	森久保 諭 西田 葵 榎本大佑 成田武文 田熊保彦	Wiley	The Canadian Journal of Chemical Engineering

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
6	Quantification of supplied laser energy and its relationship with powder melting process in PBF-LB/P using near-infrared laser	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	Elsevier	Journal of Manufacturing Processes
7	DX時代における農業水利施設保全へのロボットの活用	高橋文緒 ほか9名	(公社)農業農村工学会	農業農村工学会誌
8	Measurement of the infusion flow rate of a novel non-electrically driven infusion pump in determining the influencing factors on its flow performance	加藤貴司 ほか9名	Elsevier	Measurement
9	Improvement of user interface of blind football play-by-play system for visually impaired spectators-tangible sports	大島浩幸 島田茂伸 ほか1名	Springer	HCI International 2023 Posters Part2
10	Steady-state and dynamic characteristics of deep UV luminescence in rock salt-structured Mg _x Zn _{1-x} O	太田優一 ほか12名	AIP Publishing	Journal of Applied Physics
11	Quantitative analysis of powder samples using screen-printing techniques as sample preparation methods for LA-ICP-MS	小林真大 並木宏允 林 英男	Springer	Analytical Sciences
12	複数スイッチング電源における遠方界測定ノイズの分離推定	佐野宏靖 鈴木 聡 佐々木秀勝 金田泰昌 ほか1名	(一社)電子情報通信学会	電子情報通信学会論文誌 B
13	メチルメタクリレート系コポリマーのトライボロジー特性	中村健太 成田武文 林 孝星 ほか2名	(一社)日本トライボロジー学会	トライボロジスト
14	Development of warm and cold tube forming of Ti-6Al-4V alloy by press forming	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 村岡 剛 片桐 嵩	Springer, Cham	Proceedings of the 14th International Conference on the Technology of Plasticity - Current Trends in the Technology of Plasticity
15	Effect of initial cross-sectional shape on bent shape in "bending and compression method" for forming in-plane bent sheet metal	村岡 剛 奥出裕亮 ほか2名	Springer, Cham	Proceedings of the 14th International Conference on the Technology of Plasticity - Current Trends in the Technology of Plasticity
16	High linear energy transfer (LET) nature of alanine radical yield by soft X-ray irradiations studied by electron spin resonance (ESR) applications	中川清子 ほか7名	Elsevier	Radiation Physics and Chemistry
17	Development of a silicone-based radio-fluorogenic dosimeter using dihydrorhodamine 6G	中川清子 ほか4名	Elsevier	Physica Medica
18	Time-reduction imaging method for scanning-probe microscopy using a compressed sensing algorithm based on sequential reconstruction method	上田啓市 ほか4名	The Ceramic Society of Japan	Journal of the Ceramic Society of Japan
19	シアノアクリレート系接着剤の接着強度に及ぼす力学的因子と化学的因子の影響	古杉美幸 ほか5名	(一社)日本接着学会	日本接着学会誌
20	果汁を用いて加水分解した大豆タンパク質の乳化性	野田誠司 ほか4名	(公社)日本食品科学工学会	日本食品科学工学会誌
21	Evaluation of exothermicity of moisture absorption and endothermicity of moisture release characteristics of clothing materials using "Two connected artificial climate chambers" and contact and non-contact temperature sensors	山口隆志 ほか4名	(一社)繊維学会	Journal of Fiber Science and Technology
22	Enhancing dispersibility of paramylon nanofiber suspensions through water-jet defibrillation treatment	成田武文 ほか5名	材料技術研究協会	材料技術
23	Single-step synthesis of highly porous nitrogen-doped carbon by solid-gas mechanochemical treatment as an oxygen reduction electrocatalyst	立花直樹 並木宏允 柴川正一	The Electrochemical Society of Japan	Electrochemistry

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
24	気液分離器を用いたCFA法によるアンモニア態窒素分析手法開発	森久保 諭 榎本大佑 田熊保彦 ほか5名	環境技術学会	環境技術
25	亜鉛めっき排水由来の層状複水酸化物によるほう素吸着材への適用の検討	榎本大佑 田熊保彦 森久保 諭 柳田さやか ほか1名	(公社)化学工学会	化学工学論文集
26	Nanocellulose hydrogels formed via crystalline transformation from cellulose I to II and subsequent freeze cross-linking reaction	永川栄泰 ほか7名	Elsevier	Carbohydrate Polymers
27	ナノギャップデバイスによる真空度測定 of 検討	小宮一毅 永田晃基 山岡英彦 伊達修一 宮下惟人 ほか1名	(一社)電気学会	電気学会論文誌E (センサ・マイクロマシン部門誌)
28	Catalytic oxidation process and thermal characteristics of toluene and butyl acetate vapor in an oven	井上研一郎	Rangsit University	Journal of Current Science and Technology
29	Realization of cathodoluminescence in the 180 nm spectral range by suppressing thermal stress in mist chemical vapor deposition of rocksalt-structured MgZnO films	太田優一 ほか11名	IOP publishing	Japanese Journal of Applied Physics
30	Color-changing paper: Cellulose nanofiber films incorporating mechanochromic fluorenylidene-acridane	小汲佳祐 瀧本悠貴 永田晃基 三柴健太郎 ほか8名	American Chemical Society	ACS Applied Engineering Materials
31	Plasticizer-gelatin mixed solutions as skin protection materials with flexible-film-forming capability	永川栄泰 ほか4名	Elsevier	Heliyon
32	Practical experimental design and uncertainty evaluation method for dimensional and form measurements using coordinate measuring machines	三浦由佳 中西正一 ほか5名	Elsevier	Measurement
33	Radiation sensitivity of Aspergillus niger of low-energy X-rays and Caesium-137 gamma rays	片岡憲昭 関口正之 ほか7名	Elsevier	Radiation Physics and Chemistry
34	Development and environmental evaluation of 10-W class-F power amplifier for microwave-discharge ion thruster on satellites	近藤 崇 藤原康平 ほか4名	IEEE	Proceedings of 2023 Asia-Pacific Microwave Conference (APMC)
35	Development and environmental evaluation of a 1-W-class dielectric resonator oscillator for a microwave-discharge ion thruster on satellites	藤原康平 近藤 崇 ほか4名	IEEE	Proceedings of 2023 Asia-Pacific Microwave Conference (APMC)
36	The size-dependent valence and conduction band-edge energies of Cu quantum dots	染川正一 柳田さやか ほか4名	Royal Society of Chemistry	Chemical Communications
37	小松菜乾燥粉末中のカロテノイドのバイオアクセシビリティに対する粉末粒子径と乳化剤の影響	石本太郎 ほか1名	(公社)日本食品科学工学会	日本食品科学工学会誌
38	An experimental verification of fungal overgrowth in temporary houses at the site of the Great East Japan Earthquake	小沼ルミ ほか8名	The Society for Antibacterial and Antifungal Agents, Japan	Journal of Microorganism Control
39	Bandgap engineering of spinel-structured oxide semiconductor alloys	太田優一 ほか3名	IOP publishing	Journal of Physics D: Applied Physics

論文発表（査読なし） 2件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
1	Lifelong change detection: Continuous domain adaptation for small object change detection in every robot navigation	武田康司 中村佳雅 ほか1名	Cornell University	arXiv
2	Investigation of vacuum measurement by nano-gap device	小宮一毅 永田晃基 山岡英彦 伊達修一 宮下惟人 ほか1名	Institute of Electrical Engineers of Japan/Wiley	Electronics and Communications in Japan

口頭発表 86件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	Unsupervised image segmentation for rust defect detection by invariant information clustering	石田祐也 ほか3名	2023年5月23日	30th International Conference on Nuclear Engineering
2	指モデル接触子を用いた動的摩擦特性に及ぼす正弦波駆動の影響	齋藤庸賀 吉次なぎ 村井まどか ほか2名	2023年5月29日	トライボロジー会議 2023 春 東京
3	ポリメチルメタクリレート共重合体のトライボロジー特性 (1) ポリメチルメタクリレート共重合体の構造解析と吸着性の評価	成田武文 中村健太 林孝星 ほか2名	2023年5月31日	トライボロジー会議 2023 春 東京
4	ポリメチルメタクリレート共重合体のトライボロジー特性 (2) 極低速下の摩擦特性と部分 EHL 解析	中村健太 成田武文 林孝星 ほか2名	2023年5月31日	トライボロジー会議 2023 春 東京
5	WC-Ni 硬質皮膜の微細組織および機械的特性に及ぼす熱処理プロセスの影響	齋藤庸賀 ほか4名	2023年6月6日	粉体粉末冶金協会 2023 年度春季大会 (第 131 回講演大会)
6	金型形状および材料の異方性に着目した円筒深絞り加工の有限要素解析	村岡 剛 奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩	2023年6月10日	2023 年度塑性加工春季講演会
7	マグネシウム合金板の温間絞りしごき加工と成形シミュレーション	奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2023年6月10日	2023 年度塑性加工春季講演会
8	非線形伝送線路を用いたミリ波信号源の開発	藤原康平 時田幸一 山岡英彦 ほか2名	2023年6月22日	電子情報通信学会 マイクロ波研究会 6月
9	画像処理と機械学習による撥水性試験のデジタル化手法	池田紗織 小柴多佳子 白井菜月 平 健吾 澁谷孝幸	2023年6月25日	日本繊維製品消費科学会 2023 年度年次大会
10	Development of photo-curable resin for 3D printing using acrylic monomers with bisphenol skeleton	藤井紘一 山内友貴 ほか6名	2023年6月30日	第 40 回国際フォトポリマー コンファレンス
11	低エネルギー X 線による食品照射と文化財保護	片岡憲昭 関口正之 ほか7名	2023年7月5日	日本アイソトープ協会 第 60 回アイソトープ・放射線研究発表会
12	インハウス処理を可能とする低エネルギー電子 / エックス線による食品照射	片岡憲昭	2023年7月5日	日本アイソトープ協会 第 60 回アイソトープ・放射線研究発表会
13	24GHz 帯誘電体発振器の開発とその環境試験の実施結果	藤原康平 近藤 崇	2023年7月20日	電子情報通信学会 マイクロ波研究会 6月

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
14	傘を対象とした雨音評価における自然降雨と人工降雨の比較	中村史香 宮入 徹 服部 遊	2023年7月25日	日本機械学会環境工学部門 第33回環境工学総合シンポジウム 2023
15	触覚と聴覚の適合性を考慮したロータリースイッチ操作感覚の把握	宮入 徹 ほか4名	2023年7月25日	日本機械学会環境工学部門 第33回環境工学総合シンポジウム 2023
16	ポリブチレンサクシネートアジペート樹脂フィルムのラボおよび実海域における生分解挙動の比較	佐野 森 田中真美 森久保 諭 奥 優 成田武文 川口雅弘 ほか3名	2023年8月10日	第10回高分子学会グリーンケミストリー研究会シンポジウム、第24回プラスチックリサイクル化学研究会研究討論会 合同研究発表会
17	Dose evaluation and radiation sensitivity of bacillus subtilis spores for low-energy X-rays	片岡憲昭 関口正之 ほか6名	2023年8月11日	15th vietnam conference on nuclear science and technology
18	Considerations of internal void generation process by observation of melting and solidification behavior in low temperature laser sintering of PEEK	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	2023年8月14日	34th Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
19	Determination of input laser energy for melting powder layers of various thicknesses in high-speed PBF-LB/P using nearinfrared laser and absorbent	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	2023年8月15日	34th Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
20	FMBEM simulation of the laboratory measurement of sound transmission loss in rectangular test rooms	西沢啓子 ほか2名	2023年8月21日	52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering
21	Designing the rotary switch operation feeling based on cross-modal correspondences between tactile and auditory sensations	宮入 徹 ほか4名	2023年8月22日	52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering
22	DC モーターの無負荷損測定結果	長谷川 孝	2023年8月24日	2023年電気学会産業応用部門大会
23	タンパク質を主成分とする嚥下困難者用増粘剤の開発	宇田川孝子 遠藤 輪	2023年8月26日	日本食品科学工学会 第70回記念大会
24	梁構造の段階的最適化(SBSO)法の提案	金 大貴 ほか1名	2023年8月28日	Dynamics and Design Conference 2023
25	Invariant information clustering による錯画像セグメンテーション手法に関する検討	石田祐也 ほか4名	2023年8月28日	日本保全学会第19回学術講演会
26	再生基油を用いた切削油剤の切削性能評価	國枝泰博 中村健太	2023年8月28日	2023年度砥粒加工学会学術講演会
27	粉末床溶融結合方式における粉末床の光学特性が溶融領域の広さに及ぼす影響	山内友貴 木暮尊志 小林隆一 藤井紘一	2023年8月29日	2023年度砥粒加工学会学術講演会
28	作業ゆらぎに起因するデジタル化生産プロセス情報と現場改善思考の支援	中川善継 ほか4名	2023年8月30日	2023年電気学会電子・情報・システム部門大会
29	偏波変換メタサーフェスを用いたチップレスRFIDタグのトポロジー最適化	渡部雄太	2023年9月1日	2023年電気学会電子・情報・システム部門大会
30	Sheet-metal bending behaviour considering strain rate and bauschinger effect in finite element analysis	村岡 剛 奥出裕亮 ほか2名	2023年9月5日	17th International Conference on Computational Plasticity
31	第2プログラミング言語のエラー処理学習方法の提案	大原 衛 ほか2名	2023年9月6日	日本工学教育協会 第71回年次大会・工学教育研究講演会
32	トップダウン製法及びボトムアップ製法で作製した酸素欠損型酸化チタンの物性比較	染川正一 柳田さやか 立花直樹 ほか2名	2023年9月7日	日本セラミックス協会 第36回秋季シンポジウム
33	ストリーム暗号 Spritz の疑似乱数応用に向けた統計的検定について	岡部 忠	2023年9月7日	産業応用工学会全国大会 2023

2023年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
34	～企業のみなさんへ～ 人間工学活動に役立つ事例紹介	大島浩幸 ほか5名	2023年9月7日	日本人間工学会第64回大会
35	挟み込み構造型無線電力伝送における相互インダクタンスのコイル間距離・角度特性の解析	秋山美郷 新井宏章 佐野宏靖 ほか3名	2023年9月13日	2023年電子情報通信学会ソサイエティ大会
36	高透過性粉末床の樹脂 PBF におけるレーザーのエネルギー供給量と加工部の粉体層内温度に関する考察	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	2023年9月13日	2023年度精密工学会秋季大会学術講演会
37	現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究－レーザー測長器を用いた温度補正の評価－	大西 徹 ほか1名	2023年9月15日	2023年度精密工学会秋季大会学術講演会
38	腐食環境下におけるアルミナキャリア粒子を用いた摩擦改質層を有する合金鋼の耐食性とフレッチング摩擦特性	石田祐也 桑原聡士 齋藤庸賀 ほか3名	2023年9月19日	第93回マリンエンジニアリング学術講演会
39	特徴点マッチングを用いた走査型プローブ顕微鏡イメージングの熱ドリフト自動補正	上田啓市 ほか5名	2023年9月20日	日本金属学会 2023年秋期(第173回)講演大会
40	EMCにおける放射ノイズ源の効率的探索手法	鈴木 聡	2023年9月21日	令和5年度埼玉県産業技術総合センターオープンラボ
41	反応物を添加した水溶液中における α -Fe ₂ O ₃ 光触媒の大気中光電子収量分光法を用いた表面電子状態の解析	木下真梨子 柳田さやか 染川正一 柳 捷凡 桑原聡士	2023年9月22日	第84回応用物理学会秋季学術講演会
42	Development of warm and cold tube forming of Ti-6Al-4V alloy by press forming	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 村岡 剛 片桐 嵩	2023年9月26日	14th International Conference on the Technology of Plasticity
43	Effect of initial cross-sectional shape on bent shape in "bending and compression method" for forming in-plane bent sheet metal	村岡 剛 奥出裕亮 ほか2名	2023年9月27日	14th International Conference on the Technology of Plasticity
44	WC-Ni 硬質皮膜の微細組織および機械的特性に及ぼす熱処理プロセスの影響	齋藤庸賀 ほか4名	2023年9月28日	日本機械学会 第30回機械材料・材料加工技術講演会
45	軟 X 線照射によるアラニンラジカル生成の X 線エネルギーおよび線量依存性	中川清子 ほか7名	2023年9月28日	日本放射線化学会 第66回放射線化学討論会
46	Wood block imaging and surface sterilization with low energy X-ray	片岡憲昭 関口正和 ほか7名	2023年10月3日	DLU-OMU Symposium "Preservation of Cultural Heritage Using Ionizing Radiation Technology"
47	挟み込み構造型無線電力伝送による漏えい磁界軽減効果の検証	秋山美郷 新井宏章 佐野宏靖 小畑 輝 ほか3名	2023年10月19日	電気学会 A 部門電磁環境研究会
48	AZX912 難燃性マグネシウム合金粉末の積層造形に関するミクロ組織変化	岩岡 拓 小林 且 吉野 徹 ほか2名	2023年10月19日	粉体粉末冶金協会 2023年度秋季大会(第132回講演大会)
49	Hexavalent chromium removal from aqueous media using Cu ₂ O-Au-TiO ₂ photocatalyst	柳田さやか 染川正一	2023年11月7日	15th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies
50	湿式合成 β -リン酸三カルシウムの化学組成が局所構造に及ぼす影響	小西敏功	2023年11月10日	第147回無機マテリアル学会学術講演会
51	On the growth of Ti and Al films on inner-wall of millimeter-sized hole by DC magnetron sputtering	寺西義一 ほか5名	2023年11月13日	TACT 2023 International Thin Films Conference
52	Prototyping of microelectrode devices applied transfer print	小宮一毅 寺西義一 山岡英彦 伊達修一 ほか1名	2023年11月16日	36th International Microprocesses and Nanotechnology Conference

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
53	マイクロ波誘電体共振器の温度特性の評価	藤原康平 近藤 崇 ほか4名	2023年11月17日	電子情報通信学会 マイクロ波研究会 11月
54	金型形状および材料の異方性に着目した純チタンの円筒深絞り加工	村岡 剛 奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩	2023年11月17日	日本塑性加工学会 第74回塑性加工 連合講演会
55	チタン合金板の冷間絞りしごき加工における限界絞り比に及ぼす成形条件の影響	奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2023年11月17日	日本塑性加工学会 第74回塑性加工 連合講演会
56	とろみ剤を添加した緑茶の味	堀江秀樹	2023年11月21日	日本茶業学会 2023年度日本茶業学会 研究発表会
57	ニット生地触感に及ぼす繊維素材の影響	齋藤庸賀 唐木由佑 山田 巧 吉次なぎ 佐々木直里 ほか2名	2023年11月28日	2023年度繊維学会秋季研究発表会
58	二部屋連結人工気候室と各種温度センサーを用いた熱特性評価法の提案とそれを用いた織り物と編み物の比較	山口隆志 ほか4名	2023年11月28日	2023年度繊維学会秋季研究発表会
59	ヘーズ法による複合材料のフィラー分散評価	小出優一郎 磯田和貴 藤原千隼 白波瀬朋子	2023年11月29日	プラスチック成形加工学会 第31回秋季 大会(成形加工シンポジウム'23)
60	射出成形における流動末端部の流れの予測	安田 健	2023年11月29日	プラスチック成形加工学会 第31回秋季 大会(成形加工シンポジウム'23)
61	メカノケミカル法による窒素ドープカーボン酸素還元触媒の合成	立花直樹 並木宏允 柴川正一	2023年12月1日	第50回炭素材料学会年会
62	Compressive properties of strut lattice structure with controlled irregularity	大久保 智	2023年12月11日	AEROFORUM2023
63	フィラー溶出によって得られた多孔質AM部品のフィラー粒径が空孔率に及ぼす影響	藤井紘一 山内友貴 小林隆一 木暮尊志	2023年12月15日	日本付加製造学会 2023年度講演会
64	GYROID 構造型熱交換器の流れ場解析	大久保 智 小見山 楨	2023年12月15日	日本付加製造学会 2023年度講演会
65	PBF-LB/P 造形品質における粉末光学特性と粉末再利用の関連性	小林隆一 山内友貴 木暮尊志 藤井紘一	2023年12月15日	日本付加製造学会 2023年度講演会
66	口腔内での味の広がりをいかに評価するか	堀江秀樹	2023年12月16日	2023年度日本食品科学工学会 中部支部 シンポジウム及び支部大会
67	がん細胞の新たな浸潤性評価手法の開発に向けた微細構造設計	小宮一毅 永田晃基 ほか3名	2023年12月16日	日本機械学会 第34回バイオフロンティア 講演会
68	銅-亜鉛還元コイルを用いた硝酸分析法の開発	森久保 諭 田熊保彦 榎本大佑 ほか5名	2024年2月16日	広島県環境計量証明事業協会 2023年度 研究発表並びに最新技術発表会
69	ワークブースにおける子音に着目した音声情報漏洩防止に関する研究	土屋 洵 渡辺茂幸 宮入 徹	2024年3月8日	日本音響学会第151回(2024年春季) 研究発表会
70	高速摩擦処理した木材表面におけるフッ素処理による撥水性の効果	峯 英一 樋口智寛 西田 葵 ほか4名	2024年3月13日	第74回日本木材学会大会(京都大会)

2023年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
71	高速摩擦処理におけるシランカップリング剤の添加の効果	峯 英一 西田 葵 樋口智寛 ほか4名	2024年3月13日	第74回日本木材学会大会(京都大会)
72	二粒子径粒子添加 GFRP の界面特性に実用環境因子が与える影響	菅井美柚 ほか1名	2024年3月13日	第15回日本複合材料会議
73	回路設計における人工知能利用の一検討	岡部 忠	2024年3月14日	令和6年電気学会全国大会
74	発泡スチロールのリサイクルに新提案	シュイチェン 吉野 徹 小林隆一	2024年3月14日	マテリアルライフ学会 表面・界面物性研究会 2024年春季講演会
75	ベースプレートレス低温 PBF-LB/P の実現性検証	小林隆一 木暮尊志 山内友貴	2024年3月14日	2024年度精密工学会春季大会学術講演会
76	再結晶化温度以下でのレーザー焼結の収縮変形へのレーザー走査の影響に関する研究	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	2024年3月14日	2024年度精密工学会春季大会学術講演会
77	断続的な浸漬を伴う塩水噴霧試験中の鋼板の腐食過程	石田祐也 山田麻祐子 村井まどか 小野澤明良 佐熊範和 ほか3名	2024年3月15日	日本金属学会 2024年春期(第174回)講演大会
78	電気計測器の校正手法の検討と不確かさ評価	倉持幸佑 佐々木正史	2024年3月16日	令和6年電気学会全国大会
79	PQQ 依存型グルコース脱水素酵素固定電極の最適化のためのメチレングリーン電解重合条件の検討	中川朋恵 月精智子 紋川 亮 ほか1名	2024年3月16日	電気化学会第91回大会
80	Localization fault detection method using 2D LiDAR and fisheye camera for an autonomous mobile robot control	中村佳雅 佐々木智典 ほか2名	2024年3月18日	SICE International Symposium on Control Systems 2024
81	窒素及びリンドープカーボン触媒の酸素還元特性	立花直樹 並木宏允 染川正一	2024年3月21日	日本化学会 第104春季年会
82	ZT>1 を示す環境適合型リン系熱電変換材料の熱電特性	並木宏允 佐々木正史 小林真大 立花直樹	2024年3月22日	第71回応用物理学会春季学術講演会
83	TOF 法によるジメシチルポリルエチニルアントラセン誘導体非晶質膜のキャリア移動度評価	三柴健太郎 永田晃基 ほか2名	2024年3月23日	第71回応用物理学会春季学術講演会
84	酸化マグネシウム (MgO) 結晶多形のバンドアライメント	太田優一 ほか2名	2024年3月23日	第71回応用物理学会春季学術講演会
85	貫通流路内に極細白金線マイクロヒータを設けた熱伝導式湿度センサの応答性評価	豊島克久	2024年3月24日	第71回応用物理学会春季学術講演会
86	食用コオロギのにおいに寄与する成分の特定	亀崎 悠 佐々木直里	2024年3月25日	日本農芸化学会 2024年度大会(東京:日本農芸化学会創立100周年記念大会)

ポスター発表 77件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	ニホンウナギ由来株化細胞 EE2 の細胞培養肉原料としての可能性	岸野恵理子 細井知弘 ほか3名	2023年5月13日	第77回日本栄養・食糧学会大会
2	スクリーン印刷を用いた LA-ICP-MS 用試料作製法の開発	小林真大 並木宏允 林 英男	2023年5月21日	日本分析化学会 第83回分析化学討論会
3	高分解能 MALDI-TOF 質量分析法による海洋生分解性ポリエステル共重合組成分布解析	佐野 森 田中真美 森久保 諭 ほか5名	2023年5月24日	第72回高分子学会年次大会
4	Effect of volatile organic compounds produced by wood rotting fungi on mycelial growth	小沼ルミ ほか2名	2023年5月31日	IRG54
5	Impact of adaptive clothing on physical and mental wellness	山田 巧 ほか4名	2023年6月21日	30th National Conference and Exhibition 2023
6	サーマルマネキンを用いた患者向け上肢管理用ケア衣料の温熱特性評価	山田 巧 ほか2名	2023年6月25日	日本繊維製品消費科学会 2023年 年次大会
7	身体特徴を考慮したキーボードデザインの為のユーザビリティ実験 キー間隔検討の為のユーザビリティ実験の報告	福原悠太 加藤貴司 ほか1名	2023年6月25日	日本デザイン学会 第70回研究発表大会
8	Undersampled SPM に関する評価手法の開発	上田啓市 ほか4名	2023年6月27日	日本顕微鏡学会第79回学術講演会
9	リスクアセスメントによる運搬ロボットシステムの遠隔での状態監視の開発と評価	益田俊樹 大塚ま々	2023年6月29日	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2023
10	3次元地図における段差乗り越えを考慮した走行可能領域の抽出	吉村僚太 小西 毅 横山俊幸 ほか1名	2023年6月30日	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2023
11	Growing Neural Gas に基づく3次元空間知覚と2次元環境地図との統合	中村佳雅 益田俊樹 ほか5名	2023年6月30日	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2023
12	Lifelong change detection: Continuous domain adaptation for small object change detection in everyday robot navigation	武田康司 中村佳雅 ほか1名	2023年7月23日	18th International Conference on Machine Vision Applications
13	Improvement of user interface of blind football play-by-play system for visually impaired spectators-tangible sports	大島浩幸 島田茂伸 ほか1名	2023年7月26日	25th International Conference on Human-Computer Interaction
14	Quantitative investigation for novel material showing change of light absorption by mechanical pressure	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	2023年7月26日	31st International Conference on Photochemistry
15	微細溝における細胞の運動特性を指標としたがん細胞識別	小宮一毅 ほか3名	2023年7月28日	東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合 第11回研究交流フォーラム
16	ソフトウェアによる STM の計測時間短縮に関する研究	上田啓市	2023年7月31日	新学術領域研究「機能コアの材料科学」若手の会・領域全体会議 合同会議
17	Pharmaceutical evaluation by near-infrared spectroscopy using a high-intensity light source	藤巻康人 ほか1名	2023年8月21日	21st International Conference on Near Infrared Spectroscopy
18	Impact of post-growth slow-cooling process on the growth of rocksalt-structured MgZnO films by mist CVD	太田優一 ほか8名	2023年9月7日	2023 International Conference on Solid State Devices and Materials
19	LA-ICP-MS による銀めっき膜中のアンチモンおよびセレンの定量	湯川泰之	2023年9月14日	日本分析化学会第72年会

2023年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
20	スクリーン印刷と LA-ICP-MS を用いた粉末試料の定量分析	小林真大 並木宏允 林 英男	2023年9月14日	日本分析化学会第72年会
21	分光センシング技術を用いた医薬品原薬フロー合成工程のリアルタイム解析手法の開発	藤巻康人 ほか5名	2023年9月14日	日本分析化学会第72年会
22	蛍光増強反応を利用した環境試料中の1-ニトロピレン (1-NP) の新規分析手法の開発	藤巻康人 ほか5名	2023年9月14日	日本分析化学会第72年会
23	樹脂構造体内部における接着剤硬化過程の非破壊二次元モニタリング	藤巻康人 古杉美幸 井上 潤 富山真一	2023年9月14日	日本分析化学会第72年会
24	見た目の色の変化を伴うメカノクロミック材料の機械的加工とインクジェットプリンタへの応用	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	2023年9月20日	第84回応用物理学会秋季学術講演会
25	木材腐朽菌由来プロテアーゼ様新規菌体外タンパク質の機能解析	田丸慶明	2023年9月20日	日本木材保存協会第39回年次大会
26	岩塩構造 AlScN のバンドアライメント	太田優一 ほか1名	2023年9月21日	第84回応用物理学会秋季学術講演会
27	ジメシチルポリルエチニルアントラセンの熱物性および電子状態に対するフェニル基導入効果	三柴健太郎 永田晃基 ほか2名	2023年9月22日	第84回応用物理学会秋季学術講演会
28	絶対 PL 量子収率測定を用いた医薬品固形製剤の状態解析	藤巻康人 ほか2名	2023年9月22日	第84回応用物理学会秋季学術講演会
29	親水性及び親油性物質の透過チャンネルを有するケラチンフィルムのヒト爪甲モデルへの応用	永川栄泰 兼本美津 石川雄樹 ほか1名	2023年9月27日	高分子学会 第72回高分子討論会
30	Development of running support device for sports femoral prostheses	千葉浩行 新垣 翔 小林隆一 ほか5名	2023年10月10日	2023 IEEE 12th Global Conference on Consumer Electronics
31	Dopability trend estimations for III-nitride semiconductors and their alloys	太田優一 ほか1名	2023年10月13日	第42回電子材料シンポジウム
32	高速摩擦処理によるトライボ化学反応を利用した木材の表層加工－工具種と反応生成物－	西田 葵 樋口智寛 峯 英一 ほか3名	2023年10月19日	日本木材加工技術協会第41回年次大会
33	訪日外国人を想定したイメージ調査からの飲料容器のデザイン開発	加藤貴司 角坂麗子 ほか1名	2023年10月22日	第14回日本デザイン学会第1支部大会 in 札幌
34	車上測距センサによる走行間積雪量計測システム	櫻庭 彬 大原 衛 島田茂伸 ほか1名	2023年10月25日	情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会 第31回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ
35	高温型配管用テキスタイルヒーターの開発	唐木由佑 窪寺健吾 ほか2名	2023年11月1日	日本繊維機械学会第30回秋季セミナー
36	不織布を用いた炭素繊維強化熱可塑性プラスチックとアルミニウム合金の接着技術の開発	武田浩司 西川康博	2023年11月1日	日本繊維機械学会第30回秋季セミナー
37	燃料電池用集電材の開発	窪寺健吾 ほか2名	2023年11月1日	日本繊維機械学会第30回秋季セミナー
38	軟 X 線照射で生成するアラニンラジカルの ESR イメージング	中川清子 ほか7名	2023年11月2日	第62回電子スピンサイエンス学会年会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
39	不均一な介護用加工食品に対する流動性評価システムの構築	宇田川孝子 平 健吾 富山真一 齋藤庸賀 ほか1名	2023年11月5日	第10回日本サルコペニア・フレイル学会大会
40	Powder bed fusion type 3D printing of pure Al on single crystal of Al ₃ Ti	大久保 智 ほか6名	2023年11月6日	軽金属学会東海支部 特別講演会およびポスター講演会
41	Time-resolved optical emission spectroscopy study on HiPIMS discharge of carbon in Ar atmosphere	徳田祐樹 ほか6名	2023年11月6日	13th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering
42	マグネシウムフリーウィットロカイトの合成と固体NMR 局所構造解析	小西敏功 渡邊禎之	2023年11月7日	第45回日本バイオマテリアル学会大会
43	ヒト爪甲モデルを目指したセラチンフィルムの開発	永川栄泰 兼本美津 石川雄樹 ほか1名	2023年11月7日	第45回日本バイオマテリアル学会大会
44	誘電泳動インピーダンス計測に基づいたマイクロプラスチック数量測定デバイスの検討	山岡英彦 永田晃基 ほか3名	2023年11月7日	電気学会 第40回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
45	加算合成した正弦波による負の誘電泳動を利用した粒子捕集用電極の開発	山岡英彦 永田晃基 ほか3名	2023年11月7日	電気学会 第40回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
46	海洋生分解試験を行ったポリエステルフィルム表面近傍の自由体積サイズ解析	佐野 森 田中真美 森久保 諭 ほか2名	2023年11月9日	日本分析化学会 第28回高分子分析討論会
47	海洋生分解が進行した共重合ポリエステルフィルム残渣の化学構造解析	佐野 森 田中真美 森久保 諭 ほか4名	2023年11月10日	日本分析化学会 第28回高分子分析討論会
48	Estimation of 28GHz band wave propagation using machine learning	渡部雄太 上田啓市	2023年11月13日	21st International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics
49	Natural band alignments of rock-salt structured AlScN and GaScN alloys	太田優一 ほか1名	2023年11月13日	14th International Conference on Nitride Semiconductors (ICNS-14)
50	印刷技術を活用した薄型金属部品賦形技術の検討	平井和彦 峯 英一 渡部友太郎 岩岡 拓 小金井誠司 伊東洋一	2023年11月13日	第9回画像関連学会連合会秋季大会
51	Change of chemical component by thermal action on the wood surface under high-speed friction processing	西田 葵 峯 英一 樋口智寛 ほか4名	2023年11月14日	第33回日本MRS年次大会
52	Effect of post-heat treatment on mechanical properties of additively manufactured 17-4PH stainless steel lattice structures	大久保 智 ほか2名	2023年11月15日	28th IFHTSE2023
53	Powder bed fusion type 3D printing of pure Al on single crystal of Al ₃ Ti heterogeneous nucleation site	大久保 智 ほか6名	2023年11月15日	1st International conference on Creation of Materials by Superthermal Field 2023
54	Surface information detection of scanning probe microscopy topography data via Composite Network	上田啓市 ほか3名	2023年11月16日	36th International Microprocesses and Nanotechnology Conference
55	Evaluation methods for under-sampled scanning probe microscopy with feature correlation	上田啓市 ほか4名	2023年11月16日	36th International Microprocesses and Nanotechnology Conference

2023年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
56	Investigation of spatial resolution of mechanochromism using fluorenylidene-acridane showing visual color change by mechanical pressure	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	2023年11月22日	15th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry
57	高分子ブレンドの加水分解を用いたポリマーモノリスの原料粘度による細孔構造への影響	白波瀬朋子 佐野 森 磯田和貴 奥 優	2023年11月27日	2023年度繊維学会秋季研究発表会
58	合成樹脂の熱分解における複合酸化物のハロゲン化反応	林 英男 ほか6名	2023年12月1日	2023 ハロゲン利用ミニシンポジウム (第15回臭素化学懇話会年会 in 高知)
59	ウォータージェット処理した β -1,3-グルカンのオイル中での高分散化	成田武文 ほか4名	2023年12月2日	令和5年度高分子学会北陸支部若手研究会
60	パラミロンナノファイバー/シルクナノファイバー混合スラリーの特性評価	成田武文 ほか4名	2023年12月2日	令和5年度高分子学会北陸支部若手研究会
61	標的蛋白質検出のためのペプチド修飾 LSPR センサの開発	望月和人 瀧本悠貴 中川朋恵 月精智子	2023年12月6日	第46回日本分子生物学会年会
62	Development and environmental evaluation of 10-W class-F power amplifier for microwave-discharge ion thruster on satellites	近藤 崇 藤原康平 ほか4名	2023年12月7日	2023 Asia-Pacific Microwave Conference
63	Development and environmental evaluation of a 1-W-class dielectric resonator oscillator for a microwave-discharge ion thruster on satellites	藤原康平 近藤 崇 ほか4名	2023年12月7日	2023 Asia-Pacific Microwave Conference
64	Analysis of Si atom diffusion on Si(111)-(7×7) with multiple scanning tunneling microscopy images	上田啓市 ほか4名	2023年12月7日	31st International Colloquium on Scanning Probe Microscopy
65	ミスト CVD 成長した岩塩構造 MgZnO 薄膜における 180nm 帯室温発光の実現	太田優一 ほか9名	2023年12月13日	応用物理学会 第6回結晶工学×ISYSE 合同研究会
66	がん創薬応用に向けた新たな細胞浸潤性評価のための微細構造設計	小宮一毅 永田晃基 ほか3名	2023年12月14日	日本生物物理学会 メカノバイオ討論会 2023
67	うどん生地への付着性を可視化する	畑山博哉 佐藤 健	2024年3月2日	日本食品科学工学会令和6年度関東支部大会
68	流れ分析によるカドミウムを使用しない窒素成分分析法の開発	森久保 諭 田熊保彦 榎本大佑 ほか5名	2024年3月6日	第58回日本水環境学会年会
69	銅-亜鉛還元コイルを用いた連続流れ分析における夾雑物質の影響と対策	森久保 諭 田熊保彦 榎本大佑 ほか5名	2024年3月6日	第58回日本水環境学会年会
70	ガラス基板上的 SnO ₂ 系透明導電膜をウェットプロセスでパターンニングする新規手法開発	小川大輔 並木宏允 宮下惟人	2024年3月14日	日本セラミックス協会 2024 年年会
71	高速摩擦処理における木材表面の化学変化と摩擦条件の関係	西田 葵 峯 英一 樋口智寛 ほか4名	2024年3月14日	第74回日本木材学会大会(京都大会)
72	Aureobasidium pullulans 由来新規 Auxiliary Activity ファミリー 3_1 酵素の機能解析	田丸慶明	2024年3月14日	第74回日本木材学会大会(京都大会)
73	HSP90 検出のためのペプチド修飾 LSPR センサの開発	望月和人 瀧本悠貴 中川朋恵 月精智子	2024年3月22日	第71回応用物理学会春季学術講演会
74	SnO ₂ 系透明導電膜のグルコン酸水溶液中での還元と、それを利用した新規パターンニング法	小川大輔 並木宏允 宮下惟人	2024年3月23日	第71回応用物理学会春季学術講演会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
75	スーパーマイクロポラスシリカの空間を利用したフォトクロミック分子の安定固定化	林 孝星 ほか 2 名	2024 年 3 月 23 日	第 71 回応用物理学会春季学術講演会
76	グレースケールリソグラフィによるフレネルレンズ成形プロセスの最適化	宮下 惟人	2024 年 3 月 23 日	第 71 回応用物理学会春季学術講演会
77	天然海水に含まれる微生物群による低分子有機物の資化性とプラスチックの生分解について	田中真美 佐野 森 森久保 諭 小沼ルミ 三枝静江 奥 優 田丸慶明	2024 年 3 月 28 日	令和 6 年度日本水産学会春季大会

座長 7件

No.	大会などの名称	職員名	年月日	学会などの名称
1	2023 年度全国大会	岩永敏秀	2023 年 9 月 5 日	(一社)照明学会
2	2023 年度精密工学会秋季大会学術講演会	山内友貴	2023 年 9 月 13 日	(公社)精密工学会
3	2023 年秋期・第 182 回全国講演大会	千葉浩行	2023 年 10 月 21 日	(公社)日本鑄造工学会
4	21st International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics	渡部雄太	2023 年 11 月 14 日	日本 AEM 学会
5	マイクロ波研究会 11 月	藤原康平	2023 年 11 月 17 日	(一社)電子情報通信学会
6	第 50 回炭素材料学会年会	立花直樹	2023 年 11 月 30 日	炭素材料学会
7	2024 年電子情報通信学会総合大会	藤原康平	2024 年 3 月 7 日	(一社)電子情報通信学会

依頼講演 26件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	Friction reducing methods of DLC films in oil-less conditions	徳田祐樹	2023 年 4 月 13 日	大豊工業トライボロジー研究財団、大豊工業(株) TTRF-TAIHO International Symposium on Automotive Tribology 2023
2	オノマトへの音象徴性を活用したスイッチの操作感覚設計	宮入 徹 ほか 2 名	2023 年 4 月 25 日	(一社)首都圏産業活性化協会 第 20 回スマートエーイー研究会
3	IoT 用途や車載向け低消費電力超音波センサの設計手法開発	市川英伸	2023 年 4 月 25 日	(一社)首都圏産業活性化協会 第 20 回スマートエーイー研究会
4	感触と操作音の組み合わせを考慮したロータリースイッチ操作感覚設計手法の考案	宮入 徹 ほか 4 名	2023 年 5 月 19 日	(公社)自動車技術会 振動騒音部門委員会 第 6 回振動騒音部門委員会
5	Far UV optical properties of MgO homoepitaxial and Zn doped MgO films prepared by mist chemical vapor deposition method	太田優一 ほか 8 名	2023 年 6 月 6 日	6th International Workshop on Ultraviolet Materials and Devices
6	生体外での細胞外マトリックスの再構築と組織工学への応用	干場隆志	2023 年 6 月 15 日	(一社)繊維学会 2023 年繊維学会年次大会
7	矩形試験室における低周波域の音響透過損失測定に関する実験的検討	西沢啓子 ほか 2 名	2023 年 6 月 23 日	(一社)日本音響学会 建築音響研究会 6 月度建築音響研究会

2023年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
8	正弦波駆動機構を有する摩擦試験装置による触り心地評価	齋藤庸賀 吉次なぎ 山田 巧 唐木由佑 佐々木直里 村井まどか 成田武文 ほか2名	2023年8月4日	日本材料試験技術協会 第295回材料試験技術シンポジウム
9	再生基油のタッピングトルク試験による性能評価	國枝泰博	2023年8月9日	(一社)日本トライボロジー学会 塑性加工のトライボロジー研究会 2023年度第1回研究会
10	オノマトへの音象徴性の活用による操作感覚設計手法の提案	宮入 徹	2023年9月8日	(一社)スマートサウンドデザインソサエティ、日本モーダル解析協議会 2023年度 SSDS/JMAC 技術講演会
11	3D プリンター造形品へのめっき	竹村昌太	2023年9月22日	(一社)表面技術協会 秋季セミナー「難処理材へのめっき技術(I)」
12	骨修復用バイオマテリアル開発を指向した無機リン化合物の合成とその局所構造解析に関する研究	小西敏功	2023年9月22日	日本無機リン化学会 第32回無機リン化学討論会
13	スイッチの感触および操作音から得られる操作感覚とオノマトへの関係性	宮入 徹	2023年9月27日	(一社)日本音響学会 第150回(2023年秋季)研究発表会
14	吸収色に変化する圧力応答材料の開発と展開事例	小汲佳祐	2023年10月4日	マテリアルライフ学会、(地独)東京都立産業技術研究センター 表面・界面物性研究会第50回記念講演会
15	微生物によるポリマー素材の劣化・評価について	田中真美 佐野 森 森久保 諭 成田武文 川口雅弘 ほか3名	2023年10月4日	マテリアルライフ学会、(地独)東京都立産業技術研究センター 表面・界面物性研究会第50回記念講演会
16	ライフサイクルアセスメントによる環境負荷算定	田熊保彦	2023年10月25日	(一社)表面技術協会 表面技術環境部会 第82回講演会
17	地方公設試における衣環境に関わる研究事例・技術支援の現状	山田 巧	2023年12月15日	文化・衣環境学研究所 2023年度文化・衣環境学研究所講演会
18	樹脂 PBF の圧倒的高速化 -Go Tech Project の紹介	山内友貴	2024年1月19日	東京大学生産技術研究所付加製造科学研究室 第14回 Additive Manufacturing(AM) シンポジウム
19	加熱処理による DLC 膜の傾斜構造化に関する研究	徳田祐樹	2024年1月26日	傾斜機能材料研究会 傾斜機能材料実用化ワークショップ2024 in お台場
20	3D プリンティングによるラティス構造の傾斜化	大久保 智	2024年1月26日	傾斜機能材料研究会 傾斜機能材料実用化ワークショップ2024 in お台場
21	令和5年度 JIS 見直し等に係る水質分析法検討調査業務 報告書	田熊保彦 森久保 諭 榎本大佑 ほか5名	2024年2月20日	環境省 第3回テクニカルミーティング
22	Gyroid 構造の流れ場解析	大久保 智	2024年3月18日	(一社)日本計算工学会 第12回公設試シンポジウム
23	3次元デジタイザによる強度試験中の変形評価の検討	木暮尊志	2024年3月18日	(一社)日本計算工学会 第12回公設試シンポジウム
24	CAE とメタヒューリスティクスを連携したラティス構造の最適設計	金 大貴 大久保 智	2024年3月18日	(一社)日本計算工学会 第12回公設試シンポジウム
25	めっきプロセスの AI・IoT 技術に関する都産技研の取り組み	榎本大佑 田熊保彦 森久保 諭 安藤恵理	2024年3月18日	電気鍍金研究会 研究例会「めっき工場での IoT 活用によるスマート化」
26	容り材のリサイクルの事例	安田 健	2024年3月27日	(一社)プラスチック成形加工学会 第187回講演会

依頼原稿 28件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	コマツナのルテインに着目した高付加価値商品の開発を目指して	石本太郎	缶詰技術研究会	食品と容器
2	ヘテロ凝固理論に基づく積層造形用ステンレス銅粉末の開発	大久保 智 藤巻研吾 ほか3名	(株)シーエムシー出版	機能材料
3	リアルタイムでめっき工程中の化学物質濃度を可視化	田熊保彦 榎本大佑 森久保 諭	(公財)東京都中小企業振興公社	アーガス
4	木材腐朽菌の MVOC	小沼ルミ	(公社)日本木材保存協会	木材保存
5	粉末床溶融結合方式樹脂 AM における部品解像度と強度の両立	山内友貴 木暮尊志 小林隆一 藤井紘一	(株)日本出版制作センター	月刊 JETI
6	モバイルマニピュレータを活用した物体の3次元計測	萩原颯人 中村佳雅 ほか1名	(株)日本出版制作センター	月刊 JETI
7	正弦波駆動機構を有する摩擦試験装置による触り心地評価	齋藤庸賀 吉次なぎ 山田 巧 唐木由佑 佐々木直里 村井まどか 成田武文 ほか2名	日本材料試験技術協会	材料試験技術
8	廃材木粉×Bio-PBSで食品容器開発	加藤貴司 ほか1名	(株)加工技術研究会	コンバーテック
9	テラヘルツ波による黒色ゴムの熟劣化診断	時田幸一	(株)日本出版制作センター	月刊 JETI
10	めっき工場の環境負荷要因と工程改善による排水由来の環境負荷の低減	田熊保彦 森久保 諭 榎本大佑 安藤恵理 西田 葵 ほか1名	(一社)表面技術協会	表面技術
11	DC モータの高効率化に関する研究	長谷川 孝	(公財)東京都中小企業振興公社	アーガス
12	テキスタイルの柔軟性を備えた接触圧力センサ	後濱龍太 添田 心 山田 巧	(株)日本出版制作センター	月刊 JETI
13	光硬化性樹脂 AM (3D プリンター) モデルへのめっき技術の開発	竹村昌太 桑原聡士 浦崎香織里 高橋俊也	(一社)表面技術協会	表面技術
14	100%天然素材を用いたストロー試作	酒井日出子	(株)シーエムシー出版	木質資源利用技術と市場
15	アンテナとしても機能する電波吸収体の提案	小畑 輝	(公財)東京都中小企業振興公社	アーガス
16	ライフサイクルアセスメントと Scope3	田熊保彦	(一社)日本塗装技術協会	塗装工学
17	Development of a control application for sPHENIX-INTT detector operation	近藤 崇 ほか26名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
18	Performance of a new operating system by FELIX board for INTT in sPHENIX	近藤 崇 ほか26名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report

2023年度 年報

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
19	Accelerator report INTT onlmon progress summary 2023	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
20	Preliminary results of INTT beam test 2021 at ELPH	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
21	Preparation status for sPHENIX experiment and INTT detector for Run23 at RHIC	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
22	The LV power system of INTT detector at RHIC	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
23	MIP measurement for mass production of sPHENIX-INTT ladder with a positron beam	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
24	Detection efficiency of sPHENIX-INTT by cosmic ray measurements and its timing dependence	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
25	Development of graphical user interface application for sPHENIX-INTT LV system	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
26	Completion of Bus-Extender development for sPHENIX INTT	近藤 崇 ほか 26 名	(国研)理化学研究所 仁科加速器科学研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
27	IoT と AI を活用した道路空洞調査の DX 化	大平倫宏 ほか 6 名	日本工業出版(株)	検査技術
28	100%天然素材でできたストロー試作	酒井日出子	(公財)東京都中小企業振興公社	アーガス

技術解説（依頼講演） 5件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	塗装の基礎	小野澤明良	2023年10月27日	(一社)日本トライボロジー学会 第10回表面力研究会
2	VCAD システム研究会ボクセル情報処理分科会活動報告	富山真一 ほか 15 名	2023年10月27日	NPO 法人 VCAD システム研究会・(地独)東京都立産業技術研究センター連携セミナー「デジタルものづくりの最新動向」
3	塗膜の試験方法－木材塗装における塗膜評価の難しさを理解する－	村井まどか	2023年11月16日	木材塗装研究会 第32回木材塗装基礎講座
4	都産技研の支援事例を元にした光計測に関する産業界のニーズの検討	海老澤瑞枝	2023年12月8日	日本光学会 偏光計測・制御技術研究グループ 第21回偏光計測研究会
5	木工塗装の基礎	村井まどか	2024年2月14日	(一社)国際工業塗装高度化推進会議 2023年度第5回 IPCO 合同会議

技術解説（依頼原稿） 11件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	なぜ？なぜ？どうして？	佐々木直里	(株)誠文堂新光社	子供の科学
2	失敗の果てに辿り着いたカビ試験	小沼ルミ	NPO 法人カビ相談センター	かびと生活
3	Society 5.0 における農業・環境センシング最前線 —センシングデータ活用事例と将来展望—	岡部 忠 ほか 23 名	(株)シーエムシー出版	Society 5.0 における農業・環境センシング最前線 —センシングデータ活用事例と将来展望—
4	光源・放射源および照明器具の計測	澁谷孝幸	(一社)照明学会	照明学会誌
5	SFF2023 ショート速報「3D プリンタ」	山内友貴	(一財)光産業技術振興協会	2023 年度国際会議速報
6	第 134 回クオリティークルボ「食の安全 :HACCP の本質を理解して ISO22000 を使いこなす」	佐藤 健	(一社)日本品質管理学会	JSQC ニュース
7	東京都立産業技術研究センターにおける DX に関する取り組み	入月康晴	(一社)日本塑性加工学会	ぶらすとす
8	—「カーボンニュートラル」特集にあたって—	村井まどか	(一社)日本塗装技術協会	塗装工学
9	温故知新 洋家具のクラシック塗装	村井まどか	コーテック(株)	塗装技術
10	日本木材保存協会第 39 回年次大会 公開シンポジウムに参加して	田丸慶明	(公社)日本木材保存協会	木材保存
11	第 50 回炭素材料学会年会報告	立花直樹	炭素材料学会	炭素

事業紹介（依頼講演） 6件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	レオメータによる粘弾性特性評価	成田武文	2023 年 10 月 27 日	(一社)日本トライボロジー学会 第 10 回表面力研究会
2	東京都立産業技術研究センターにおける産業支援の紹介	石田祐也	2023 年 11 月 10 日	(一社)日本エネルギー学会 第 17 回微粒化セミナー
3	ゼロエミッションに資する産業支援事業の紹介 —安全性・信頼性の向上と技術力の強化に向けて—	中川善継	2023 年 12 月 6 日	(一社)電気学会電気学会・(地独)東京都立産業技術研究センター連携セミナー
4	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	服部 遊	2023 年 12 月 13 日	制振工学研究会学協会連携事業 2023 制振工学研究会技術交流会
5	設計意図の可視化とその検証	富山真一	2023 年 12 月 14 日	(公社)精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会第 101 回例会
6	中小製造業にみる IoT 導入の課題と支援の取り組み	市川英伸	2024 年 3 月 6 日	府中市工業技術情報センター、(地独)東京都立産業技術研究センター 令和 5 年度府中市第 3 回技術講習会(府中市・都産技研連携セミナー)

事業紹介（依頼原稿） 6件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	都産技研における安全規格を活用したサービスロボットの開発支援	森田裕介	(公社)計測自動制御学会	計測と制御
2	《研究室紹介》地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	小西敏功	日本無機リン化学会	Phosphorus Letter
3	化粧品物の物性評価とその分析・試験機器	兼本美津 永川栄泰 干場隆志 小林奈保子 金子 凜 奥 優	(株)メカニカル・テック社	月刊ソフトマター
4	公設試験研究機関における分析化学教育	林 英男	(公財)日本分析化学会	ぶんせき
5	東京都立産業技術研究センターにおける熱電研究	並木宏允	(一社)日本熱電学会	日本熱電学会誌
6	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター食品技術センターの取り組み	小沼ルミ	全国食品関係試験研究場所長会	食品の試験と研究

事業紹介（ポスター） 1件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	特別企画【IoT パネルディスカッション】包装機械のIoT と今後の展望	岡部 忠 ほか 5 名	2023年10月5日	(一社)日本包装機械工業会 JAPAN PACK 2023 日本包装産業展

その他 24件

No.	発表タイトル	発表者	学会／出版社などの名称	大会／誌名など
1	Nano-application for structural color generation	海老澤瑞枝 ほか 7 名	(一社)OPI 協議会	OPTICS & PHOTONICS International Congress 2023
2	クロムを含む試料の機械混合による XAFS スペクトルの変化	柳田さやか	あいちシンクロトロン光センター	2022 年度 公共等利用 成果報告書
3	植物油脂を塗布した木材の光学特性と摩擦ダイナミクス	村井まどか ほか 3 名	(一社)色材協会	色材協会誌
4	研究会発足へ向けた自由討論会	大久保 智	(一社)日本計算工学会	第 28 回計算工学講演会 第 11 回公設試シンポジウム (特別編)
5	Effects of additives and electrolytic treatment to remove tritium from contaminated water	片岡憲昭 ほか 3 名	CellPress	Heliyon
6	Dielectric evaluation of ionic electrolyte solutions based on the cut-off waveguide reflection method	藤原康平 ほか 4 名	IEEE	International Conference on Electromagnetic Wave Interaction with Water and Moist Substances of the International Society for Electromagnetic Aquametry (ISEMA)
7	チタニア系複合光触媒の高分散させた溶液中における性状評価	柴川正一	あいちシンクロトロン光センター	2023 年度 公共等利用 成果報告書
8	Critical ignition conditions for propane/air premixtures impinging on electric heated surfaces: An experimental study	中澤誠人 ほか 3 名	Elsevier	Fire Safety Journal

No.	発表タイトル	発表者	学会／出版社などの名称	大会／誌名など
9	Nanoarchitectonics and catalytic performance of Au-Pd nanoflowers supported on Fe ₂ O ₃	小川大輔 杉森博和 ほか6名	Japan Oil Chemists' Society	Journal of Oleo Science
10	Two metasomatic events recorded by noble gas characteristics in the Finero mantle wedge: Extreme fractionation (He, Ar) and seawater penetration into the mantle deformation zone	小林真大 ほか3名	Elsevier	Chemical Geology
11	Fabrication of metallic nickel particles for conductive ink by electrolysis method	峯 英一 ほか3名	茨城大学、茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター	8th International Symposium of Quantum Beam Science at Ibaraki University (ISQBS2023)
12	採卵後のヤマメを有効利用した製品開発	野田誠司 畑山博哉 ほか2名	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所 オープンラボ 2023
13	コマツナの品種別ルテイン含量と加工による変化の解明	石本太郎 堀江秀樹 ほか2名	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所 オープンラボ 2023
14	Tellurium nanorods produced by the reduction of tellurate and tellurite inside unicellular algae	小川大輔 杉森博和 ほか4名	Materials Research Society of Japan	MRM2023/TUMRS-ICA2023
15	電気分解および超音波照射を用いた導電性インク用ニッケル粒子作製法の開発	峯 英一 ほか3名	(公社)日本化学会	第34回日本化学会関東支部茨城地区研究交流会
16	チタニア系可視光応答光触媒の加熱処理の影響	染川正一	あいちシンクロトロン光センター	2023年度 公共等利用 成果報告書
17	採卵後ヤマメの有効利用を図る ～新たな加工品開発による地域振興を目指して～	野田誠司 ほか1名	東京都島しょ農林水産総合センター	令和3年度 東京都島しょ農林水産総合センター主要成果集(水産)
18	厚板に対するデジタル RT 手法の検討	河原大吾 ほか3名	(一社)日本非破壊検査協会	第14回放射線による非破壊評価シンポジウム
19	デジタルラジオグラフィにおける有孔形透過度計および針金形透過度計の配置に関する検討	河原大吾 ほか3名	(一社)日本非破壊検査協会	第14回放射線による非破壊評価シンポジウム
20	XCT 画像と光顕 3D 画像および機械学習を用いた金属積層造形部材中の空隙抽出	富山真一 ほか6名	(公社)砥粒加工学会	2024年砥粒加工学会 卒業研究発表会
21	酸素欠損酸化チタンの He 雰囲気中の加熱による性状変化	染川正一	あいちシンクロトロン光センター	2023年度 公共等利用 成果報告書
22	ピーズミル粉碎処理後の酸素欠損酸化チタンの性状解析	染川正一	あいちシンクロトロン光センター	2023年度 公共等利用 成果報告書
23	銅イオン導入スメクタイトの XAFS 測定	柳田さやか	あいちシンクロトロン光センター	2023年度 公共等利用 成果報告書
24	品種、収穫サイズ、栽培環境が異なるコマツナのルテイン含量	石本太郎 堀江秀樹 ほか1名	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	研究報告(第19号)

2.9 職員の受賞

国内外の学協会などから、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して、2023年度は7件の賞を受けた。

2023年度受賞実績

受賞名	2023 Bimonthly Most Downloaded Papers
件名	Single-step synthesis of highly porous nitrogen-doped carbon by solid-gas mechanochemical treatment as an oxygen reduction electrocatalyst
受賞者	立花直樹(複合素材技術グループ)、並木宏允(計測分析技術グループ)、染川正一(マテリアル技術グループ)
受賞名	職業能力開発関係厚生労働大臣表彰
受賞者	上野博志(技術振興室)
受賞名	Hot Article Award
件名	Quantitative analysis of powder samples using screen-printing techniques as sample preparation methods for LA-ICP-MS
受賞者	小林真大、並木宏允、林 英男(計測分析技術グループ)
受賞名	IOF Award 企業展示奨励賞
件名	光測定で製品評価をお手伝いします 東京都立産業技術研究センター
受賞者	磯田和貴、小出優一郎、藤原千隼(マテリアル技術グループ)
受賞名	日本塑性加工学会 優秀論文講演奨励賞
件名	金型形状および材料の異方性に着目した円筒深絞り加工の有限要素解析
受賞者	村岡 剛(機械技術グループ)
受賞名	第5回名古屋大学岡本若手奨励賞
件名	見た目の変化を伴う基底状態メカノクロミズムの定量的測定とセンシング特性を活かした応用展開
受賞者	小汲佳祐(マテリアル技術グループ)
受賞名	画像関連学会連合会第9回秋季大会 優秀ポスター賞
件名	印刷技術を活用した薄型金属部品賦形技術の検討
受賞者	平井和彦、峯 英一、渡部友太郎(複合素材技術グループ) 岩岡 拓、小金井誠司(機械技術グループ)、伊東洋一(総合支援課)

2.10 知的財産権

2.10.1 知的財産権保有件数

今年度の出願件数と登録件数、および累計の保有件数を示す。

		特許(件)		実用新案(件)		意匠(件)		商標(件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中
国内 ^{※1}	今年度分	31	25	0	0	2	2	2	0
	累計	269	96	2	0	37	0	17	0
国外 ^{※2}	今年度分	6	0					0	0
	累計	43	12					2	0
PCT ^{※3}	今年度分		0						
	累計		0						

※1 国内優先権主張を利用したものは、原出願を件数から削除した。登録となった場合には、累計における「出願中」から削除した。

「出願中」は、出願公開後に放棄などした件数は含まない。

登録累計は、前年度以前に権利終了した案件は含まない。

※2 自国（日本）指定は、出願段階は国外に、登録後は国内の登録に計上した。

※3 PCT 出願後、各国への移行が完了したものについては、PCT の「出願中」から削除した。

2.10.2 保有する登録済み知的財産権

(1) 国内特許登録

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	権利者	内容
1	第 3779290 号 (2003-322418)	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	2006年3月10日 (2003年9月16日)	共有	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させた後、加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体
2	第 4086241 号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	2008年2月29日 (2004年2月12日)	共有	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
3	第 4359537 号 (2004-177562)	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	2009年8月14日 (2004年6月15日)	単独	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良
4	第 4394050 号 (2005-254626)	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	2009年10月23日 (2005年9月2日)	共有	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板
5	第 4392719 号 (2004-036734)	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	2009年10月23日 (2004年2月13日)	共有	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法
6	第 4764973 号 (2005-356870)	CRC 値の算出装置	2011年6月24日 (2005年12月9日)	共有	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現
7	第 4791746 号 (2005-094574)	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2011年7月29日 (2005年3月29日)	共有	鉛加工物を用いずに、硼珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
8	第 5025209 号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2012年6月29日 (2006年9月27日)	共有	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリット

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
9	第 5175584 号 (2008-064141)	局所表面プラズモン共鳴イメージング装置	2013年1月11日 (2008年3月13日)	単独	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴(LSPR)を利用して、DNAおよびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出するLSPRイメージング装置
10	第 5183328 号 (2008-174673)	編成体及びその製造方法	2013年1月25日 (2008年7月3日)	単独	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
11	第 5214290 号 (2008-071504)	食品用X線異物検査装置およびその方法	2013年3月8日 (2008年3月19日)	共有	ベルトコンベア上を流れる食品パックにX線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法
12	第 5261690 号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド膜工具	2013年5月10日 (2008年5月20日)	共有	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具
13	第 5268050 号 (2008-010369)	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	2013年5月17日 (2008年1月21日)	単独	機械強度(曲げ強度、曲げ弾性率)や導電性(特に均一性)に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法
14	第 5302860 号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方法	2013年6月28日 (2009年11月24日)	単独	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法
15	第 5378024 号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	2013年10月4日 (2009年3月25日)	単独	揮発性有機物の吸収能(吸収量および吸収速度)が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材
16	第 5399034 号 (2008-246074)	微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法	2013年11月1日 (2008年9月25日)	単独	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型用基材ならびに微細成型型の製造方法
17	第 5414719 号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	2013年11月22日 (2011年3月9日)	共有	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等
18	第 5422320 号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	2013年11月29日 (2009年9月18日)	共有	VOC分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度でVOCを分解することができる触媒等
19	第 5438287 号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	2013年12月20日 (2008年5月30日)	共有	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に関わり、さらに皮膚外用剤
20	第 5439155 号 (2009-286011)	歯間清掃具及びその製造方法	2013年12月20日 (2009年12月17日)	単独	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法
21	第 5448549 号 (2009-106520)	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	2014年1月10日 (2009年4月24日)	単独	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でもVOC濃度の測定が可能な光イオン化検出器等
22	第 5460113 号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	2014年1月24日 (2009年4月23日)	単独	VOC等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサ
23	第 5511523 号 (2010-129014)	二脚型移動装置	2014年4月4日 (2010年6月4日)	単独	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに乗り越えることのできる二脚型移動装置
24	第 5548144 号 (2011-016517)	表示装置	2014年5月23日 (2011年1月28日)	単独	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する表示装置
25	第 5560066 号 (2010-047997)	防護服	2014年6月13日 (2010年3月4日)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
26	第 5560065 号 (2010-047994)	防護服	2014年6月13日 (2010年3月4日)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
27	第 5564680 号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	2014年6月27日 (2009年7月21日)	単独	排水中のリン酸を回収するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
28	第 5579644 号 (2011-059966)	赤色ガラス	2014年7月18日 (2011年3月18日)	共有	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラス
29	第 5604094 号 (2009-286822)	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	2014年8月29日 (2009年12月17日)	単独	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品等
30	第 5632597 号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	2014年10月17日 (2009年8月31日)	単独	積層造形法を活用した弦楽器、弦楽器の製造方法および弦楽器製造装置
31	第 5647669 号 (2012-503249)	多孔質シリカの製造方法	2014年11月14日 (2011年3月3日)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができると多孔質シリカの製造方法
32	第 5647836 号 (2010-198628)	導電紙及びその製造方法	2014年11月14日 (2010年9月6日)	単独	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材パルプを含む導電紙およびその製造方法
33	第 5650916 号 (2010-047999)	防護服	2014年11月21日 (2010年3月4日)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部から頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で迅速に脱衣できる
34	第 5660918 号 (2011-026993)	情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法	2014年12月12日 (2011年2月10日)	単独	三次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する三次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくなるようにする情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法
35	第 5660831 号 (2010-219707)	アルミニウム合金の材質判定方法	2014年12月12日 (2010年9月29日)	単独	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミニウム合金のグループ分けを行う場合に適用して好適なアルミニウム合金の材質判定方法
36	第 5667431 号 (2010-287832)	三次元座標測定機簡易検査用ゲージ	2014年12月19日 (2010年12月24日)	単独	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に行うことができ、マルチスタイルの検査も実施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージ
37	第 5690244 号 (2011-179367)	はんだの組成分析方法	2015年2月6日 (2011年8月19日)	単独	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する方法
38	第 5697309 号 (2009-053490)	局在プラズモン共鳴センサの製造方法	2015年2月20日 (2009年3月6日)	単独	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関し、センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することが特徴
39	第 5698034 号 (2011-045449)	加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法	2015年2月20日 (2011年3月2日)	単独	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むらを小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法、ならびに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法
40	第 5697852 号 (2009-073154)	揮発性有機物回収システム	2015年2月20日 (2009年3月25日)	単独	VOCを効率的に液化して回収することができる揮発性有機物回収システム
41	第 5706069 号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	2015年3月6日 (2009年2月4日)	単独	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを研磨する装置および方法

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
42	第 5711927 号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料電池	2015年3月13日 (2010年9月30日)	共有	MEA セルとセパレータの間に集電材が設けられる平板型の固体酸化物型燃料電池、および MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池
43	第 5717491 号 (2011-065307)	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	2015年3月27日 (2011年3月24日)	単独	VOC 用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、かつ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができるとともに触媒燃焼法の装置設計がしやすくなる
44	第 5722736 号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	2015年4月3日 (2011年9月16日)	共有	一对の石英ガラス基板の両板の対向面に、スクリーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成により該両板間に微細流路を形成する流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、およびその石英ガラスマイクロリアクターの流路形成方法
45	第 5734589 号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	2015年4月24日 (2010年7月16日)	共有	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキン
46	第 5739125 号 (2010-201507)	人工骨部材	2015年5月1日 (2010年9月9日)	単独	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材
47	第 5753568 号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	2015年5月29日 (2013年11月20日)	単独	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法
48	第 5762151 号 (2011-126795)	数値データの圧縮システム及び方法	2015年6月19日 (2011年6月6日)	単独	主にコンピューターによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮および伸長するためのシステム、方法およびその装置
49	第 5767076 号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	2015年6月26日 (2011年10月17日)	単独	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサー
50	第 5775326 号 (2011-041203)	LED点灯回路	2015年7月10日 (2011年2月28日)	単独	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つ LED (発光ダイオード) の点灯回路
51	第 5779038 号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	2015年7月17日 (2011年8月10日)	単独	被測定対象に含まれる VOC を検出する VOC 検出器および VOC 検出方法、特に、VOC をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる VOC の種別を特定することが可能な VOC 検出器および VOC 検出方法
52	第 5780640 号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	2015年7月24日 (2011年6月30日)	共有	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキット
53	第 5803003 号 (2011-150689)	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	2015年9月11日 (2011年7月7日)	単独	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法
54	第 5812828 号 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	2015年10月2日 (2011年11月30日)	共有	錆面（付着物が付着した管内壁）への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のプラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩擦を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率がよいため同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段
55	第 5818619 号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の付着装置	2015年10月9日 (2011年10月5日)	単独	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
56	第 5827735 号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造方法	2015年10月23日 (2014年9月29日)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
57	第 5840054 号 (2012-074775)	複合材料、培養容器及び細胞培養器用仕切り部材	2015年11月20日 (2012年3月28日)	単独	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコラーゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器
58	第 5861177 号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	2016年1月8日 (2011年10月18日)	共有	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置
59	第 5861231 号 (2011-138440)	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	2016年1月8日 (2011年6月22日)	単独	絹繊維品のブリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、ブリーツの保持性にも優れるという効果を有する、ブリーツ加工方法
60	第 5876311 号 (2012-015800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	2016年1月29日 (2012年1月27日)	単独	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム
61	第 5875761 号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	2016年1月29日 (2010年12月16日)	単独	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材
62	第 5878294 号 (2011-002763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具	2016年2月5日 (2011年1月11日)	共有	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工具の耐久性を高めることができる、加工方法及び加工具
63	第 5883287 号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置	2016年2月12日 (2011年12月16日)	共有	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる防護帽
64	第 5892485 号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2016年3月4日 (2011年12月26日)	単独	簡素な構造によって、安全で大量の降水降下物の蒸発濃縮が行える降水降下物放射能測定などの試料水の自動蒸発濃縮器
65	第 5901156 号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	2016年3月18日 (2011年6月29日)	単独	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法
66	第 5917139 号 (2011-287408)	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	2016年4月15日 (2011年12月28日)	単独	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置
67	第 5917108 号 (2011-260878)	電解セル	2016年4月15日 (2011年11月29日)	単独	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セル
68	第 5989334 号 (2011-283724)	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壤改良資材	2016年8月19日 (2011年12月26日)	単独	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壤改良資材
69	第 6004528 号 (2012-186879)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ	2016年9月16日 (2012年8月27日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
70	第 6017431 号 (2013-533461)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	2016年10月7日 (2012年6月21日)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
71	第 6017175 号 (2012-103787)	尾てい骨保護下着	2016年10月7日 (2012年4月27日)	単独	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
72	第 6029149 号 (2014-126615)	編針の製造方法	2016年10月28日 (2014年6月19日)	単独	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針の製造方法
73	第 6045273 号 (2012-214096)	リング撚糸機、リング撚糸製造方法、織物の製造方法および押圧スイッチの製造方法	2016年11月25日 (2012年9月27日)	単独	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチ
74	第 6052958 号 (2012-151440)	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	2016年12月9日 (2012年7月5日)	単独	脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法
75	第 6057569 号 (2012-150881)	冷却シート	2016年12月16日 (2012年7月4日)	単独	冷却シートに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シート
76	第 6059957 号 (2012-241704)	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	2016年12月16日 (2012年11月1日)	共有	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することのできる鳥獣識別装置等
77	第 6061483 号 (2012-068325)	冷却シート及びネッククーラー	2016年12月22日 (2012年3月23日)	単独	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラー
78	第 6066600 号 (2012-154100)	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	2017年1月6日 (2012年7月9日)	単独	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法
79	第 6071468 号 (2012-256802)	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	2017年1月13日 (2012年11月22日)	単独	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
80	第 6080762 号 (2013-531434)	成形体の製造方法	2017年1月27日 (2012年8月31日)	共有	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法
81	第 6081156 号 (2012-251622)	ハイドロゲル	2017年1月27日 (2012年11月15日)	単独	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲル
82	第 6081781 号 (2012-255357)	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	2017年1月27日 (2012年11月21日)	単独	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法等
83	第 6108272 号 (2013-193718)	プラスチックのバイオマス由来判別方法	2017年3月17日 (2013年9月19日)	単独	固体プラスチックに含まれる放射性炭素(14C)を、LSC法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
84	第 6122706 号 (2013-125803)	配光測定装置および配光測定方法	2017年4月7日 (2013年6月14日)	単独	面発光体の配光分布の測定を精度よく行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置等
85	第 6129078 号 (2013-540845)	制御システム	2017年4月21日 (2012年10月26日)	単独	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
86	第 6140607 号 (2013-531433)	成形用材料及びその製造方法	2017年5月12日 (2012年8月31日)	共有	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体
87	第 6140608 号 (2013-531435)	成形用材料	2017年5月12日 (2012年8月31日)	単独	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
88	第 6140999 号 (2012-275046)	骨結合性材料、人工骨並びに基材と自家骨との結合促進方法	2017年5月12日 (2012年12月17日)	共有	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
89	第 6158648 号 (2013-181647)	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	2017年6月16日 (2013年9月2日)	単独	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等
90	第 6157173 号 (2013-070640)	LED照明の分光分布設計方法	2017年6月16日 (2013年3月28日)	共有	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかにかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となるLED照明の分光分布設計方法
91	第 6163349 号 (2013-096087)	金属編地及びその製造方法	2017年6月23日 (2013年4月30日)	単独	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法
92	第 6165937 号 (2016-141417)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法	2017年6月30日 (2016年7月19日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
93	第 6169896 号 (2013-119604)	重金属吸着剤及び重金属回収方法	2017年7月7日 (2013年6月6日)	単独	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法
94	第 6194226 号 (2013-224629)	三次元測定装置及び三次元測定方法	2017年8月18日 (2013年10月29日)	単独	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
95	第 6195745 号 (2013-129077)	電気ニッケルめっき液、めっき液の製造方法および電気めっき方法	2017年8月25日 (2013年6月19日)	単独	ピット防止等のための添加剤やほう素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液
96	第 6199662 号 (2013-172143)	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	2017年9月1日 (2013年8月22日)	単独	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度よく行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術
97	第 6207132 号 (2012-181879)	補助布付きコート、補助布及びマフラー	2017年9月15日 (2012年8月20日)	単独	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等
98	第 6210841 号 (2013-224627)	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	2017年9月22日 (2013年10月29日)	単独	X線CT画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができるX線三次元測定装置
99	第 6216605 号 (2013-218054)	光学部材および光源装置	2017年9月29日 (2013年10月21日)	単独	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
100	第 6222982 号 (2013-100737)	光源装置	2017年10月13日 (2013年5月10日)	単独	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置
101	第 6228176 号 (2015-207399)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2017年10月20日 (2015年10月21日)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
102	第 6236245 号 (2013-159010)	飛行装置	2017年11月2日 (2013年7月31日)	単独	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステム
103	第 6245860 号 (2013-134031)	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	2017年11月24日 (2013年6月26日)	単独	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置
104	第 6262401 号 (2017-508416)	ロッカーボギー	2017年12月22日 (2016年3月24日)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
105	第 6270115 号 (2013-241895)	運動支援システム及び運動支援プログラム	2018年1月12日 (2013年11月22日)	共有	内発的動機付けを促進するとともに、運動強度および運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザを支援することができる運動支援システムおよび運動支援プログラム

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
106	第 6280544 号 (2015-519944)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2018年1月26日 (2014年5月29日)	単独	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
107	第 6308464 号 (2014-107600)	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	2018年3月23日 (2014年5月23日)	共有	半側空間無視患者に対するリハビリテーションを支援するための注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置およびそのプログラム
108	第 6327601 号 (2013-256516)	反応物供給流路	2018年4月27日 (2013年12月11日)	単独	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
109	第 6329744 号 (2013-194199)	ノード装置及びネットワークシステム	2018年4月27日 (2013年9月19日)	単独	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
110	第 6339870 号 (2014-124534)	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	2018年5月18日 (2014年6月17日)	単独	非晶質炭酸カルシウムと、水と反応して呈色する呈色剤とを有することを特徴とする圧力測定用材料
111	第 6338397 号 (2014-031747)	黒色の金・パラジウム合金メッキ用メッキ液およびメッキ方法	2018年5月18日 (2014年2月21日)	共有	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金
112	第 6341704 号 (2014-052115)	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	2018年5月25日 (2014年3月14日)	単独	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置等
113	第 6357466 号 (2015-508824)	悪臭処理用担持触媒	2018年6月22日 (2014年3月31日)	共有	Co、Ce系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒
114	第 6368092 号 (2014-001479)	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	2018年7月13日 (2014年1月8日)	単独	多量の廃棄物を生じるような高温高压処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および/または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術
115	第 6370595 号 (2014-092371)	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	2018年7月20日 (2014年4月28日)	単独	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等
116	第 6378079 号 (2014-259095)	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	2018年8月3日 (2014年12月22日)	単独	本物のべっ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体を自由な形状で低コストで大量に製造することができる成形材料および成形体の製造方法、ならびに本物のべっ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体
117	第 6382057 号 (2014-209085)	遅延量測定回路および遅延量測定方法	2018年8月10日 (2014年10月10日)	単独	測定することができる遅延量の大小を選択して広範な測定を実現でき、少ない回路リソースにより、省電力と小回路規模を実現することができる遅延量測定回路および遅延量測定方法
118	第 6385743 号 (2014-144888)	マイクロヒータ	2018年8月17日 (2014年7月15日)	単独	熱応力を抑制することができるマイクロヒータ
119	第 6407728 号 (2014-560827)	メカニカルシールの製造方法	2018年9月28日 (2014年2月7日)	共有	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
120	第 6410574 号 (2014-233373)	多孔質シリカの製造方法	2018年10月5日 (2014年11月18日)	共有	ケイ酸アルカリのケイ酸化により多孔質シリカを製造する方法
121	第 6417183 号 (2014-211950)	金属イオン捕集材	2018年10月12日 (2014年10月16日)	単独	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
122	第 6422223 号 (2014-048017)	信号検出装置及び信号検出方法	2018年10月26日 (2014年3月11日)	単独	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置および信号検出方法
123	第 6427387 号 (2014-223328)	量子ドット複合光触媒	2018年11月2日 (2014年10月31日)	単独	量子ドットを用いた反応効率の高い光触媒
124	第 6436881 号 (2015-172025)	造形材料	2018年11月22日 (2015年9月1日)	単独	常温で素手による造形が可能であり、硬化処理せずとも高い形状保持性を有する造形材料
125	第 6445934 号 (2015-116085)	廃棄汚泥の減少方法	2018年12月7日 (2015年6月8日)	単独	原料ガラスからガラスカレットを製造する際に発生する廃棄汚泥を減少させる方法、特に微生物処理により廃棄汚泥を減少させる方法
126	第 6454125 号 (2014-210060)	コラーゲンゲルの作製方法	2018年12月21日 (2014年10月14日)	単独	大きなスケールで立体的に成形された“線維束”を非破壊的に製造することができるコラーゲンゲルの作製方法
127	第 6456663 号 (2014-230504)	放熱性を向上させる塗装方法、 塗装装置および塗料	2018年12月28日 (2014年11月13日)	共有	被塗装物の放熱性を向上させることができる新規な塗装方法
128	第 6472635 号 (2014-210057)	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	2019年2月1日 (2014年10月14日)	単独	「その場調製」が可能に線維化の体温応答性が高いコラーゲン水溶液
129	第 6483884 号 (2018-058081)	悪臭処理用担持触媒の製造方法	2019年2月22日 (2018年3月26日)	共有	Co、Ce 系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒の製造方法
130	第 6481179 号 (2015-110645)	強度確知評価方法	2019年2月22日 (2015年5月29日)	共有	強化したガラスの色彩、平面形状、平滑性に左右されずに表面の強度および表面の深さ方向強度分布を直接確知評価できる強度確知評価方法
131	第 6494992 号 (2014-250421)	ナノ粒子の製造方法	2019年3月15日 (2014年12月10日)	単独	組成を限定することなく、粒径が100nm以下のナノ粒子を簡便に製造することができるナノ粒子
132	第 6511242 号 (2014-192135)	サンドイッチパネル用コア材、 サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	2019年4月12日 (2014年9月22日)	単独	曲げ剛性が大きく、スキン材との接着力が強く、また十分な型抜き勾配が得られるサンドイッチパネル用コア材
133	第 6509515 号 (2014-189562)	揮発性有機化合物成分検出センサ	2019年4月12日 (2014年9月18日)	共有	酵素サイクリング反応による NADH 増幅によって生じるホルマジン色素の吸光度を測定することにより、測定対象ガスに含まれる揮発性有機化合物の成分量を選択的に高感度かつ、連続的に検出可能とする揮発性有機化合物成分量検出センサ
134	第 6533650 号 (2014-168330)	触媒	2019年5月31日 (2014年8月21日)	単独	触媒燃焼式で VOC、アンモニア、硫化水素、一酸化炭素等のガス状化合物の処理を行う際、触媒が熱触媒として活性を発揮する温度に達する前に触媒槽にガス状化合物が入って来ても処理することができる触媒
135	第 6533908 号 (2014-202048)	成形体の製造方法	2019年6月7日 (2014年9月30日)	共有	強度に優れた成形体に関し、さらに詳細には、生体親和性、生体分解性、および強度に優れた医療用成形体や各種締結部材に最適な強度を有する成形体の製造方法
136	第 6538765 号 (2017-134886)	飛行装置	2019年6月14日 (2017年7月10日)	単独	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置に搭載できる、簡素かつ軽量な駆動装置
137	第 6538389 号 (2015-060009)	ダイヤモンド薄膜の製造方法、 熱フィラメント CVD 装置及びメカニカルシール	2019年6月14日 (2015年3月23日)	単独	ダイヤモンド薄膜を低コストで成膜するための、ダイヤモンド薄膜の製造方法
138	第 6546791 号 (2015-120886)	光電変換装置	2019年6月28日 (2015年6月16日)	単独	光電変換装置、特に、中間準位を有するワイドギャップ半導体を用いた光電変換装置に適用して有効な技術
139	第 6548981 号 (2015-140165)	表面プラズモン共鳴測定装置 及びそのチップ	2019年7月5日 (2015年7月14日)	単独	ウイルスを高感度かつ迅速に検出可能な測定装置

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
140	第 6558983 号 (2015-132390)	車輪構造体	2019年7月26日 (2015年7月1日)	単独	所定の高さを有する段差等の障害物の乗り越えに労する力を低減でき、簡易な構造の車輪構造体
141	第 6564977 号 (2017-040986)	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	2019年8月9日 (2017年3月3日)	共有	低摩擦性および耐摩耗性に優れたダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材およびダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法
142	第 6585549 号 (2016-112634)	情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム	2019年9月13日 (2016年6月6日)	単独	3次元状の被検査対象物に含まれる特性が異なる領域の迅速な特定に寄与することができる情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム
143	第 6611441 号 (2015-039192)	周波数変換ユニット、計測システム及び計測方法	2019年11月8日 (2015年2月27日)	単独	簡単化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
144	第 6619556 号 (2015-006392)	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	2019年11月22日 (2015年1月16日)	共有	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、およびかつらにおいて、頭部装着体の装着感を良好にする
145	第 6630878 号 (2015-208371)	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	2019年12月20日 (2015年10月22日)	共有	小型であり、かつ所望の位置にダイヤモンドを製造できるダイヤモンド結晶製造装置およびダイヤモンド結晶製造方法
146	第 6633844 号 (2015-121205)	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	2019年12月20日 (2015年6月16日)	単独	微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に炭素を内包させることにより得られる炭素粒子蛍光体
147	第 6634217 号 (2015-078027)	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	2019年12月20日 (2015年4月6日)	単独	LSPR を用いたガスセンサの光学配置に起因する信号変動の回避を図り、広範囲な VOC 濃度を適切に計測する
148	第 6650831 号 (2016-107468)	ガス流路構造および流量センサ	2020年1月23日 (2016年5月30日)	共有	流量負荷を増加させることなく、ガス流の脈動を軽減することのできるガス流路構造、および、ガス流の脈動による影響を受けることなく、高い精度で流量測定を行うことのできる小型の流量センサ
149	第 6652785 号 (2015-080285)	LED照明の分光分布設計方法	2020年1月28日 (2015年4月9日)	単独	基準光との色みえの差が十分に小さく、また特定の色の鮮やかさと明るさが十分に大きく、かつLED照明の光源効率が最大となる分光分布設計方法
150	第 6668094 号 (2016-019288)	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	2020年2月28日 (2016年2月3日)	単独	部品コストの増大と、機器全体の故障率の増加（すなわち、信頼性の低下）を最小限に抑え、緊急時に上位ユニットからの指令で下位ユニットを確実に停止させることができる緊急停止方法、緊急停止システムおよびその自己診断方法
151	第 6673663 号 (2015-196042)	局在表面プラズモン共鳴センサ	2020年3月9日 (2015年10月1日)	単独	複雑な光学系を必要とせず、小型化が可能で、さらには検出精度の高い局在表面プラズモン共鳴センサ
152	第 6674213 号 (2015-168867)	微粒子凝集制御装置および微粒子凝集体生成方法	2020年3月10日 (2015年8月28日)	単独	微粒子および溶媒・媒質に対して化学的な修飾をすることなく、凝集度を制御しつつ短時間に微粒子凝集体を生成するしくみを安価かつ簡便に実現する
153	第 6678901 号 (2016-091317)	光学特性測定装置および光学特性測定方法	2020年3月23日 (2016年4月28日)	単独	被測定物の光学特性を測定する光学特性測定装置および光学特性測定方法
154	第 6680470 号 (2015-115101)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2020年3月24日 (2015年6月5日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
155	第 6693786 号 (2016-068938)	導電性繊維	2020年4月20日 (2016年3月30日)	単独	繊維としての柔軟性を維持しながら、優れた導電性を有する導電性繊維
156	第 6719230 号 (2016-030300)	積層造形装置を用いた積層造形方法	2020年6月18日 (2016年2月19日)	単独	正確な変形のデータを算出するとともに、その算出したデータを設計データに反映させることで、造形させる造形パーツの変形を制御する積層造形装置を用いた積層造形方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
157	第 6722914 号 (2016-120703)	アシスト装置装着用のウェア およびアシストウェアシステム	2020年6月25日 (2016年6月17日)	共有	非外骨格型のアシスト装置を装着する作業 を、装着者が一人で短時間のうちに簡単に できるアシスト装置装着用のウェア
158	第 6727977 号 (2016-151279)	揮発性有機物検出器及び揮発 性有機物検出方法	2020年7月3日 (2016年8月1日)	単独	揮発性有機物の濃度と拡散定数を判定し、 揮発性有機物検出室の内壁における荷電粒 子の移動量を制御することで、揮発性有機物 を含むガスの判別精度を向上させる揮発性 有機物検出器および揮発性有機物検出方法
159	第 6738089 号 (2016-195995)	通気性扉	2020年7月21日 (2016年10月3日)	単独	簡易な内部構造で高い遮音性能を發揮でき る通気性扉
160	第 6755044 号 (2016-239628)	車輪構造体及び車両	2020年8月27日 (2016年12月9日)	単独	前進時及び後進時の両方において、荷台を 安定させながら段差や斜面、凸凹道などの不 整地の踏破性を向上させる車輪構造体およ び車両
161	第 6757933 号 (2016-172118)	白金担持体とそれを用いた酸 素還元触媒およびその製造方 法ならびに燃料電池、金属空 気電池	2020年9月3日 (2016年9月2日)	単独	優れた酸素還元触媒活性を有し、かつ、製 造コストおよび材料コストの両面から望まし い燃料電池や金属空気電池の空気極用に好 適な白金担持体の製造方法および、優れた 酸素還元触媒活性を有する新規な白金担持 体とそれを用いた酸素還元触媒ならびに燃 料電池、金属空気電池
162	第 6765192 号 (2016-008947)	レーザーマイクロダイセク ター及びレーザーマイクロダ イセクション方法	2020年9月17日 (2016年1月20日)	共有	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能な レーザーマイクロダイセクターおよびレー ザーマイクロダイセクション方法
163	第 6778431 号 (2016-243600)	導波管マイクロストリップ線 路変換器	2020年10月14日 (2016年12月15日)	単独	低コストかつ容易に、ミリ波帯の広範囲にわ たって共振が発生するのを抑えることが可能 な導波管マイクロストリップ線路変換器
164	第 6785000 号 (2016-175457)	回転体、回転機械及びポンプ	2020年10月28日 (2016年9月8日)	単独	振動が少ない、低比速度の回転機械
165	第 6792219 号 (2016-153201)	温度補正方法、温度補正プロ グラム、温度補正装置、及び 座標測定機	2020年11月10日 (2016年8月3日)	単独	目盛誤差をより低減することができる温度補 正方法、温度補正プログラム、温度補正装 置および座標測定機
166	第 6795344 号 (2016-138896)	ハイドロゲル及びハイドロゲ ルの製造方法	2020年11月16日 (2016年7月13日)	単独	機械的強度を備え、かつ瞬発的吸水性に優 れ、生体模倣モデルに適用可能なハイドロゲ ル
167	第 6796379 号 (2016-008946)	レーザーマイクロダイセク ター及びレーザーマイクロダ イセクション方法	2020年11月18日 (2016年1月20日)	共有	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能な レーザーマイクロダイセクターおよびレー ザーマイクロダイセクション方法
168	第 6797373 号 (2016-172301)	ガス電子増幅器用電極、ガス 電子増幅器及びガス電子増幅 器用電極の製造方法	2020年11月20日 (2016年9月2日)	共有	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器お よびガス電子増幅器用電極の製造方法
169	第 6799325 号 (2017-105517)	画像補正装置、画像補正方法、 注目点認識装置、注目点認識 方法及び異常検知システム	2020年11月25日 (2017年5月29日)	単独	監視カメラ等で用いられる画像の歪みを解消 する
170	第 6800482 号 (2017-082843)	マグネシウム合金の製造方法	2020年11月27日 (2017年4月19日)	単独	強度と延性、熱的安定性を兼ね備えたマグネ シウム合金
171	第 6819983 号 (2016-119770)	めっき付き樹脂成形体	2021年1月6日 (2016年6月16日)	単独	非導電性である樹脂成形体にめっき層を形 成しためっき付き樹脂成形体
172	第 6842622 号 (2016-170665)	フローセンサ及びその製造方 法	2021年2月25日 (2016年9月1日)	共有	より効率的に流体を加熱することができるフ ローセンサおよびその製造方法
173	第 6843350 号 (2016-231519)	放射線量計測装置、放射線量 計測方法及び放射線量計測シ ステム	2021年2月26日 (2016年11月29日)	共有	移動しながら放射線検出器を走査し、静止 計測時の放射線量計測と同等の結果を算出 し推定することができる放射線量計測装置
174	第 6846031 号 (2016-219707)	ガス電子増幅モジュール	2021年3月3日 (2016年11月10日)	単独	容易に実装可能で、一体化したガス電子増 幅モジュール
175	第 6847442 号 (2016-113048)	物体追跡装置、物体追跡方法、 及び物体追跡プログラム	2021年3月5日 (2016年6月6日)	単独	物体追跡装置が運動する場合であっても、正 確に物体を追跡する物体追跡装置、物体追 跡方法、および物体追跡プログラム

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
176	第 6858395 号 (2016-219377)	ノイズ源探査システムおよび ノイズ源探査方法	2021年3月26日 (2016年11月10日)	単独	同じ周波数の信号出力源が近接位置に複数 設けられていても、ノイズ源となっている信 号の出力源を明確に識別できるノイズ源探査 システム
177	第 6858391 号 (2016-197054)	X線CT装置、画像補正方法 及び画像補正プログラム	2021年3月26日 (2016年10月5日)	単独	点光源式のX線源と、フラットパネル式の 検出器とを備えるX線CT装置において、 フラットパネル式の検出器の端部における投 影画像の誤差を精度よく補正する
178	第 6865919 号 (2017-212487)	光暴露方法及び光暴露装置	2021年4月9日 (2017年11月2日)	共有	材料の光と熱の関係を解析可能な光暴露装 置及び光暴露方法
179	第 6867657 号 (2019-559900)	マグネシウム合金粉末の製造 方法	2021年4月13日 (2017年12月19日)	単独	Mgを主成分とし、Y、Al、およびCaか らなる群から選択される少なくとも1種を第 1の副成分として含有するMg合金の溶解原 料を溶解して、Mg合金の溶湯を得る工程、 および空気を用いて、上記Mg合金の溶湯を 噴霧して、Mg合金粉末を得る工程を有する、 Mg合金粉末の製造方法
180	第 6868268 号 (2017-040525)	成形体の製造方法	2021年4月14日 (2017年3月3日)	単独	変形可能な基材の表面上に固化可能な流動 体を塗布して第一塗膜を形成する第一塗布 工程と、上記第一塗膜を固化して第一固化 膜を得る第一固化工程と、上記基材を変形さ せることにより、上記第一固化膜を上記基材 から剥離する剥離工程と、を備える成形体の 製造方法
181	第 6882745 号 (2016-138685)	6価クロム含有廃液の処理剤 および処理方法	2021年5月11日 (2016年7月13日)	単独	処理工程中のpH調整を1回とすることが可 能で、処理設備を簡素化でき、処理中に危 険な薬品を使用する回数を減らすことがで きる六価クロム含有廃液の処理剤および処理 方法
182	第 6900031 号 (2017-108698)	パーソナルトレーナースーツ、 姿勢計測装置、姿勢計測方法、 及び、トレーニングシャツ	2021年6月18日 (2017年5月31日)	単独	筋力トレーニング機器の利用者が「胸をはり」 かつ「肩をすくめない」姿勢であるかを計測 するパーソナルトレーナースーツ
183	第 6912042 号 (2017-018226)	熱伝導式センサ	2021年7月12日 (2017年2月3日)	単独	結露などの発生を防止し、より適切な測定を することができる熱伝導式センサ
184	第 6923909 号 (2017-098856)	偏光特性測定方法および偏光 特性測定装置	2021年8月3日 (2017年5月18日)	単独	サンプリング数を抑制して演算処理の負荷を 軽減するとともに、偏光特性を精度良く測定 することができる偏光特性測定方法
185	第 6928352 号 (2018-233482)	水分率測定装置および水分率 測定方法	2021年8月11日 (2018年12月13日)	共有	精度の高い水分率測定を行うことができる水 分率測定装置および水分率測定方法。
186	第 6932343 号 (2016-131911)	体表に適用する非架橋ゼラチ ン、これを含む化粧料用また は医薬用ゼラチン、ゼラチン 混合体の製造方法、および化 粧料用または医薬用ゼラチン の製造方法	2021年8月20日 (2016年7月1日)	共有	30℃を超える程度の比較的高い融点を有し、 かつ生体温度付近でゾル-ゲル転移を起こ すことのできる非架橋ゼラチン
187	第 6936482 号 (2017-217331)	暗号システム、ユーザシステ ム、暗号方法、及び暗号プロ グラム	2021年8月31日 (2017年11月10日)	単独	属性ベース暗号を用いた暗号システム、ユー ザシステム、暗号方法、及び暗号プログラム
188	第 6940042 号 (2017-118594)	積層造形装置及び積層造形シ ステム	2021年9月6日 (2017年6月16日)	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引 き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物 入りケーキの内部温度の冷却を促進させるこ とで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積 層造形において、造形物完成までの時間を短 縮できる積層造形装置および積層造形シス テム
189	第 6944669 号 (2020-065547)	食器用器具・容器包装	2021年9月15日 (2020年4月1日)	共有	海洋生分解性を有する樹脂の成形体によっ て構成される食品用器具・容器包装、及び 海洋資材に関する
190	第 6945203 号 (2018-520890)	多層グラフェン分散液、熱物 性測定用黒化剤および粉末焼 結用離型剤・潤滑剤	2021年9月16日 (2017年5月29日)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均 一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン 分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化 剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼 結用離型剤・潤滑剤

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
191	第 6958837 号 (2017-227160)	身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム	2021年10月11日 (2017年11月27日)	共有	形状計測装置によって得られた形状データの表面構造を、寸法精度を損なうことなく、動作データを適用可能な構造に変換することができる身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム
192	第 6970422 号 (2017-108148)	音響信号処理装置、音響信号処理方法、及び、音響信号処理プログラム	2021年11月2日 (2017年5月31日)	単独	マイク入力にエコー以外の音声(利用者の音声等)が含まれているか否かを速やかに正しく判定することができる音響信号処理装置
193	第 6974821 号 (2017-061293)	移動ロボット及び制御回路	2021年11月9日 (2017年3月27日)	単独	移動ロボットの転倒を防止でき、かつ、車輪駆動部への動力を遮断せずに、制御部に故障等が発生し移動ロボットが暴走したとしても、低コストな方法で移動ロボットの移動速度が適切に制限される安全性の高い移動ロボットおよび制御回路
194	第 6980270 号 (2018-019856)	背景騒音下における対象音の近似官能評価方法および背景騒音下における対象音の近似官能評価システム	2021年11月19日 (2018年2月7日)	単独	背景騒音下で被評価物から生じる対象音に対する聴感印象の官能評価と相関性の高い近似的な官能評価を定量的に行うことができる背景騒音下における対象音の近似官能評価システム
195	第 6992980 号 (2018-124435)	光触媒作用を有する積層構造体の製造方法	2021年12月13日 (2018年6月29日)	単独	光触媒層とスペーサ層とが積層する積層体において、スペーサ層を除去しやすい、光触媒作用を有する積層構造体の製造方法
196	第 6994147 号 (2017-210101)	高分子多糖類又はタンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法、架橋高分子多糖類又は架橋タンパク質形成用ゾル及びその製造方法	2021年12月15日 (2017年10月31日)	共有	高分子多糖類またはタンパク質架橋用架橋剤およびその製造方法、架橋高分子多糖類または架橋タンパク質形成用ゾルおよびその製造方法
197	第 6994723 号 (2020-091946)	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池システム	2021年12月16日 (2020年5月27日)	共有	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池システムに係り、特に、高い導電性を有する導電性糸と燃料ガスを改質する改質触媒糸とが組み合わされた集電材用糸、この集電材用糸を編織した集電材、及び、この集電材を用いた燃料電池システムに関する。本明細書では、これらの集電材等が適用される燃料電池システムは、固体酸化物形燃料電池(SOFC)を用いる燃料電池システムの場合について説明するが、固体酸化物形燃料電池に限らず、他の燃料電池システムにも適用される
198	第 7007086 号 (2016-224258)	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2022年1月11日 (2016年11月17日)	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
199	第 7012950 号 (2016-224255)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022年1月21日 (2016年11月17日)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注入用ゾル
200	第 7017709 号 (2020-185789)	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラム	2022年2月1日 (2020年11月6日)	単独	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラムに関するもので、詳しくは、樹脂粉末床溶融結合固有の課題とされる、オレンジピールと呼ばれる凹凸の激しい表面の形成の抑制に加えて、材料消費量の低減も同時に達成するものである
201	第 7030325 号 (2018-008030)	殺菌方法	2022年2月25日 (2018年1月22日)	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面においては、殺菌ができる程度の電子線を照射しつつ、可食部のX線の吸収線量を基準値以下に抑える殺菌方法
202	第 7038399 号 (2017-183254)	CT装置用校正器	2022年3月10日 (2017年9月25日)	単独	CT装置による寸法測定と校正を同時に行うための校正器
203	第 7048956 号 (2017-169756)	FRP成形品及びその製造方法	2022年3月29日 (2017年9月4日)	単独	高い強度と、高い弾性率と、優れた耐衝撃性とを同時に満たすFRP成形品およびその製造方法

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
204	第7062284号 (2018-131206)	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	2022年4月22日 (2018年7月11日)	単独	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法に関し、特に、ドナー材料として用いて好適なポルフィリン誘導体やその製造方法、また、このポルフィリン誘導体をドナー材料として用いた光電変換装置や光電変換装置の製造方法
205	第7062283号 (2018-117844)	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	2022年4月22日 (2018年6月21日)	単独	電荷輸送効率の向上や、長い励起寿命などの特性向上が可能な光電変換装置のドナー材料としてのポルフィリン誘導体、および光電変換装置の製造方法
206	第7066116号 (2017-227159)	人体形状モデル可視化システム、人体形状モデル可視化方法およびプログラム	2022年5月2日 (2017年11月27日)	共有	運動および運動に関係する時間変化データをわかりやすく提示することができる人体形状モデル可視化システム、人体形状モデル可視化方法およびプログラム
207	第7066934号 (2018-191985)	チタン合金の絞り加工方法	2022年5月6日 (2018年10月10日)	単独	低温でチタン合金を良好に絞り加工できるチタン合金の絞り加工方法低温でチタン合金を良好に絞り加工できるチタン合金の絞り加工方法
208	第7075055号 (2018-189218)	絞り加工装置及び絞り加工方法	2022年5月17日 (2018年10月4日)	単独	金属の金型への凝着を抑制できる絞り加工装置及び絞り加工方法
209	第7075121号 (2018-154669)	電子製品の評価方法および評価装置	2022年5月17日 (2018年8月21日)	単独	電子製品の誤動作原因となるノイズ周波数を明確にし、さらに誤動作の原因であるノイズを低減させる際のレベル指標を定める、電子製品の評価方法およびこの方法を用いた評価装置
210	第7079464号 (2017-213004)	炭酸カルシウム成形体の製造方法および炭酸カルシウム成形体	2022年5月25日 (2017年11月2日)	単独	緻密性及均質性などの非晶質炭酸カルシウムの長所が維持されており、強度に優れた炭酸カルシウム成形体を得ることができる炭酸カルシウム成形体の製造方法
211	第7081389号 (2018-153505)	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	2022年5月30日 (2018年8月17日)	単独	目盛誤差をより容易に低減することができる温度補正方法、温度補正プログラム、および座標測定機
212	第7081354号 (2018-132635)	センサ保持基板及びセンサモジュール	2022年5月30日 (2018年7月12日)	単独	断熱性を向上することができるセンサ保持基板およびセンサモジュール
213	第7083142号 (2017-119609)	移動装置、駆動制御方法、及び駆動制御プログラム	2022年6月2日 (2017年6月19日)	単独	移動経路に沿って移動する移動装置であり、構造物が配置された領域の状況に応じて適切に移動することができる移動装置、駆動制御方法および駆動制御プログラム
214	第7084575号 (2017-238382)	亀裂検知センサー及び亀裂検知システム	2022年6月7日 (2017年12月13日)	共有	現場での施工が容易であり、小さな亀裂の発生とその進展とを検出することができる亀裂検知センサーと、このセンサーを使用した亀裂検知システム
215	第7092348号 (2018-153720)	比較測定機用校正ゲージ及び比較測定機の校正方法	2022年6月20日 (2018年8月17日)	単独	被測定物の位置ずれによる測定誤差が比較測定機の精度保証範囲内であることを確認できる比較測定機用校正ゲージ
216	第7102659号 (2018-185076)	樹脂金属複合部材及び樹脂金属複合部材の製造方法	2022年7月11日 (2018年9月28日)	単独	金属部材と接着層と繊維強化樹脂とを備える樹脂金属複合部材において、接着層に対する繊維強化樹脂の接着性に優れた樹脂金属複合部材の製造方法金属部材と接着層と繊維強化樹脂とを備える樹脂金属複合部材において、前記接着層に対する前記繊維強化樹脂の接着性に優れた樹脂金属複合部材
217	第7105477号 (2018-100159)	合金部材および合金部材の製造方法	2022年7月14日 (2018年5月25日)	単独	合金部材および合金部材の製造方法に関し、メカニカルアロイニング粒子を摩擦攪拌プロセスにより取り込んだ合金領域を有する合金部材およびその製造方法
218	第7111347号 (2018-110238)	磁界検出コイルおよびEMIアンテナ	2022年7月25日 (2018年6月8日)	単独	シールド材を施さずに外来ノイズの影響を低減し、被測定対象に流れるノイズ電流、即ち、ノイズ電流に起因する磁界成分のみを広帯域にわたり再現性よく検出することができる磁界検出コイルおよびEMIアンテナ

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
219	第7112072号 (2018-113072)	回転型レオメーター用乾燥防止用具	2022年7月26日 (2018年6月13日)	単独	回転型レオメーターを用いて測定する際の試料の乾燥を抑制することができ、計測精度を向上させることが可能な回転型レオメーター用乾燥防止用具
220	第7114056号 (2018-103401)	繊維強化樹脂製ボルト、繊維強化樹脂製締結部材の製造方法。	2022年7月29日 (2018年5月30日)	単独	簡易な手法により軸に対して垂直な面内に繊維物を配置することによって、ネジ山の強度を向上させた繊維強化樹脂製ボルト及びナット、そして、それら締結部材の製造方法
221	第7119256号 (2017-131884)	VOC処理用触媒の製造方法、VOC処理方法及びVOC処理用触媒	2022年8月8日 (2017年7月5日)	単独	芳香族を含むVOCとそれを含まないVOCを300℃より低い温度領域で同時に処理することのできる触媒
222	第7123394号 (2018-215048)	歩行支援装置	2022年8月15日 (2018年11月15日)	単独	フレームの姿勢を安定させつつ方向転換を容易に行うことができる歩行支援装置
223	第7132606号 (2018-169193)	歩行支援装置	2022年8月30日 (2018年9月10日)	単独	収納形態における小型化を図ることができる歩行支援装置
224	第7132605号 (2018-169190)	歩行支援装置	2022年8月30日 (2018年9月10日)	単独	構造が簡略であって、装置の寸法に関する設計上の制約が少なく、しかも安全性の点で優れている歩行支援装置
225	第7133205号 (2018-150796)	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	2022年8月31日 (2018年8月9日)	単独	研磨工具の長寿命化のために、研磨工具の摩耗を低減し、さらに、研磨の高効率化を可能とするダイヤモンド研磨装置およびダイヤモンド研磨方法
226	第7141095号 (2018-153394)	光触媒	2022年9月13日 (2018年8月17日)	単独	量子サイズ効果が生じる径を有する細孔が形成された担体と、細孔に挿入された量子ドットと、量子ドットと接触し、かつ、前記細孔の外部に配置されるナノ粒子とを有する触媒材料およびそれらを含む光触媒
227	第7141052号 (2018-126727)	機能性薄膜の製造方法	2022年9月13日 (2018年7月3日)	共有	機能性薄膜の組成の制御が可能な機能性薄膜の製造方法、ならびに組成が制御され、膜の厚さ方向において構成成分の組成比が異なる機能性薄膜
228	第7142201号 (2017-252990)	撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法	2022年9月15日 (2017年12月28日)	共有	偏光を用いてサンプル(試料)を観察するために、当該サンプルを被写体として写真撮影を行う撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法
229	第7143994号 (2017-215184)	高配向コラーゲン線維束及びその製造方法	2022年9月20日 (2017年11月8日)	共有	一定以上のファイバー長を有する高配向のコラーゲン線維束の提供
230	第7145476号 (2017-181140)	複層ガラス剥離装置及び剥離方法	2022年9月22日 (2017年9月21日)	単独	複層ガラスからガラス板を短時間で分離することができる複層ガラス剥離装置と、複層ガラスからのガラス剥離方法
231	第7148100号 (2021-144034)	腐食試験方法及び装置	2022年9月27日 (2021年9月3日)	共有	鋼板などの金属表面のさび等の腐食の経時的変化を定量的に測定し、腐食状態を評価できる試験装置
232	第7149451号 (2018-163335)	体温調節衣服	2022年9月29日 (2018年8月31日)	単独	着用者の側頸部(首の横部分)両脇や左右の腋窩(えきか、脇の下のくぼんだ部分)を効率よく保冷もしくは保温する衣服
233	第7149510号 (2018-012042)	演算システム、演算装置及びプログラム	2022年9月29日 (2018年1月26日)	共有	電磁界解析の演算を同時並列化することができる演算装置、演算管理装置及びプログラム
234	第7161754号 (2018-214911)	移動走行装置	2022年10月19日 (2018年11月15日)	単独	車輪の適正なグリップをバネ、ダンパを使うことなく簡単なリンク機構で達成することができる移動走行装置
235	第7178650号 (2016-155123)	情報検索方法、情報検索プログラム、情報検索用端末および情報検索装置	2022年11月17日 (2016年8月8日)	共有	情報検索において非言語情報を入出力に活用することで、言語格差をほとんど感じさせることなくユーザーが所望する観光などの情報を適切に検索・提供可能なシステム
236	第7201208号 (2018-153651)	校正ゲージ及び校正方法	2022年12月26日 (2018年8月17日)	単独	非接触式三次元測定機に用いることができる校正ゲージ及び校正方法
237	第7209996号 (2018-124252)	組成物、成形体の製造方法、及び、成形体	2023年1月13日 (2018年6月29日)	単独	常温で成形ができ、かつ、合成樹脂を必要としない組成物、成形体の製造方法、及び、成形体

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
238	第 7216950 号 (2017-021420)	保存対象物の保存方法および保存対象物を包埋したゲルの製造方法	2023年1月25日 (2017年2月8日)	共有	短時間でゲルの内部に細胞などの保存対象物を包埋することができ、かつ包埋後もゲルの内部で保存対象物を安定的に保存する
239	第 7265246 号 (2019-015305)	殺菌装置および殺菌方法	2023年4月18日 (2019年1月31日)	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面の全体においてより均一に電子線を照射し、その表面の全体において電子線による殺菌効果を付与する殺菌装置
240	第 7269563 号 (2019-041413)	支持体固定化触媒担体	2023年4月26日 (2019年3月7日)	共有	比表面積の大きい $12CaO \cdot 7Al_2O_3$ 化合物を効率良くセラミックス支持体上に固定化した触媒担体
241	第 7269562 号 (2019-041412)	触媒担体および触媒の製造方法	2023年4月26日 (2019年3月7日)	共有	比表面積の大きい $12CaO \cdot 7Al_2O_3$ 化合物粒子を効率良くセラミックス支持体上に固定化した触媒担体の製造方法
242	第 7281726 号 (2018-133715)	金属空気電池または燃料電池のガス拡散電極に使用されるガス拡散層とそれを用いたガス拡散電極およびその製造方法	2023年5月18日 (2018年7月13日)	共有	優れたガス拡散性を有し、かつ、剛性が高く電気的な接触が安定した金属空気電池または燃料電池のガス拡散電極に使用されるガス拡散層とそれを用いたガス拡散電極およびその製造方法
243	第 7284946 号 (2018-159761)	ニトロ多環芳香族化合物の分析に用いる液体クロマトグラフ装置、ニトロ多環芳香族化合物の蛍光検出方法及びニトロ多環芳香族化合物の蛍光増強方法	2023年5月24日 (2018年8月28日)	共有	ニトロ多環芳香族化合物の蛍光を増強させる方法、そして、増強させた蛍光を検出する方法、さらに、これらの方法を具現化させるためのニトロ多環芳香族化合物の分析に用いる液体クロマトグラフ装置
244	第 7292695 号 (2017-156749)	機能性薄膜、その製造方法、積層構造体及びその製造方法	2023年6月9日 (2017年8月15日)	単独	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
245	第 7296609 号 (2017-219439)	デジタル処理装置、デジタル処理装置の製造方法及びプログラム	2023年6月15日 (2017年11月14日)	単独	性能を向上させることが可能なデジタル処理装置、デジタル処理装置の製造方法及びプログラム
246	第 7304607 号 (2018-159514)	無機ガス検出装置及び無機ガス検出システム	2023年6月29日 (2018年8月28日)	単独	無機ガスを高感度で検出可能な無機ガス検出装置
247	第 7311853 号 (2019-149402)	土質を判別するための方法、プログラム、及びシステム	2023年7月11日 (2019年8月16日)	共有	簡易かつ高精度に地盤のフミン酸含有率を推定することが可能な、土質を判別するための方法、プログラム、及びシステム
248	第 7311882 号 (2019-096694)	電波吸収体	2023年7月11日 (2019年5月23日)	単独	薄型に形成することが可能であり、所望の広域または複数の周波数帯域において電波を十分に吸収することができる電波吸収体
249	第 7312446 号 (2019-165763)	金属材料の絞りしごき加工方法及び金属加工物	2023年7月12日 (2019年9月11日)	単独	低温で金属材料を加工できる金属材料の絞りしごき加工方法及び金属加工物
250	第 7315941 号 (2018-188514)	粉末材料、及びマグネシウム合金部材の製造方法	2023年7月19日 (2018年10月3日)	単独	マグネシウムとアルミニウムと金属間化合物3とを含み、金属間化合物3が、カルシウム及びスズを含むマグネシウム合金部材の製造方法マグネシウム合金部材は、マグネシウムとアルミニウムと金属間化合物3とを含み、金属間化合物3が、カルシウム及びスズを含む。
251	第 7321484 号 (2018-127462)	電波吸収構造	2023年7月28日 (2018年7月4日)	単独	複数の周波数について高効率の電波吸収特性を有し、また、比較的簡易に、薄型に製造することができる電波吸収構造
252	第 7340856 号 (2020-030891)	熱膨張係数の評価方法及び座標測定機の温度補正方法	2023年8月31日 (2020年2月26日)	単独	熱膨張係数の評価方法及び座標測定機の温度補正方法に関するものである。また、目盛誤差をより容易に低減することができる座標測定機の温度補正方法を提供する
253	第 7340840 号 (2019-093886)	微小光学構造体の製造方法	2023年8月31日 (2019年5月17日)	単独	複数の材料からなる微小光学構造体を簡便に製造可能な方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
254	第7344505号 (2019-148834)	VOC処理用触媒の製造方法	2023年9月6日 (2019年8月14日)	共有	コバルト・セリウム複合酸化物へ白金を直接担持させるとともに、ボールやハニカム等の担体への担持に際して触媒性能が向上する技術手段
255	第7348475号 (2019-084567)	高温養生用セメント組成物を用いた硫酸塩劣化を抑制されたセメント組成物硬化体の製造方法	2023年9月12日 (2019年4月25日)	共有	強度発現性に優れるとともに内部硫酸塩劣化が抑制され、生産効率の優れたセメント組成物を得ることのできるセメント組成物および硫酸塩劣化を抑制されたセメント組成物硬化体の製造方法
256	第7352936号 (2019-130800)	多孔質シリカ、機能材料および多孔質シリカの製造方法	2023年9月21日 (2019年7月16日)	単独	多孔質シリカおよび多孔質シリカの製造方法に関し、特に、階層的多孔構造を有する多孔質シリカ、階層的多孔構造を有する多孔質シリカを用いた機能材料および階層的多孔構造を有する多孔質シリカの製造方法
257	第7360105号 (2019-167654)	白金族金属イオンの分離回収システム及び分離回収方法	2023年10月3日 (2019年9月13日)	単独	高濃度廃液中の白金族金属を回収した後の低濃度廃液から効率よく白金族金属（Pt、Pd）イオンを選択的に分離回収し、リサイクル率の向上を図ることのできる技術
258	第7369960号 (2019-149493)	地盤沈下量を予測するための方法、プログラム、及びシステム	2023年10月19日 (2019年8月16日)	共有	簡易かつ高精度に地盤沈下量を予測することが可能な、地盤沈下量を予測するための方法、プログラム、及びシステム
259	第7372652号 (2019-149079)	アクセプター材料、 π 共役系ホウ素化合物の製造方法および電子装置	2023年10月24日 (2019年8月15日)	単独	新規な π 共役系ホウ素化合物、および、この π 共役系ホウ素化合物を適用した電子装置 新規な π 共役系ホウ素化合物、および、この π 共役系ホウ素化合物を適用した電子装置
260	第7387963号 (2019-200030)	プリプレグ、プリプレグの製造方法、成形体、及び成形体の製造方法	2023年11月20日 (2019年11月1日)	単独	繊維強化樹脂の成形時において繊維基材の破断が生じにくく、かつ、成形体としたときの耐久性に優れたプリプレグ
261	第7388631号 (2019-184626)	ポンプ装置	2023年11月20日 (2019年10月7日)	単独	ポンプ効率を維持しながら、軸スラスト力が低減可能なポンプ装置
262	第7396613号 (2019-099111)	積層造形装置、三次元形状造形物に対する加工方法、三次元形状造形物及び金型	2023年12月4日 (2019年5月28日)	単独	三次元形状造形物の低密度化による強度懸念や、通気度制御の困難性、そして、形状自由度への制約を解決する三次元形状造形物を造形可能とする積層造形装置、三次元形状造形物に対する加工方法、さらに、その加工方法により加工された三次元形状造形物および、三次元形状造形物を用いた金型本体と入子から構成される金型
263	第7411208号 (2019-213554)	地図作成方法、地図作成装置、位置推定方法、及び位置推定装置	2023年12月27日 (2019年11月26日)	単独	ロボット等の移動体において、周囲の形状以外に情報が少ない場合でも、精度よく移動体の位置を推定することを可能とする地図作成方法
264	第7427187号 (2019-199262)	VOC処理用触媒、VOC処理装置およびVOCの処理方法	2024年1月26日 (2019年10月31日)	共有	耐酸性を有し、ハロゲン系VOCの処理に長期間使用できるVOC処理用触媒
265	第7442123号 (2019-202555)	繊維強化複合材料サンドイッチコア及び繊維強化複合材料サンドイッチコアの製造方法	2024年2月22日 (2019年11月7日)	共有	曲げ強度、曲げ剛性および圧縮強度が高く様々な用途に使用できる繊維強化複合材料サンドイッチコア
266	第7444426号 (2019-166640)	状態推定評価装置、方法、及び、プログラム	2024年2月27日 (2019年9月12日)	単独	推定対象である対象装置から観測された所定の時刻での観測値から、対象装置の所定の時刻での状態量を推定する状態推定評価装置
267	第7458074号 (2020-183126)	保持具	2024年3月21日 (2020年10月30日)	単独	保持具
268	第7458635号 (2020-144857)	行動識別モデル学習装置、行動識別モデル学習方法、行動識別モデル学習プログラム、及び記録媒体	2024年3月22日 (2020年8月28日)	単独	対象行動を含む正の学習データと、含まない負の学習データの特徴量から算出したスコアに基づき、行動識別パラメータを最適化する行動識別モデル学習装置
269	第7461033号 (2020-094426)	電磁ノイズ耐性評価装置	2024年3月26日 (2020年5月29日)	単独	評価対象とする電子機器の内部における電磁ノイズの伝達特性を測定することにより、電磁ノイズに対する耐性を定量的に評価できる電磁ノイズ耐性評価装置

(2) 外国特許登録

番号	登録番号 (出願番号)	名称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	韓国特許 第10-1212393号 (10-2006-28002)	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット 及びそのガラスペースト	2012年12月7日 (2006年3月28日)	共有	鉛加工物を用いずに、硼珪酸塩系ガラス原料を利用して580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
2	米国特許 第8,729,371号 (13/061905)	弦楽器、その製造方法及び装置	2014年5月20日 (2009年8月31日)	単独	積層造形法を活用した弦楽器、弦楽器の製造方法および弦楽器製造装置
3	韓国特許 第10-1417009号 (10-2007-96585)	絶縁層を形成するための無鉛 硼珪酸塩ガラスフリット及び そのガラスペースト	2014年6月30日 (2007年9月21日)	共有	絶縁層を形成するガラス組成物中にPbOを含まない絶縁層形成用のガラスフリット
4	韓国特許 第10-1502996号 (10-2013-7006447)	固体酸化物型燃料電池	2015年3月10日 (2013年3月13日)	共有	MEAセルとセパレータの間に集電材が設けられる平板型の固体酸化物型燃料電池、およびMEAセルの空気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池
5	中国特許 第201180011994.1号 (201180011994.1)	多孔質シリカの製造方法および 多孔質シリカ	2015年6月24日 (2010年3月4日)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
6	韓国特許 第10-1609080号 (10-2014-7004939)	多孔質シリカ内包粒子の製造 方法および多孔質シリカ、多 孔質シリカ内包粒子	2016年3月29日 (2012年8月28日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
7	中国特許 第ZL201280042513.8号 (201280042513.8)	多孔質シリカ内包粒子の製造 方法および多孔質シリカ、多 孔質シリカ内包粒子	2016年8月24日 (2012年8月28日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
8	米国特許 第9,480,117号 (14/354758)	電力線を介して負荷を制御する ための制御システム	2016年10月25日 (2014年4月28日)	単独	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
9	欧州特許 第2757573号 (12831773.2)	イオン化ガス検出器及びイオン 化ガス検出方法	2016年11月30日 (2012年6月21日)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
10	米国特許 第9,645,113号 (14/216588)	イオン化ガス検出器及びイオン 化ガス検出方法	2017年5月9日 (2012年7月21日)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
11	韓国特許 第10-1750584号 (10-2012-7025433)	多孔質シリカの製造方法および 多孔質シリカ	2017年9月27日 (2012年9月27日)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
12	欧州特許 第2752460号 (12826932.1)	成形用材料とこれを用いた形 成体	2018年1月10日 (2012年8月31日)	単独	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
13	米国特許 第9,928,619号 (14/894325)	X線エネルギー別画像再構成 装置及び方法並びにX線三次 元測定装置及び方法	2018年3月27日 (2015年11月25日)	単独	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
14	米国特許 第10,293,320号 (14/241589)	多孔質シリカ内包粒子の製造 方法および多孔質シリカ、多 孔質シリカ内包粒子	2019年5月21日 (2012年8月28日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
15	米国特許 第10,336,380号 (15/560372)	ロッカーボギー	2019年7月2日 (2016年5月24日)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
16	中国特許 第ZL201680017191.X号 (201680017191.X)	ロッカーボギー	2019年8月2日 (2016年3月24日)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー

番号	登録番号 (出願番号)	名称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
17	欧州特許 第 3006924 号 (14804436.5)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2019年10月8日 (2014年5月29日)	単独	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
18	米国特許 第 10,520,453 号 (15/579,672)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2019年12月31日 (2016年6月3日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
19	米国特許 第 10,521,936 号 (15/674396)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2019年12月31日 (2017年8月10日)	単独	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
20	米国特許 第 10,649,013 号 (15/553,365)	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2020年5月12日 (2016年2月26日)	単独	簡単化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
21	欧州特許 第 3281848 号 (16768869.6)	ロッカーボギー	2020年7月15日 (2016年3月24日)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
22	米国特許 第 10,815,393 号 (15/769,362)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物及び医療用積層体ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2020年10月27日 (2016年10月18日)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
23	欧州特許 第 3306309 号 (16803489)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2020年11月17日 (2017年10月27日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
24	欧州特許 第 2752284 号 (12828401.5)	成形体の製造方法	2020年12月23日 (2012年8月31日)	共有	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法
25	中国特許 第ZL201680032166.9号 (201680032166.9)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2021年2月9日 (2017年12月1日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
26	米国特許 第 10,933,171 号 (16/461,552)	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2021年3月2日 (2017年11月16日)	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
27	欧州特許 第 3109625 号 (16180850.6)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2021年4月7日 (2016年6月22日)	単独	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
28	韓国特許 第 10-2240165 号 (10-2019-7016710)	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2021年4月8日 (2019年6月11日)	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
29	米国特許 第 11,008,218 号 (16/074846)	多層グラフェン分散剤、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2021年5月18日 (2017年5月29日)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
30	中国特許 第ZL201680011804.9号 (201680011804.9)	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2021年6月15日 (2016年2月26日)	単独	簡単化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
31	欧州特許 第 3366700 号 (16857430.9)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2021年6月15日 (2018年5月18日)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
32	メキシコ特許 第 385851 号 (MX/a/2017/015731)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2021年9月2日 (2016年6月3日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
33	中国特許 第ZL201780020252.2号 (2017800202522.0)	多層グラフェン分散剤、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2022年4月8日 (2017年5月29日)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
34	韓国特許 第10-2408275号 (10-2019-7016712)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022年6月8日 (2019年6月11日)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注入用ゾル
35	欧州特許 第3542830号 (17872367.2)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022年6月22日 (2017年11月16日)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注入用ゾル
36	欧州特許 第2752461号 (12828428.8)	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	2022年8月17日 (2012年8月31日)	共有	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体
37	米国特許 第11,559,602号 (16/461527)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2023年1月24日 (2019年5月16日)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注入用ゾル
38	韓国特許 第10-2493849号 (10-2017-7034538)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2023年1月26日 (2016年6月3日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
39	カナダ特許 第2,983,722号 (2983722)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2023年5月9日 (2016年6月3日)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
40	欧州特許 第2752391号 (12828309)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	2023年7月26日 (2012年8月28日)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
41	米国特許 第11,753,462号 (16/762,183)	高配向カラーゲン線維束及びその製造方法	2023年9月12日 (2018年11月5日)	単独	一定以上のファイバー長を有する高配向のカラーゲン線維束の提供
42	米国特許 第11,787,121号 (17/142,805)	積層造形装置及び積層造形システム	2023年10月17日 (2021年1月6日)	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム
43	欧州特許 第3466877号 (17806594.2)	多層グラフェン分散剤、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2024年2月28日 (2017年5月29日)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤

(3) 実用新案登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第3194598号 (2014-003582)	装飾品及び照明器具	2014年11月12日 (2014年7月4日)	単独	希少なべっ甲を有効に利用しつつ、べっ甲が持つ風合いを活かした装飾品および照明器具
2	第3195080号 (2014-005473)	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	2014年12月3日 (2014年10月15日)	単独	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせて連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンドおよびブックエンドユニット

(4) 意匠登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第 1433084 号 (2011-015358)	ランプシェード	2012年1月6日 (2011年7月5日)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用するシェード
2	第 1439104 号 (2011-015359)	ランプシェード	2012年3月23日 (2011年7月5日)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するもの
3	第 1546747 号 (2015-013530)	ランプシェード	2016年2月26日 (2015年6月18日)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用するランプシェードであり、大きさの異なる3つの六角形の枠(大枠、中枠、小枠)から形成され、大枠正面に透光性を有する素材が配設されてなるもの
4	第 1571378 号 (2016-011576)	ロボット	2017年2月10日 (2016年5月31日)	単独	自律的に走行可能なロボットである。例えば、屋内または屋外の施設で、施設内巡回や施設利用者への案内等を行う
5	第 1596642 号 (2017-017954)	乗用自動車	2018年1月12日 (2017年8月22日)	共有	マイクロEV キッチンカー
6	第 1603265 号 (2017-018310)	ロボット	2018年4月6日 (2017年8月25日)	単独	自律的に走行可能なロボット
7	第 1603264 号 (2017-018309)	ロボット	2018年4月6日 (2017年8月25日)	単独	自律的に走行可能なロボット
8	第 1635868 号 (2018-020792)	乗用自動車	2019年6月14日 (2018年9月25日)	単独	小型の乗用自動車
9	第 1639459 号 (2018-023126)	歩行器	2019年7月26日 (2018年10月22日)	単独	折り畳み式の歩行支援装置
10	第 1639458 号 (2018-023125)	歩行器	2019年7月26日 (2018年10月22日)	単独	拡張式の歩行支援装置
11	第 1645079 号 (2019-008058)	歩行器	2019年10月11日 (2019年4月12日)	単独	ハンドルの高さ調整可能な歩行支援装置
12	第 1656268 号 (2019-023015)	ロボット	2020年3月11日 (2019年10月15日)	単独	警備ロボット
13	第 1661841 号 (2019-024792)	カフスポタン	2020年5月29日 (2019年11月7日)	単独	カフスポタン
14	第 1661840 号 (2019-024791)	カフスポタン	2020年5月29日 (2019年11月7日)	単独	カフスポタン
15	第 1662804 号 (2019-025537)	ロボット	2020年6月12日 (2019年11月18日)	単独	自律移動型案内ロボット
16	第 1662803 号 (2019-025535)	ロボット	2020年6月12日 (2019年11月18日)	単独	案内ロボット
17	第 1668449 号 (2020-003612)	飲食用スプーン	2020年8月31日 (2020年2月26日)	共有	飲食用スプーン
18	第 1668450 号 (2020-003615)	飲食用スプーン	2020年8月31日 (2020年2月26日)	共有	飲食用スプーン
19	第 1668447 号 (2020-003606)	飲食用スプーン	2020年8月31日 (2020年2月26日)	共有	飲食用スプーン
20	第 1668448 号 (2020-003607)	飲食用スプーン	2020年8月31日 (2020年2月26日)	共有	飲食用スプーン
21	第 1670360 号 (2018-018784)	スタンド付き調味料用容器	2020年9月29日 (2018年8月29日)	単独	専用のスタンド付きの調味料用容器
22	第 1676977 号 (2020-015528)	スリーブ	2020年12月24日 (2020年7月27日)	単独	カップなどの円筒形の飲食の外側表面に装着して用いるスリーブ
23	第 1677763 号 (2020-016695)	飲食用皿	2021年1月7日 (2020年8月7日)	共有	飲食用皿
24	第 1682202 号 (2020-023604)	身の回り品用留め具	2021年3月11日 (2020年10月30日)	単独	身の回り品用留め具

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
25	第1682672号 (2020-018653)	タンブラー	2021年3月17日 (2020年9月2日)	共有	タンブラー
26	第1683947号 (2020-015625)	猪口	2021年4月5日 (2020年7月28日)	単独	猪口(底面:富山県)
27	第1683946号 (2020-015624)	猪口	2021年4月5日 (2020年7月28日)	単独	猪口(底面:東京都)
28	第1684377号 (2020-016696)	コップ	2021年4月9日 (2020年8月7日)	共有	コップ
29	第1685786号 (2020-018652)	猪口	2021年4月28日 (2020年9月2日)	共有	2個組合わせて卵形にすることができる猪口
30	第1685785号 (2020-018651)	徳利	2021年4月28日 (2020年9月2日)	共有	徳利
31	第1686866号 (2020-016694)	飲食用皿	2021年5月14日 (2020年8月7日)	共有	飲食用皿の持ち手及び箸置きとして機能する部分意匠
32	第1701605号 (2020-015520)	水引	2021年11月18日 (2020年7月27日)	単独	水引
33	第1702577号 (2021-005074)	飲食用皿	2021年11月30日 (2021年3月12日)	単独	左右における取手表面に複数の突起部が形成された飲食用皿
34	第1705800号 (2021-005076)	包装紙	2022年1月14日 (2021年3月12日)	共有	食器等の容器を包装するためのシート状部材
35	第1705799号 (2021-005075)	包装紙	2022年1月14日 (2021年3月12日)	共有	食器等の容器を包装するためのシート状部材
36	第1764148号 (2023-014249)	スピーカー	2024年2月14日 (2023年7月10日)	単独	バスレフ式スピーカー
37	第1766149号 (2023-018682)	ゴルフクラブ用ヘッド	2024年3月12日 (2023年9月12日)	共有	ゴルフクラブ用ヘッド

(5) 国内商標登録

番号	登録番号 (出願番号)	商 標	登録年月日	内 容
1	第5424369号	サスティーモ (標準文字)	2011年7月8日	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
2	第5466219号		2012年1月27日	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
3	第5663387号		2014年4月11日	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
4	第5663388号	チリン (標準文字)	2014年4月11日	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
5	第5689214号		2014年7月25日	都産技研のロゴマーク

番号	登録番号 (出願番号)	商 標	登録年月日	内 容
6	第 5689215 号	東京都立産業技術研究センター (標準文字)	2014年7月25日	都産技研の名称
7	第 5689216 号	TIRI (標準文字)	2014年7月25日	都産技研の英語略称
8	第 6295147 号		2020年9月23日	中小企業のIoT化支援事業に使用する商標 区分：第 9,41,42 類
9	第 6295148 号	TOKYO IoT	2020年9月23日	中小企業のIoT化支援事業に使用する商標 区分：第 9,41,42 類
10	第 6334205 号	SUSCARE	2020年12月24日	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第 16,35,41,42,44 類
11	第 6368517 号		2021年3月25日	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第 16,35,41,42,44 類
12	第 6368518 号		2021年3月25日	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第 16,35,41,42,44 類
13	第 6368519 号		2021年3月25日	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第 16,35,41,42,44 類
14	第 6436272 号		2021年8月31日	100周年記念事業に使用する商標 区分：第 41,42 類
15	第 6544766 号		2022年4月14日	都産技研が開発したシート状漆成形体に使用する 図形商標都産技研が開発したシート状漆成形 体に使用する図形商標 区分：第 17,40 類
16	第 6723363 号	Tokyo ものづくり Movement	2023年8月3日	ものづくりベンチャー育成事業に使用する商 区分：第 35,41,42 類
17	第 6723364 号		2023年8月3日	ものづくりベンチャー育成事業に使用する図形 商標 区分：第 35,41,42 類

(6) 外国商標登録

番号	登録番号 (出願番号)	商 標	登録年月日	内 容
1	171101900 【タイ王国出願】		2017年1月20日	都産技研のシンボルマーク 区分：第41類
2	171108525 【タイ王国出願】		2017年3月15日	都産技研のシンボルマーク 区分：第42類

2. 10. 3 出願案件 (2023年度出願中のもの。国内特許は除く。)

(1) 外国特許出願 (自国指定も含む)

番号	出願番号	名称 (和名)	出願年月日	権利者	内 容
1	11750758.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	2011年3月3日	単独	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
2	16755691.9 【欧州移行出願】 PCT/JP2016/055825	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2016年2月26日	単独	単純化した構成を有する周波数変換器
3	10-2018-207-732.0 【ドイツ出願】 2017-118594	積層造形装置及び積層造形システム	2018年5月17日	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム
4	17871681.7 【欧州移行出願】 PCT/JP2017/041244	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2017年11月16日	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
5	201880029094.1 【中国移行出願】 PCT/JP2018/024929	VOC 処理用触媒	2018年6月29日	単独	芳香族を含む VOC とそれを含まない VOC を 300℃ より低い温度領域で同時に処理することのできる触媒
6	201980089893.2 【中国移行出願】 PCT/JP2019/046674	殺菌装置および殺菌方法	2019年11月28日	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面の全体においてより均一に電子線を照射し、その表面の全体において電子線による殺菌効果を付与する殺菌装置
7	19913769.6 【欧州移行出願】 PCT/JP2019/046674	殺菌装置および殺菌方法	2019年11月26日	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面の全体においてより均一に電子線を照射し、その表面の全体において電子線による殺菌効果を付与する殺菌装置
8	202080057300.7 【中国移行出願】 PCT/JP2020/030617	VOC 処理用触媒の製造方法	2020年8月11日	共有	コバルト・セリウム系複合酸化物へ白金を直接担持させるとともに、ボールやハニカム等の担体への担持に際して触媒性能が向上する技術手段
9	202080075917.1 【中国移行出願】 PCT/JP2019/046674	VOC 処理用触媒、VOC 処理装置および VOC の処理方法	2020年10月29日	共有	耐酸性を有し、ハロゲン系 VOC の処理に長期間使用できる VOC 処理用触媒
10	202180057864.5 【中国移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021年6月1日	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術
11	18/040,688 【米国移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021年6月1日	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術
12	21852913.9 【欧州移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021年6月1日	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術

(2) PCT 出願

2023年度は出願なし。

(3) 実用新案登録出願

2023年度は出願なし。

(4) 意匠登録出願

番号	出願情報	名 称	出願年月日	権利者	内 容
1	意匠出願中 (登録済み)	スピーカー	2023年7月10日	単独	バスレフ式スピーカー
2	意匠出願中 (登録済み)	ゴルフクラブ用ヘッド	2023年9月12日	共有	ゴルフクラブ用ヘッド

(5) 商標登録出願

2023年度は出願なし。

2. 10. 4 消滅案件 ※2023年度に権利満了や出願中に権利化を断念および放棄したもの

(1) 国内特許出願・登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第 3993784 号 (2002-106827)	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具	2007年8月3日 (2002年4月9日)	共有	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
2	第 5107261 号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	2012年10月12日 (2007年12月7日)	共有	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術
3	第 5242289 号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収材及びその製造方法	2013年4月12日 (2008年8月12日)	単独	取り扱いが簡便で、VOCの吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来のVOC吸着材よりもVOCの吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法
4	第 5243222 号 (2008-322621)	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	2013年4月12日 (2008年12月18日)	共有	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分離システム
5	第 5281926 号 (2009-046676)	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法	2013年5月31日 (2009年2月27日)	単独	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法
6	第 5301140 号 (2007-286805)	ガラス状炭素材からなる微細成型材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型型	2013年6月28日 (2007年11月2日)	共有	凹凸部の寸法を数nm～数百μm程度とする微細な成形が行われた微細成型型の材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型型
7	第 5309354 号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	2013年7月12日 (2006年2月28日)	共有	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法
8	第 5350866 号 (2009-096262)	皮革または革製品	2013年8月30日 (2009年4月10日)	単独	皮革および革製品の表面に付着した主に環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品

2023年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
9	第 5367341 号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	2013年9月20日 (2008年11月5日)	単独	Al-Si(Al-Si-Mg)系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法
10	第 5388304 号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	2013年10月18日 (2010年3月29日)	共有	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報(掲示情報)についての視認性の改善に寄与する照明装置
11	第 5394132 号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	2013年10月25日 (2009年6月3日)	共有	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法
12	第 5404465 号 (2010-031649)	ポリアニリン半導体材料	2013年11月8日 (2010年2月16日)	単独	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料
13	第 5413939 号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	2013年11月22日 (2007年7月30日)	単独	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成精製装置
14	第 5425689 号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	2013年12月6日 (2010年3月31日)	共有	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘引効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等
15	第 5435911 号 (2008-218293)	徐放性製剤とその製造方法	2013年12月20日 (2008年8月27日)	単独	短時間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法
16	第 5441485 号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	2013年12月27日 (2009年4月24日)	単独	VOC の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および VOC 処理方法
17	第 5479826 号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化方法	2014年2月21日 (2009年9月4日)	共有	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極
18	第 5486790 号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	2014年2月28日 (2008年10月10日)	単独	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
19	第 5572459 号 (2010-152637)	4種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	2014年7月4日 (2010年7月5日)	共有	試料中の微量な4種類のハロゲン(ふっ素、塩素、臭素、よう素)および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法

(2) 外国特許出願・登録

2023年度は消滅なし。

(3) 実用新案出願・登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第 3183799 号 (2013-001526)	注射器の針部材取り外し器具ユニット	2013年5月8日 (2013年3月21日)	単独	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追求するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニット
2	第 3183939 号 (2013-001673)	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	2013年5月15日 (2013年3月27日)	単独	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばね

(4) 意匠登録出願・登録

番号	登録番号 (出願番号)	意匠に係る物品	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	(2020-028293)	無人航空機離着陸用パッド	(2020年12月25日)	単独	無人航空機が離着陸するためのパッド

(5) 商標登録出願・登録

番号	登録番号 (出願番号)	商 標	登録年月日	内 容
1	第5492668号		2012年5月11日	メリヤス（ニット）の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー（実験室）の「ラボ」から生まれたニットブランド

2. 10. 5 実施許諾

番号	項目	番 号	名 称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第4791746号	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
2	特許	韓国第10-1212393	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第4394050号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特許第5604094号	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第3779290号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体	1
6	特許	特許第5560066号	防護服	1
7	特許	特許第5302860号	家畜骨残渣の処理方法	1
8	特許	特許第5883287号	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
9	特許	特許第6081156号	ハイドロゲル	1
10	特許	特許第5579644号	赤色ガラス	1
11	特許	特許第6338397号	黒色の金・パラジウム合金メッキ用メッキ液およびメッキ方法	1
12	特許	特許第6045273号	リング撚糸機、リング撚糸製造方法、織物の製造方法および押圧スイッチ	1
13	特許	特許第6157173号	LED照明の分光分布設計方法	1
14	特許	特許第6945203号	多層グラフェン分散液並びに熱物性測定用黒化剤	1
15	特許	特許第6680470号	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
16	特許	特許第6858391号	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	1
17	特許	特許第5803003号	熱フィラメントCVD装置及び成膜方法	1
18	特許	特許第6407728号	メカニカルシールの製造方法	1
19	特許	特許第6140607号	成形用材料及びその製造方法	1
20	特許	特許第6140608号	成形用材料	1

2023年度 年報

番号	項目	番 号	名 称	実施許諾 企業数
21	特許	特許第 6797373 号	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	1
22	特許	特許第 6958837 号	身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム	1
23	特許	特許第 6923909 号	偏光特性の測定方法および偏光特性測定装置	1
24	特許	特許第 7142201 号	撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法	1
25	特許	特許第 5632597 号	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	1
26	特許	米国 8,729,371	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	1
27	特許	特許第 6262401 号	ロッカーボギー	2
28	特許	中国 ZL201680017191.X	ロッカーボギー	1
29	特許	米国 10,336,380	ロッカーボギー	1
30	特許	欧州 16768869.6	ロッカーボギー	1
31	特許	中国 ZL201680032166.9	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
32	特許	韓国 10-2017-7034538	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
33	特許	特許第 7119256 号	VOC処理用触媒	1
34	特許	特許第 6940042 号	積層造形装置及び積層造形システム	1
35	特許	特許第 7281726 号	金属空気電池または燃料電池のガス拡散電極に使用されるガス拡散層とそれを用いたガス拡散電極およびその製造方法	1
36	特許	特許第 7344505 号	VOC処理用触媒の製造方法	1
37	特許	特願 2019-199262	VOC処理用触媒、VOC処理装置	1
38	特許	特許第 6511242 号	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コア及びサンドイッチパネル	1
39	特許	特許第 5780640 号	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	1
40	特許	特許第 7387963 号	プリプレグ、プリプレグの製造方法、成形体、及び成形体の製造方法	1
41	特許	米国 11,008,218	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
42	特許	欧州 17806594.2	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
43	特許	中国 ZL201780020252.2	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
44	特許	特許第 7114056 号	繊維強化樹脂製ボルト及びナット、繊維強化樹脂製締結部材の製造方法	1
45	特許	特願 2020-105186	ファイバー状有機ナノ結晶及びその製造方法	1
46	特許	特願 2021-004210	バドミントンラケットの打音評価装置及び打音評価方法	1
47	特許	特許第 7161754 号	移動走行装置	1
48	特許	特願 2020-214545	ダクト清掃器具及びダクト清掃装置	1
49	特許	特許第 6994723 号	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池システム	1
50	特許	特願 2020-218481	木材片用接着剤	2
51	特許	特願 2021-121701	潤滑剤およびエアゾール潤滑剤組成物	1
52	特許	特願 2021-085089	シート状成形材料、成形体及びこれらの製造方法	2

番号	項目	番 号	名 称	実施許諾 企業数
53	特許	欧州 2752460	成形用材料と、これを用いた成形体	1
54	特許	特許第 6755044 号	車輪構造体及び車両	3
55	特許	特許第 7458074 号	保持具	1
56	特許	特願 2021-145023	ネックストラップとその保持具	1
57	特許	特願 2021-198836	複合粒子、ワニス、コーティング剤及び接着剤	1
58	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
59	特許	特許第 5414719 号	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
60	特許	特許第 5717491 号	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
61	特許	特許第 6357466 号	悪臭処理用担持触媒	1
62	実用新案	登録第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	1
63	意匠	登録第 1596642 号	乗用自動車	1
64	意匠	登録第 1670360 号	スタンド付き調味料用容器	1
65	意匠	登録第 1668447 号	飲食用スプーン	1
66	意匠	登録第 1668448 号	飲食用スプーン	1
67	意匠	登録第 1668449 号	飲食用スプーン	1
68	意匠	登録第 1668450 号	飲食用スプーン	1
69	意匠	登録第 1677763 号	飲食用皿	1
70	意匠	登録第 1684377 号	コップ	1
71	意匠	登録第 1686866 号	飲食用皿	1
72	意匠	登録第 1682202 号	身の回り品用留め具	1
73	意匠	登録第 1662803 号	ロボット	1
74	意匠	登録第 1662804 号	ロボット	1
75	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1
76	商標	登録第 6544766 号	URUSHEET(ロゴ)	2
77	特許	特許第 5268050 号	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成型体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	1
78	特許	特願 2022-157865	ストロー保持具	1
79	特許	特願 2020-092504	土木構造物の非破壊検査システム	1
80	特許	特願 2022-106705	模擬尿臭組成物および評価方法	2
81	特許	特願 2021-077333	容器保持具	1
82	特許	特許第 5697309 号	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	1
83	特許	特許第 5753568 号	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	1
84	特許	特許第 7017709 号	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラム	1

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
85	特許	特許第6944669号	食器用器具・容器包装	1
86	特許	特許第6308464号	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	1
87	特許	特許第6619556号	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	1
88	特許	特許第5711927号	固体酸化物型燃料電池	1
89	特許	韓国10-1502996	固体酸化物型燃料電池	1
90	特許	特許出願中	建築用水性塗装材及び建築塗装膜	1
91	意匠	意匠出願中	スピーカー	1
92	特許	特許第6928352号	水分率測定装置および水分率測定方法	1
93	特許	特願2023-089371	布ヒータ及び加熱部材	1
94	意匠	意匠出願中	ゴルフクラブ用ヘッド	1
95	特許	特許出願中	複屈折測定方法及び複屈折測定システム	1
96	特許	特許第7148100号	腐食試験装置の製造販売	1

2. 10. 6 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
玩具安全指令ガイドブック 15260.pdf (iri-tokyo.jp)	テュフズードジャパン(株)	テュフズードジャパン株式会社ウェブサイト、SNS
TIRI NEWS 2021年1月号の支援事例9頁「図2 CGと3D模型」	(株)日さく	「環境管理」誌 2023年8月号一般社団法人産業環境管理協会 特集：自然災害と企業の対応 https://www.e-jemai.jp/bulletin/
都産技研本部 外観写真 (2011年 本部工事監理委託業務での成果物として撮影)	(株)日建設計	株式会社日建設計 研究施設実績ポートフォリオ
2022年7月1日配信 TIRI NEWS「パワーエレクトロニクス回路のシミュレーション」	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDO 機構誌 “TSC Foresight” マテリアル研究開発プロセス革新分野の技術戦略
ホオグロヤモリ指先裏の電子顕微鏡写真	(公財)東京動物園協会 恩賜上野動物園	上野動物園両生爬虫類館「ビバリウム」の特設展「あし(仮)」の解説パネル
「NHK for School 溶岩の違いで」より1分13秒時点の画像	(株)新興出版社啓林館	2026年度以降用高等学校理科「地学基礎」科目の教科書
東京都電気研究所二十五年史 昭和24年10月(発行元 東京都電気研究所) 巻頭1.2ページ 初代所長 工学博士 鯨井恒太郎 肖像写真 東京都電気研究所 全景	NHK 放送博物館	・NHK財団編集「ステラnet」 https://sternet.jp/articles/-/1675 ・「月刊 ラジオ深夜便3月号」

2.11 機器整備

中小企業の要望を考慮し、需要の多い機器を更新した。2023年度に整備した主な機器整備は以下のとおりである。

2023年度機器整備実績

	機器名	事業所
1	活性材料用金属 AM	本部
2	超音波映像装置	
3	制振性能測定装置（恒温槽）	
4	キセノンランプ式促進耐候試験機	
5	分光測色計	
6	導波管ミリ波周波数拡張ユニット	
7	部分放電試験用恒温恒湿器	
8	樹脂 PBF の自動後処理システム	
9	中遠赤外光学測定装置	
10	エネルギー分散型蛍光エックス線分析装置	
11	分析機能付き超高分解能電解放出形走査電子顕微鏡	
12	高周波誘導結合プラズマ質量分析装置	
13	小型モビリティ用低周波放射イミュニティシステム	多摩テクノプラザ
14	恒温槽付き万能試験機	
15	走査型電子顕微鏡	
16	オゾン劣化試験機	
17	計測用 X 線 CT 装置	城南支所

3. 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援

『「未来の東京」戦略』でも述べられているとおり、東京は経済、テクノロジー、気候変動、人口構造という四つの点において歴史的な転換点に直面しており、これまでの常識や価値観が変容するなど、さまざまな分野においてパラダイムシフトが起こる可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症によって非対面・非接触など「新しい日常」の実践が求められている。こうした状況の中で、情報技術を活用した新産業の創出や社会的課題解決に向けて、最先端の技術を用いた製品や、これらに組み込まれる付加価値の高い部品の開発を支援していく。

3.1 新産業創出支援

3.1.1 中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業

都産技研が、これまで培ってきたIoT、ロボット技術に5Gを含めた次世代通信技術などを活用することで、成長分野における中小企業の新技術・新製品開発を支援した。これにより、中小企業のデジタルトランスフォーメーションを後押しし、付加価値の高い製品開発やサービス創出を支援した。DX推進センターにおいて、5G技術の普及啓発や中小企業や大学などとの共同研究を通じ、IoT、ロボット技術などの社会実装を促進した。

(1) 研究開発

1) 公募型共同研究

5Gを活用したロボットやIoT関連の製品を開発支援するため、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究」を実施した。

2023年度実施 公募型共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名 所在地	期間
ローカル 5G を活用した展示会向け遠隔操作ロボットアクセス管理システム開発	iPresence(株) 中央区	2022年3月～2024年2月
VR空間を活用した教育イベントシステムの開発	(株)VRデザイン研究所 千代田区	2022年3月～2024年2月
5G通信を活用したRaaS制御基盤の開発	リプト(株) 八王子市	2022年3月～2024年2月
ローカル 5G ウェアラブルカメラシステム開発	アストロデザイン(株) 大田区	2022年3月～2024年2月
介護施設向け見守りロボットサービスの開発	アンドロボティクス(株) 港区	2022年10月～2023年9月
5Gを使用した空間データ活用ロボットシステムの研究開発	Haloworld(株) 江東区	2022年10月～2023年9月
栈橋点検支援ロボットの研究開発	アップウィンドテクノロジー・ インコーポレイテッド 港区	2022年10月～2023年9月
各種ロボティクス環境提供のためのオフィスビルローカル 5G プラットフォーム	(株)イイガ 千代田区	2022年10月～2024年3月
5G対応の安心・安全機能搭載ロボティクスモビリティ開発	(株)ICOMA 大田区	2023年4月～2024年3月
ゼネコンの建設現場で5Gとロボットで安全監視実現	エイム・テクノロジーズ(株) 港区	2023年4月～2024年3月

テーマ名	事業者名 所在地	期間
次世代通信技術を使用した生産設備一括監視 AI システムの研究開発	(株)MAZIN 中央区	2023年4月～2024年3月
次世代通信システムを導入したドローンの開発	ルーチェサーチ(株) 品川区	2023年4月～2024年3月
ローカル 5G リモート環境及びミリ波 OAI の研究開発	(株)アイダックス 杉並区	2023年4月～2024年3月

2) 基盤研究、共同研究

5G・IoT・ロボット分野において、中小企業への支援強化につながる技術開発や技術の習得のための基盤となる研究に取り組んだ。また、企業や業界団体などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、5G・IoT・ロボット関連技術や製品の実用化に向けた研究開発に継続して取り組んだ。

2023年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
VR 空間における遅延の潜在学習および短期記憶に対する影響	2023年6月～2024年3月
5G 通信情報と機械学習を用いた位置測位手法の開発	2023年6月～2024年3月
ローカル 5G のデータ通信外への応用に関する研究	2023年6月～2024年3月
移動体センシングシステムを対象とした N 波長コグニティブ無線の高効率化	2023年6月～2024年3月
ヘルツの接触理論に基づく柔軟材料の弾性率の測定	2023年6月～2024年3月
任意物体カテゴリが回答可能な物体変化検出技術の開発	2023年6月～2024年3月
座面圧力による着座姿勢時骨盤姿勢推定手法の開発	2023年6月～2024年3月
局所の特徴と大域の特徴を考慮可能な TextConformer による皮肉表現の検出	2023年10月～2024年3月

2023年度実施 共同研究テーマ一覧

テーマ名	期間
6 輪ロボットベース技術を用いた屋外用小型ロボットの研究開発	2022年6月～2023年5月
建設現場向け自走式コンクリート散水ロボットの研究開発	2022年6月～2023年5月
職場ウェルビーイング向上のための RPA 活用をデザインする共創的ワークショップの開発	2022年6月～2023年5月
マグネシウム合金の腐食危険度を判定する画像認識 AI システムの開発	2022年10月～2023年9月
GNSS 融合と走行エリア検出を用いた広域・屋外自律走行ロボットの研究開発	2023年6月～2024年3月
自走式コンクリート散水ロボットの散水機能部と自動化に向けた研究開発	2023年6月～2024年3月
画像認識 AI システムによるマグネシウム合金材料の腐食劣化診断技術の開発	2023年10月～2024年3月

(2) 製品開発支援

2023年度は、ローカル5G 研究会会員に対して5G 関連設備を体験できる制度を活用し、延べ15社が利用した。

(3) 人材育成

中小企業へのサービスロボットの社会実装、ローカル5G 開発事例など、都や国の施策や、導入事例などのさまざまな情報を提供するため、セミナーを開催した。

開催セミナー一覧

セミナータイトル	開催日	参加者数
ロボット用ミドルウェア ROS2 を用いた自律走行ソフトウェア入門	2023年7月27日～28日	10名
データ分析入門	2023年9月27日 ～2024年1月19日	オンデマンド 29名
サービスロボット産業オンラインセミナー ～5G と法整備が拓く新たなロボットの可能性～	2023年10月5日	オンライン 166名
ローカル 5G セミナー ～最新技術動向と中小企業の 5G 利活用～	2023年11月7日	ハイブリッド 120名
DX リテラシー	2023年11月30日 ～2024年3月17日	オンデマンド 37名

(4) 成果普及

都産技研の5G・IoT・ロボット分野における開発支援を広く周知し、共同開発企業の成果展開を支援するために CEATEC 2023 や、Edge Tech+ 2023 など7件の展示会に参加し、動画やパネルで共同研究成果や事業の紹介を行った。

3.1.2 航空機産業への参入支援事業

東京都が推し進める航空機産業参入支援事業と連携し、TMAN (Tokyo Metropolitan Aviation Network) に参画している中小企業に対する技術支援を目的に、2017年4月から「航空機産業への参入支援事業」を開始した (事業推進根拠：東京都長期ビジョン)。

本事業では、テーマ設定型共同研究、国際規格認証技術支援、航空宇宙産業人材育成により、東京都および TMAN 事務局と連携し、中小企業の航空機産業への参入を支援する。

(1) 研究開発

1) テーマ設定型共同研究

東京都が支援する TMAN への参加企業から、航空機部品製造、開発、評価に関する研究課題を募集し、生産技術、製品性能の向上や、製造工程のコストダウンなど、航空機産業参入支援と航空機部品製造・開発における課題解決を目的に8件の研究開発に取り組んだ。

2023年度実施 テーマ設定型共同研究一覧

テーマ名	期間
プレス加工による航空機部品製造法の確立	2023年7月～2024年3月
誘導加熱を用いたへら絞り加工における難成形材料の成形技術の確立	2023年7月～2024年3月
アルミニウム合金導波管の曲げ加工における高精度成形の達成	2023年7月～2024年3月
航空機向け内装品における燃焼試験の試験データ蓄積と分析	2023年7月～2024年3月
シミュレーション技術を活用した型鍛造技術の高度化	2023年7月～2024年3月
金属 AM 技術を活用したプレス成形	2023年9月～2024年3月
航空機用アルミニウム合金のピーンフォーミング加工における変形量の可視化	2023年9月～2024年3月
特殊ステンレスパイプを対象としたバルジ成形による T 型管試作	2023年12月～2024年3月

(2) 製品開発支援

- 1) ASTM（米国試験材料協会）規格に基づいた2種類の硬さ試験について、2018年度から「JIS Q 9100:2016」に基づく品質マネジメントシステムの運用を行い、2019年8月2日付で公設試として初めて認証を取得、登録証を受領した。2021年10月より、英文での試験報告書発行を開始した。2023年度の支援実績は43件であった。
- 2) FAR（米国連邦航空規則）規格に基づいた燃焼試験について、2022年度に「JIS Q 9100:2016」認証の拡大審査を行い、2023年3月3日付で公設試として初めて認証を取得、登録証を受領した。2023年度の支援実績は501件であった。

(3) 人材育成

航空機産業へ参入を目指す TMAN 企業を対象に米国の航空機部品メーカーからの RFQ (Request For Quotation: 見積依頼) を想定し、「戦略的販路開拓ワークショップ」を開催した。ワークショップは計6回開催し、延べ52名が参加した。

3.1.3 ものづくりベンチャー育成事業

都内製造業の出荷額・付加価値額などは減少傾向にあり、ものづくり産業は厳しい状況に直面している。今後都内ものづくり産業がより一層発展していくためには、新たな担い手となる優れたものづくりベンチャーを数多く育成する必要がある。

東京都や支援機関と連携し、試作から製品化に向けたアイデアを持つものづくりベンチャーの発掘、アイデアの機能試作支援、事業化を見据えた量産試作を支援する。

(1) 製品開発支援

1) 2022年度採択者への事業化支援

2022年度に採択された8者に対し、技術支援、事業化支援を行い、個人としてのコンテスト採択者4者のうち2者の法人化につなげた。

2) 試作から製品化に向けたアイデアを持つものづくりベンチャーの発掘

10月31日から公募を開始し、個人を含む50件の応募から、書類審査・面接審査にて24者を選定した。

3) アイデアの試作支援

選定された24者および2022年度採択者8者に対して、試作支援拠点「デジタルものづくりサイト」を活用した3Dプリンターによる試作支援を実施した。

4) 事業化を見据えた機能試作から量産試作支援

機能試作支援による試作品について、製品アイデアの特徴などを審査員にプレゼンするピッチコンテストを実施し、8者を採択した。採択者へは、事業化を見据えた支援を行う。

3.2 社会的課題解決支援

QOLの向上などの社会的課題の解決に資する分野（ヘルスケア分野、食品分野など）における技術開発や製品化・事業化を促進するための支援を行った。

3.2.1 バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業

少子高齢化や健康志向の高まりの中、都民が生き生きと働き、生活する社会を実現するために、今後、健康・医療産業の発展が期待されている。

医療品、とりわけ化粧品や食品分野は、健康増進のための機能性商品などの市場が伸びているほか、規制面からも中小企業にとって参入しやすい。また、将来、再生医療の発展とともに周辺産業の成長が見込まれ、医療ベンチャーや中小企業の参入が期待される。

健康・医療分野における技術革新には、バイオ基盤技術による高度化が不可欠である。本事業ではバイオ基盤技術を活用し、動物実験の代替法などの新たな評価を用いた高付加価値な製品などの開発を支援する。

(1) 研究開発

動物実験代替法などの開発と普及のために基盤研究を実施し、代替モデルの開発に取り組んだ。

2023年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
細胞老化の抑制と表皮幹細胞の維持を同時に達成できる培養基板の開発	2023年6月～2024年3月
マトリックス化合物を使用しないイメージング質量顕微鏡用デバイスの作製条件最適化	2023年6月～2024年3月
細胞観察が可能なコラーゲン収縮モデルの開発	2023年6月～2024年3月

(2) 製品開発支援

1) ヘルスケア産業支援室 (SUSCARE[®])

中小企業のヘルスケア産業支援事業を促進するための総合支援拠点として、2020年4月1日、本部内にヘルスケア産業支援室 (SUSCARE[®]) を開設した。SUSCARE[®] では、「我が国初のヘルスケア製品開発のトータルサポート」として、相談→材料の特性分析→試作品作成→性能評価→製品化の各ステップを支援することができる。

2) ヘルスケア産業支援室（SUSCARE[®]）会員

ヘルスケア産業支援室が提供する各種技術支援サービスを利用するため、会員登録制度を設けている。2023年度の新規登録会員数は320名、累計登録者数は1,279名であった。

3) 技術支援

2023年度は、依頼試験617件、機器利用11,453件、オーダーメイド型技術支援32件、技術相談1,614件であった。

(3) 人材育成

中小企業において、ヘルスケア産業関連製品の差別化を行うための科学的評価技術を有する人材を育成するために、セミナーならびに講習会を開催した。セミナーの動画および講演資料をSUSCARE[®] ウェブサイト (<https://suscare.iri-tokyo.jp/>) にて公開した。

開催セミナー一覧

セミナータイトル	開催日	参加者数
IFSCC（国際化粧品技術者会連盟）世界大会への“いざない” ～グローバルコスメティックトレンドはここから生まれる～	2023年12月6日～12日	オンデマンド 65名
化粧品用粉体の表面設計 ～メイク製品だけではない粉の魅力～	2023年12月6日～12日	オンデマンド 122名

講習会一覧

セミナータイトル	開催日	参加者数
ヘアケア化粧品開発におけるゼータ電位測定を活用	2024年2月9日	4名
顕微鏡観察による毛髪評価	2024年2月16日	6名
はじめてのレオロジー ～基礎知識の習得と実技講座～	2024年2月27日	4名

(4) 広報活動

事業PRによる認知度向上のために第11回化粧品産業技術展、第14回化粧品開発展に出展した。また、SUSCARE[®] ウェブサイトにおいて、サービス、試験事例、保有設備の紹介を行っている。2023年度の見学者数は合計317名であった。

3.2.2 フードテックによる製品開発支援事業

近年、世界的な人口増加による食糧危機の解決や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による食品保存技術の高度化など、食品を取り巻く技術ニーズは多様化しており、中小企業においてもこれまで以上にビジネスチャンスが高まっている。

なかでも、動物の飼育を前提としない代替肉の開発や海外情勢の影響を大きく受ける小麦の代替の開発、用途に応じた冷凍・保存技術の高度化などは、大きく成長が見込まれる開発分野であるものの、こうした製品開発を行うためには、高価で高度な分析機器などが必要であり、中小企業単独で進めることは難しい。

このため、都産技研の依頼試験や機器利用の実施ノウハウを活用しながら、食品技術センターでのサービスの充実を図っていき、こうした分野における中小企業の製品開発を促進する。

(1) 研究開発

1) 公募型共同研究

輸入小麦高騰に対応する製品を開発支援するため、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究」を2テーマ実施した。

2023年度実施 公募型共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名 所在地	期間
大麦等配合のヘルシー麺・糖質カット麺の開発	玉川食品(株) 北区	2023年8月～2024年7月
テンペ菌発酵を応用した小麦代替製品の研究・開発	(株)テンペストフーズ 練馬区	2023年8月～2024年7月

2) 基盤研究

2023年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
機能性成分吸収率の日内変動測定に向けた細胞発光評価システムの開発	2023年6月～2024年3月
細胞特性を利用した細胞分離技術の開発	2023年6月～2024年3月
表面加工処理を特徴とする食用足場の開発	2023年6月～2024年3月
穀類粉生地物性の評価手法に関する研究	2023年6月～2024年3月
嚥下困難者用増粘剤に適した架橋ゼラチンの作製方法の検討	2023年10月～2024年9月

(2) 製品開発支援

2022年度に整備した機器による技術支援を2023年10月から開始した。依頼試験9項目、機器利用2項目、オーダーメイド型技術支援12項目を新設した。2023年度は、依頼試験22件、機器利用32件、オーダーメイド型技術支援14件であった。

(3) 人材育成

食品業界関連企業の製品開発に関わる人材のレベルアップや食品技術センターの利用拡大促進のため、セミナーを開催した。

開催セミナー一覧

セミナータイトル	開催日	参加者数*
香りと味の相互作用	2024年1月25日	ライブ配信+オンデマンド 320名
顕微鏡で覗く食品のおいしさ	2024年2月6日	ライブ配信+オンデマンド 104名
食品業界のグローバルトレンドと日本市場の動き	2024年2月14日	ライブ配信+オンデマンド 72名

※参加者数はセミナーページへのアクセス数であり、参考値

(4) 広報活動

広く中小企業に利用していただくため、「食品開発展2023」において、来場者に事業のPRを行った。また、フードテック事業の周知を図るため、専用ウェブサイトにおいて、整備した機器の紹介、展示会案内やセミナー情報を発信した。

3.2.3 活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業

東京2020大会のレガシーとして、スポーツを通じた障害者の社会参加と共生社会の実現があり、また、今後の超高齢化社会に向けた対策が必要である。

これまで「障害者スポーツ研究開発推進事業」では、2017年度より障害者アスリート向けスポーツ用具の研究開発を実施し、その成果を2020年度より一般障害者用スポーツ用具の研究開発に展開してきた。

これらの成果を障害者スポーツ用具開発だけでなく、障害者等の日常の活発な活動を支える新製品・新技術等の開発に展開し、推進する。

(1) 研究開発

1) 公募型共同研究

日常の活発な活動を支える障害者等向けの新製品・新技術の研究を2テーマ実施した。

2023年度実施 公募型共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名 所在地	期間
簡易なキャンパー角度変更機構を持つ、日常用と競技用の機能を併せ持つ子ども用車いすの開発	(株)マクルウ 静岡県富士宮市	2023年11月～2024年10月
Mg製車いすと3D活用フィッティングの開発	(株)オーエックス エンジニアリング 千葉県千葉市	2023年11月～2025年10月

(2) 広報活動・成果普及

活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業の内容や、前身事業の研究開発成果を広く周知するため、「第50回国際福祉機器展 H.C.R.2023」や「中小企業の魅力体験イベント in 東京たま未来メッセ」などに出展し、成果品の展示や活動報告を実施した。

3.2.4 サーキュラーエコノミーへの転換支援事業

脱炭素・エネルギー関連、フードロス対策、脱プラスチックを含む総合的な視点から、より高度な循環型社会の実現に向けて技術動向リサーチを行い、サーキュラーエコノミーへの転換に向けたリーフレットを作成し、中小企業への普及啓発、および研究開発等による中小企業への支援を実施していく。

(1) 動向調査

サーキュラーエコノミーの実現のための国内外動向および技術開発状況の調査を実施した。加えて、有識者による検討委員会を開催した。

1) 中小企業の参入をポイントとした事例調査や関連団体・企業へのヒアリングを実施した。

2) 中小企業の循環経済への事業参入を啓発するためのリーフレットを作成した。

- ・サーキュラーエコノミーへの転換に向けた技術開発・事業創出検討ガイド
- ・サーキュラーエコノミーへの転換に向けたナビゲーションマップ

(2) 成果普及

サーキュラーエコノミーへの転換支援事業や動向調査等の成果を広く普及するため、「サーキュラーエコノミーへの転換に向けたオンラインセミナー」を実施した。セミナーの収録動画はウェブページでも公開した。

開催セミナー一覧

セミナータイトル	開催日	参加者数
サーキュラーエコノミーへの転換に向けたオンラインセミナー	2024年2月1日	オンライン 55名

(3) 広報活動

本事業の取り組みを広く普及するために、ウェブページの構築・整備や TIRI NEWS への特集記事掲載により、情報発信を開始した。

4. 中小企業等の新事業展開支援

4.1 多様な連携によるオープンイノベーション等の促進

4.1.1 「東京イノベーション発信交流会2024」の開催

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品開発や販路開拓、企業間交流を促進することを目的に、展示交流会「東京イノベーション発信交流会2024」を開催した。

都産技研の利用企業および都産技研と業務連携協定を締結している支援機関、行政機関、金融機関などから推薦された企業が出展した。

2023年度は第38回異業種交流グループ合同交流会と同時開催した。

(1) 開催概要

日 時：2024年2月16日（金）

開催場所：都産技研本部 東京イノベーションハブ

協力機関：出展企業を推薦した連携協定締結機関（行政機関10、金融機関4）

出展企業：27社 参加者：248名

(2) 内容

1) 基調講演

「みんな参加型の循環型社会」

「産総研 FREA における水素関連の取り組み」

2) 出展企業によるプレゼンテーション

出展企業16社が提供可能なシーズ、事業展開計画などを発表

3) ブース展示

出展企業27社、異業種交流グループ8グループ、公益財団法人東京都中小企業振興公社など連携機関、都産技研に関する展示

4) 東京都知的財産総合センターによる講演

「知的財産活用製品化支援および助成金のご案内」

4.1.2 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。2023年度は、異業種交流活動の活性化と新グループの形成支援を目的とした取り組みを実施した。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を1984年度から毎年発足させ、課題解決型と製品開発型をあわせて27グループ325社の会員が活動している。

2023年度は、課題解決型グループの形成支援を行い、参加企業26社のグループが新規に発足した。交流会を10回開催し、会員企業の自社紹介や、都産技研職員によるチームビル

ディング研修、既存異業種交流グループ会員企業や公益財団法人東京都中小企業振興公社を講師とする講演会、都産技研見学会を行った。また、課題解決型の既存グループは、交流会を累計で127回開催し、参加者は903名であった。

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

既存グループが、活動状況や計画を紹介することで、グループ間相互の交流を促進した。2023年度は4回開催した。

2) 東京都異業種交流グループ合同交流会

異業種交流グループ間交流やオープンイノベーションの促進を目的として、「東京イノベーション発信交流会2024」と同時開催し、会員61名が参加した。

4.1.3 医療機器産業参入支援

2017年度から東京都の委託を受けて、ものづくり中小企業の医療機器開発・事業化を技術面から支援する、「医工連携コーディネータ事業」を推進している。本事業では、都産技研、東京都医工連携 HUB 機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の3機関が協力し、各機関の特徴を活かした支援体制を整えている。都産技研では、臨床・研究機関、製販企業などの関連機関からのシーズやニーズを、ものづくり中小企業に展開していくことで、ビジネスマッチングを支援している。2023年度の主な事業は、以下のとおりである。

- ・ 都産技研医工連携コーディネータによるマッチング活動 12件
- ・ 医療分野参入促進に向け、医療技術の最新動向や医工連携による開発事例をテーマに取り上げたセミナーを2回開催。参加者計156名
- ・ 医工連携コーディネータによる製品化支援活動 12件

医療機器の認証・規格適合などについて、医工連携コーディネータによる技術相談を実施した。



(医工連携事業スキーム)

4.1.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、都産技研の各事業に反映させるために業種別交流会を開催している。2023年度は3団体と開催し、業界から延べ37名、都産技研職員延べ15名が参加し、中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

4.1.5 技術研究会

技術研究会は技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の経営者、技術者で構成される研究会であり、全体で23団体が活動している。2023年度は、計81回開催し、研究会のメンバーと都産技研の職員による技術情報の提供や意見交換を行った。参加者は延べ1,246名であった。

4.1.6 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体などから依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定などの技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行っている。

2023年度は28団体からの依頼により87事業の審査に携わり、延べ4,654件の技術審査を行った。

実施主体	延べ件数
東京都	1,110
(公財)東京都中小企業振興公社	2,013
区市	788
団体	743
合計	4,654

4.1.7 首都圏公設試験研究機関との連携

2002年度、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）を設立した。2008年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では2011年度より長野県、2013年度より栃木県、群馬県、山梨県、さらに2014年度には茨城県、静岡県、2015年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携5機関	(地独)東京都立産業技術研究センター	埼玉県産業技術総合センター
	千葉県産業支援技術研究所	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
	横浜市工業技術支援センター	
オブザーバー機関 (10機関)	関東経済産業局	東京都産業労働局商工部
	(国研)産業技術総合研究所	茨城県産業技術イノベーションセンター
	栃木県産業技術センター	群馬県立産業技術センター
	新潟県工業技術総合研究所	山梨県産業技術センター
	長野県工業技術総合センター	静岡県工業技術研究所

TKFでは、「デザイン」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動や研究員の相互派遣活動（TKFミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

(1) 首都圏公設試連携推進会議、TKFオープンフォーラム

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。2018年度からは広域首都圏輸出製品技術支援センター事務局会議および運営委員会も兼ねた会議を開催している。また、年に一度TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。2015年度からはTKFフォーラムを一般公開し（TKFオープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催日	開催場所	参加機関	出席者数
1	2023年11月22日*	東京ビッグサイト	連携5機関、オブザーバー機関、一般参加者	56名
2	2023年11月29日	神奈川県立産業技術総合研究所	連携5機関、オブザーバー機関	41名

※TKFオープンフォーラムとして開催

(2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。また、TKF参加機関相互の職員研修事業（TKFミニインターンシップ）を活用し、試験品質向上の取り組みとして、都産技研から他機関への出向研修（3機関、13名）と他機関からの受け入れ研修（7機関、30名）を実施した。

4.1.8 協定・覚書締結一覧

大学や研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。2024年3月31日現在の各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	2006年4月1日
		覚書	2007年1月4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	2006年8月10日
		秘密保持契約書	2006年9月1日
3	産業技術大学院大学	協定書	2007年2月26日
4	東京都立大学	業務協定書	2007年3月15日
5	東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	2008年4月1日
6	長岡技術科学大学	協定書	2008年8月26日
		覚書	2009年8月6日
7	新宿区	協定書	2008年9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	2008年10月14日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
9	芝浦工業大学	協定書	2009年3月12日
		教育研究協力に関する協定	2009年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	2009年6月3日
11	港区	協定書	2009年7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの活用に関する覚書	2009年7月16日
13	府中市	覚書	2010年5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	2010年11月24日
15	北区	覚書	2011年2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	2011年4月14日
17	品川区	協定書	2011年6月1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	2011年9月12日
19	江東区	協定書	2011年9月14日
20	朝日信用金庫	協定書	2012年1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	2012年3月8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	2012年4月9日
23	江東信用組合	協定書	2012年6月6日
24	東京電機大学	協定書	2012年7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	2012年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	2012年12月7日
27	日野市	覚書	2013年2月26日
28	昭島市	協定書	2013年3月12日
29	城南信用金庫	覚書	2013年3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	2013年3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	2013年4月1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	2013年9月5日
33	東京都商工会連合会	協定書	2013年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	2013年10月28日
35	東京理科大学	協定書	2013年11月5日
36	葛飾区	協定書	2013年11月26日
37	東京工業高等専門学校	協定書	2014年3月26日
38	法政大学	協定書	2014年4月11日
39	東京東信用金庫	協定書	2014年6月3日
40	芝信用金庫	協定書	2014年6月11日
41	東京商工会議所	協定書	2014年7月14日
42	青梅市	協定書	2014年8月26日

2023年度 年報

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
43	青梅商工会議所	協定書	2014年8月26日
44	千葉工業大学	協定書	2014年9月30日
45	墨田区	協定書	2014年11月13日
46	タイ工業省	協定書	2014年11月25日
47	電気通信大学	協定書	2014年12月9日
48	荒川区	協定書	2015年3月3日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	2015年4月24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	2015年10月19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	2015年11月5日
52	泰日工業大学	協定書	2016年2月4日
53	亀有信用金庫	協定書	2016年2月17日
54	信州大学	協定書	2016年3月10日
		覚書	2016年5月31日
55	(株)東京きらぼしフィナンシャルグループ	協定書	2016年5月27日
56	江戸川区	協定書	2017年3月29日
57	東京海洋大学	協定書	2017年3月30日
58	東京農工大学	協定書	2017年9月13日
59	兵庫県立大学	協定書	2018年5月1日
60	足立区	協定書	2018年8月6日
61	八王子市	協定書	2019年3月27日
62	(株)商工組合中央金庫	協定書	2019年9月30日
63	東邦大学	協定書	2019年10月7日
64	大田区	協定書	2020年11月16日
		覚書	
65	町田市	協定書	2021年3月4日
66	文京区	協定書	2021年7月1日

個別部署での連携締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	2013年10月1日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	2013年10月30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	2013年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	2014年1月17日	墨田支所

4.2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援

4.2.1 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、2006年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に3室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、2010年2月多摩テクノプラザ開設時に5室設置、2011年10月本部開設時には新たに18室設置、2012年10月からは19室に増室し、合計24室を提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24時間利用できる、③ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特長がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した共用の試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した共用の化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実と努めている。入居者はウェブサイトやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。2024年3月31日現在、本部ラボ（19室）は19室が入居中、多摩ラボ（5室）は3室が入居中、2室がメンテナンス中である。

本部

室番号	企業名	利用の概要
301	(株)CYBO	独自技術である高速 AI 顕微鏡および AI ソルセーターの試作開発
302	(株)VR デザイン研究所	大型 VR 機器の実証実験とその開発及び AI 利用した VR/AR 学習システムの開発
303	クスノキ石灰(株)	CO ₂ を吸収して固まる新たなセラミックス材料を利用した製品開発
304	Haloworld(株)	ロボットおよび電子機器・装置開発とアプリケーションソフトウェア開発
305	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化
306	ウィングロボティクス(株)	5G と AI を活用し、リアルタイム性の担保されたロボット遠隔制御システムを開発
307	エンネット(株)	車載用リチウム電池の再利用診断技術の開発と製品化
308	(株)プラゴ	EV 充電ステーションの設置 / 運用から、EV 充電ビジネス支援のためのクラウドソリューションを開発
309	(株)環境経営総合研究所	「脱プラスチック」への素材開発・各種試験による論理的実証の強化
310	クラリアントジャパン(株)	新たな化粧品原料の開発と評価
311	(株)アクセルスペース	超小型人工衛星の量産化に関する高品質・製造技術手法の開発
312	将来宇宙輸送システム(株)	再使用型の単段式宇宙輸送機 (SSTO : Single Stage To Orbit) の開発
313	(株)アルファ・プロダクト	超音波等を利用した非破壊検査技術開発や検査装置製造・検査サービス
314	デザミス(株)	農業・畜産分野における IoT 機器の開発
315	(株)名取製作所	2020 年パラリンピックのレガシーを生かしたスポーツ用義足の開発
316	フューチャーセルジャパン(株)	化粧品原料および医療機関・美容クリニック用製品の開発
317	(株)アパタイト	歯科用無機化学系材料の性能試験
318	ハドラスホールディングス(株)	ガラスコーティング剤の製品開発と利用範囲拡大
319	ビーエルテック(株)	24 時間稼働の水質分析装置の開発と製品化

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要
ラボ1	(株)システム計装	IoTを活用した空調設備省エネコントローラーシステムの開発
ラボ2	(株)分光計測	従来の赤外分光を刷新するテラヘルツパルス分光技術を基盤に分子分光分野の装置開発
ラボ3	(メンテナンス中)	
ラボ4	(メンテナンス中)	
ラボ5	ineova(株)	防災用・非常用のアルミホイル電池の開発および大型非常用電池開発

4.2.2 スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組み

東京都および公益財団法人東京都中小企業振興公社のスタートアップ支援機関との連携によりスタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組みを行った。

- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社スタートアップ知的財産支援事業ハンズオン支援事業の技術審査受託
- ・都産技研入居スタートアップ企業向け東京都知的財産総合センター連携知財セミナー・相談会（12月13日）
- ・青山スタートアップアクセラレーションセンターとの連携会議（1月16日）
支援対象企業の都産技研技術支援事業利用促進、製品開発支援ラボ事業の周知
- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社白鬚西 R&D センターとの連携会議（1月19日）
R&D センター企業の都産技研技術支援事業利用促進、製品開発支援ラボ事業の周知、ラボ運営方法に関する情報交換
- ・TOKYO 創業ステーションとの連携会議（2月8日）
都産技研との今後の連携、支援対象企業の都産技研技術支援事業利用促進、製品開発支援ラボ事業の周知

4.3 海外展開の促進

4.3.1 海外展開技術支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP（エムテップ）」という。）は、1都10県1市の運営機関が連携して中小企業のための海外展開支援サービスを提供している。

(地独)東京都立産業技術研究センター	茨城県産業技術イノベーションセンター
栃木県産業技術センター	群馬県立産業技術センター
埼玉県産業技術総合センター	千葉県産業支援技術研究所
(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	新潟県工業技術総合研究所
山梨県産業技術センター	長野県工業技術総合センター
静岡県工業技術研究所	横浜市工業技術支援センター

中小企業の海外規格対応への支援について円滑かつ適切な運営を進めるために、2023年11月29日に MTEP 連携会議を開催し、41名が参加した。

(1) 専門相談員の配置

海外規格や法規制に関する専門相談員を置き、相談に対応した。

(2) 海外展開に対応するための技術支援

1) 技術相談

2023年度の相談実績は820件である。内訳は、オンライン196件、来所106件、その他518件（電話、メールなど）である。

2) 実地技術支援

2023年度の実地技術支援実績は2件である。

(3) 海外展開に必要な技術セミナーの開催

1) 都産技研主催 MTEP セミナー

a) オンデマンド配信セミナー

- ・入門者のための CE マーキング（7月～2月全4回配信、80名）
- ・入門者のための機械指令とリスクアセスメント（7月～3月全4回配信、53名）
- ・実務者のための IEC60204-1 機械の電気要件と安全試験（7月～3月全4回配信、59名）

b) リアル開催

- ・実務者のための SDS 作成方法（9月7日、19名）
- ・医療機器を海外（欧州）に輸出するために何をするべきか（9月25日、16名）
- ・REACH 規則の概要と最新動向（11月17日、46名）
- ・製品輸出のための EMC 規制入門（12月8日、17名）

(4) 技術情報の提供

海外の法規制は分野が広く、情報更新も随時行われているため、情報提供の効率化のために2021年度から、解説テキストやチラシなどをウェブ公開とした。

1) MTEP ウェブサイトでの情報公開

2) TIRI NEWS で、最新の海外法規制に関する情報および解説を掲載

3) 海外法規制に関する解説テキスト19編を掲載（3月公開）

- ・「国別規格シリーズ中国編」を更新
- ・「国別規格シリーズ EU 編 REACH 規則」を新規に掲載

4) 海外規格書の閲覧サービスの提供

閲覧できる海外規格：IEC、ISO、AMS、ASTM、BS EN、MIL など

5) 支援事例のウェブサイト公開

支援事例について MTEP ウェブサイト上で公開することで、支援した製品の紹介を行うとともに、MTEP の具体的な支援内容を PR した。2023年度は2件の支援事例を公開した。

(5) 対象範囲の拡充

自動車部品の品質管理において重要となっている現状を踏まえ、自動車産業品質マネジメントシステムの国際規格である IATF 16949の支援を拡充。セミナーおよび個別相談会を開催した。

- ・開催日時 2月6日(リアル)、2月8日～2月29日(オンデマンド配信)
- ・会場 東京国際フォーラムおよびオンデマンド配信
- ・開催テーマ 「自動車部品の輸出を支援!自動車産業品質マネジメントシステム IATF16949セミナー」
- ・講演「記者が読み解くサプライヤー動向」ほか3件
- ・セミナー参加者：リアル27名、オンデマンド配信96名 計123名 個別相談会：1回

4.3.2 海外支援拠点(バンコク支所)

2015年4月に設立した都産技研初の海外拠点であるバンコク支所では、ASEANに展開する日系中小企業へ技術相談、産業人材育成、産業交流を実施している。産業人材育成では都産技研本部と現地日系企業現場をウェブ会議システムで結ぶことで技術的課題の解決を図った。

(1) 技術相談・実地技術支援

タイにおける多様な課題に対応した技術相談、バンコク都外にある工業団地内の日系中小企業の現場に赴き実施する実地技術支援を計416件実施した。そのうち、37件は東京都中小企業振興公社タイ事務所と連携して行った。

(2) 産業交流、機関連携

タイの日系企業支援機関と連携し、各種イベントを開催した。

- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所との共同主催事業「Tokyo SME ビジネスウィーク in Thailand」(7月26日)の開催
- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所主催の「日タイ企業交流会2023」(11月27日)の後援
- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所、埼玉県タイサポートデスクとの3機関共催事業「脱炭素の最新トレンドとこれからのタイ政治」(3月22日)の開催

(3) 人材育成

都産技研職員が講師を務めるオンラインセミナーを4件開催し、延べ93名が受講した。2023年度は、新たに日タイ逐次通訳セミナーを2件開催し、延べ40名が受講した。

(4) 広報活動

アジア最大級の機械展示会である METALEXに出展した。そのなかで、東京都東信用金庫と連携した中小企業の国際化支援の一環として、企業の都産技研ブースでの出展を支援した。

(5) タイの産業動向を都内中小企業へ情報提供

「タイ王国の環境規制に関するレポート」、「ASEAN 経済の現状と課題に関するレポート」をウェブ公開した。また、「タイにおける脱炭素/CO₂削減の動向」の調査を行い、報告書を作成した。

5. 地域や支所の特色を活かした支援

5.1 多摩テクノプラザ

多摩テクノプラザでは、車載電子機器などの評価による開発支援を行う EMC サイト、繊維強化複合材料などの開発支援を行う複合素材開発サイトの2つのサイトを活用して、多摩地域に集まる電気・輸送用・情報通信機械などの加工組立型産業や織物業などの繊維産業に係る中小企業を支援している。

技術支援実績	依頼試験	25,072 件
	機器利用	17,249 件
地域連携による支援・協力	(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社	・新技術創出交流会に出展 ・「ゼロエミッション推進に向けた事業転換支援事業」の技術審査に協力
	昭島市	昭島市産業まつりに出展
	東京都商工会連合会	「ものづくり応援団」への事業紹介と見学会開催
	東京都商工会連合会、日野市商工会、青梅商工会議所、町田商工会議所	意見交換および都産技研事業紹介を実施
	西武信用金庫	西武信金ビジネスフェアに出展
	八王子市	先端技術セミナーを共催
	たま工業交流展実行委員会	たま工業交流展に出展

5.2 城東支所

金属・機械部品・日用品製造業が多く集まり、伝統産業も盛んな城東・城北地域のものづくりを支援している。城東地域中小企業振興センターの全面改修工事のため支援業務を4月から停止し、移転作業を9月末まで実施した。2023年度は、本部に活動拠点を移しプロダクトデザイン分野の支援を継続している。

技術支援実績	依頼試験	370 件
	機器利用	1,307 件
地域連携による支援・協力	葛飾区	第 39 回葛飾区産業フェアを協働開催
	(公財)東京都中小企業振興公社城東支社	「東京手仕事」プロジェクト参加企業の製品化を支援

5.3 墨田支所

生活関連製品や産業用資材などを中心に、「人間にとっての使いやすさ」、「快適性・安全・健康」に配慮した製品開発、高付加価値なものづくりを支援している。

技術支援実績	依頼試験	3,091 件
	機器利用	7,221 件
地域連携による支援・協力	東京都立皮革技術研究センター	東京都立皮革技術研究センター推進協議会委員
	(公財)東京都中小企業振興公社城東支社	「城東地域中小企業支援担当者連絡会議」において城東地域7区向けに施設見学会を開催
	(公財)台東区産業振興事業団	・助成事業審査委員 ・ビジネス交流フェスタ 2023 に相談ブースを設置し、都産技研の事業を紹介

5.4 城南支所

精巧な機械金属加工業の集積地である城南地域の産業特性に即して、3D-CAD データと連携した精密な寸法・形状計測や難加工材の試作加工により高品質高付加価値製品の開発を支援している。

技術支援実績	依頼試験	8,828 件
	機器利用	7,287 件
地域連携による支援・協力	(公財)東京都中小企業振興公社	「事業化チャレンジ道場」事業において造形装置による試作品作製に協力、5社の製品開発を支援
	大田区 (公財)大田区産業振興協会 (一社)大田工業連合会	・大田加工技術展示商談会に出展 ・おおた研究・開発フェアに出展

5.5 食品技術センター

2021年度より、東京都立食品技術センターを統合し、食品産業に関わる研究開発や支援業務を実施している。

技術支援実績	依頼試験	861 件
	機器利用	4,353 件
地域連携による支援・協力	東京都農業振興事務所	農業改良普及センター専門別担当者会議「男女共同参画・農産加工」での情報提供
	(公財)東京都中小企業振興公社	食品技術センター利用企業に対して「食品開発展」の中小企業振興公社ブースへの出展を奨励し、販路開拓を支援

6. 東京の産業を支える産業人材の育成

6.1 技術セミナー・講習会

中小企業などの技術力向上と振興を図ることを目的として、各技術分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を、ライブ配信、オンデマンド配信、リアル開催およびハイブリッド開催（リアル開催+ライブ配信）で行った。

(1) 技術セミナー・講習会

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
●技術セミナー				
ライブ配信				
ナノ材料分析方法の解説	マテリアル技術グループ	6	1	2024年2月22日
オンデマンド配信				
ナノ・マイクロスケールの微細加工入門シリーズ 装置動画で学ぶリソグラフィ工程～スピコート・露光・ 現像を中心に～	電気技術グループ	7	7	2023年7月19日
照明製品の測定技術の基礎	光音技術グループ	12	7	2023年7月19日
荷重試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編 1] [事例編 2] ※3つのテーマをまとめて開催	複合素材技術グループ	10	7	2023年7月25日
ねじに関する強度試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編] ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	20	7	2023年8月25日
計測器における電気安全シリーズ [リスクアセスメント 編] [電気安全試験編] ※2つのテーマをまとめて開催	電子技術グループ	10	7	2023年8月31日
硬さ試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編] ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	10	7	2023年9月20日
静電植毛加工技術 [基礎編]	電気技術グループ	4	7	2023年9月29日
放射線の基礎	計測分析技術グループ	2	7	2023年11月8日
食品の微生物検査の基礎知識	食品技術センター	10	7	2023年11月15日
吸音・遮音の測定と評価	光音技術グループ	17	7	2023年11月22日
表面性状の基礎	複合素材技術グループ	6	7	2023年11月24日
AnsysLS-DYNA による有限要素解析を用いたプレス成 形シミュレーション [入門編]	機械技術グループ	5	7	2023年11月28日
ナノ・マイクロスケールの微細加工入門シリーズ 実験動画で学ぶエッチング工程～ウェットエッチング・ ドライエッチング～	電気技術グループ	12	7	2023年11月29日
繊維製品の温熱特性評価	墨田支所	10	7	2023年11月29日
AnsysLS-DYNA による有限要素解析を用いたプレス成 形シミュレーション [実践編]	機械技術グループ	5	7	2023年12月6日

2023年度 年報

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
【再配信】計測器における電気安全シリーズ [リスクアセスメント編] [電気安全試験編] ※2つのテーマをまとめて開催	電子技術グループ	5	7	2024年1月23日
消臭性試験の基礎	墨田支所	10	7	2024年1月24日
【再配信】荷重試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編1] [事例編2] ※3つのテーマをまとめて開催	複合素材技術グループ	10	7	2024年2月1日
【再配信】ねじに関する強度試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編] ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	8	7	2024年2月8日
【再配信】硬さ試験の実践シリーズ [基礎編] [事例編] ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	8	7	2024年2月15日
【再配信】吸音・遮音の測定と評価	光音技術グループ	16	7	2024年2月21日
促進耐候性試験の基礎 - 人工光源による耐候性試験の 基本と注意点 -	城南支所	17	7	2024年3月12日
リアル開催				
初心者のための繊維製品品質表示	複合素材技術グループ	10	1	2023年7月21日
騒音測定の基礎	光音技術グループ	14	1	2023年8月25日
FIB-SEM 複合装置による断面加工・観察・分析	計測分析技術グループ	4	1	2023年8月29日
環境試験入門～環境試験機を用いた製品の信頼性評価と 規格動向～	実証試験技術グループ	12	1	2023年10月16日
感性を考慮した音質評価・音質改善～静音化から快音化 へ向けた製品音のサウンドデザイン～	光音技術グループ	6	1	2023年10月17日
食品テクスチャーの基礎と食感評価の実際	食品技術センター	11	1	2023年10月27日
質感デザイン最前線～自動車内外とプロダクトCMF デ ザイン～	城東支所(本部)	8	1	2023年11月2日
商品企画のためのパッケージデザイン入門	城東支所(本部)	11	1	2023年12月5日
発注者のためのめっき入門-めっき技術の基礎-	プロセス技術グループ	10	1	2024年2月22日
ガラス製品の基礎知識	マテリアル技術グループ	21	1	2024年3月15日
ハイブリッド開催				
鉄鋼材料の熱処理と熱処理品の検査・評価技術	機械技術グループ	31	1	2023年8月1日
技術セミナー	44件	358	166	
●講習会				
リアル開催				
放射線遮へいの基礎と動向	計測分析技術グループ	5	1	2023年6月2日
初心者のための EMC 試験の基礎と実習	電子技術グループ	7	1	2023年6月23日
熱拡散率測定	実証試験技術グループ	10	1	2023年6月29日
機能性スクリーン印刷	複合素材技術グループ	5	1	2023年7月13日
細胞培養の基礎	バイオ技術グループ	3	1	2023年7月28日

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
Python・OpenCV・PyTorch を利用した画像処理・深層学習入門	通信技術グループ	3	1	2023年8月9日
講義と実習による機器分析入門(有機分析)	計測分析技術グループ	3	1	2023年8月25日
摩耗対策に役立つ潤滑技術～トライボロジー・レオロジー評価と解析～	プロセス技術グループ	6	1	2023年8月30日
計測器の精度管理と不確かさ評価	実証試験技術グループ	1	1	2023年9月15日
静電植毛加工技術 [実践編]	電気技術グループ	5	1	2023年10月13日
設計から営業まで役立つ実践型木工塗装技術	プロセス技術グループ	5	2	2023年10月17日
遺伝子発現解析の基礎	バイオ技術グループ	2	1	2023年10月20日
非破壊検査入門	機械技術グループ	6	1	2023年10月27日
3D プリンタの基礎と体験	機械技術グループ	8	1	2023年11月1日
【再開催】 熱拡散率測定	実証試験技術グループ	11	1	2023年11月6日
生産工程のモットイナイ改善～モットイナイの見える化と改善で、経営を飛躍的に向上させる～	プロセス技術グループ	1	1	2023年11月10日
X線非破壊試験の実践	計測分析技術グループ	4	1	2023年11月10日
プラスチック材料の基礎	マテリアル技術グループ	12	1	2023年11月15日
レーザー加工機入門	城東支所(本部)	4	1	2023年11月28日
食品工場等の衛生管理のための簡易評価技術	食品技術センター	1	1	2023年11月28日
食品の生菌数および真菌数検査	食品技術センター	4	2	2023年12月6日
材料・異物分析の基礎	複合素材技術グループ	3	1	2023年12月8日
【再開催】 摩耗対策に役立つ潤滑技術～トライボロジー・レオロジー評価と解析～	プロセス技術グループ	6	1	2023年12月15日
防カビ試験の基礎	バイオ技術グループ	5	1	2023年12月15日
有機合成の基礎技術	マテリアル技術グループ	4	1	2023年12月18日
【再開催1回目】講義と実習による機器分析入門(有機分析)	計測分析技術グループ	3	1	2023年12月22日
チラシ・パンフレット作成基礎講座	城東支所(本部)	3	1	2024年1月23日
ものづくり技術者のための品質工学実践入門	IoT 技術グループ	4	1	2024年2月13日
ものづくりのための形状評価入門	城南支所	3	1	2024年2月14日
Python とオープンソースソフトウェア・オープンデータによる身体動作解析の基礎	墨田支所	5	1	2024年2月15日
照度シミュレーションソフト「DIALux」の使い方の基礎	光音技術グループ	5	1	2024年2月20日
鉄鋼材料の金属組織の現出	機械技術グループ	5	1	2024年2月22日
ビーズミルによる超微粉碎・分散技術	計測分析技術グループ	3	1	2024年2月27日
【再開催2回目】講義と実習による機器分析入門(有機分析)	計測分析技術グループ	3	1	2024年3月8日
講習会	34 件	158	36	

(2) 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) セミナー

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
オンデマンド配信				
入門者のための CE マーキング	技術振興室	20	7	2023年7月5日
入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	20	7	2023年7月19日
実務者のための IEC60204-1 機械の電気要件と安全試験	技術振興室	20	7	2023年7月26日
【再配信 1 回目】 入門者のための CE マーキング	技術振興室	20	7	2023年9月14日
【再配信 1 回目】 入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	13	7	2023年9月20日
【再配信 1 回目】 実務者のための IEC60204-1 機械の電気要件と安全試験	技術振興室	6	7	2023年9月28日
【再配信 2 回目】 入門者のための CE マーキング	技術振興室	23	7	2023年12月6日
【再配信 2 回目】 入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	16	7	2024年1月18日
【再配信 2 回目】 実務者のための IEC60204-1 機械の電気要件と安全試験	技術振興室	14	7	2024年1月25日
【再配信 3 回目】 入門者のための CE マーキング	技術振興室	17	7	2024年2月21日
【再配信 3 回目】 入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	4	7	2024年3月6日
【再配信 3 回目】 実務者のための IEC60204-1 機械の電気要件と安全試験	技術振興室	19	7	2024年3月13日
リアル開催				
実務者のための SDS 作成方法	技術振興室	19	1	2023年9月7日
医療機器を海外(欧州)に輸出するために何をすべきか	技術振興室	16	1	2023年9月25日
REACH 規則の概要と最新動向	技術振興室	46	1	2023年11月17日
製品輸出のための EMC 規制入門	技術振興室	17	1	2023年12月8日
MTEP セミナー	16 件	290	88	

(3) その他のセミナー

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
●バンコク支所セミナー				
リアル開催				
製造業の現場で役立つ IoT 技術の活用	バンコク支所	19	1	2023年8月25日
製造業の現場で役立つ電気安全、節電・省エネ技術	バンコク支所	21	1	2024年2月8日
ハイブリッド開催				
めっき技術の基礎	バンコク支所	21	1	2023年10月31日

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
鉄鋼材料の基礎	バンコク支所	20	1	2023年12月19日
切削加工の基礎	バンコク支所	30	1	2024年1月26日
塗装技術の基礎	バンコク支所	22	1	2024年3月5日
●共催セミナー				
リアル開催				
【府中市共催】IoT活用がもたらすメリットは！～IoT導入事例と都産技研の取組み紹介～	連携企画室	21	1	2024年3月6日
●特定事業				
ライブ配信				
2023年度第1回医工連携セミナー「医工連携によるアルツハイマー病治療の最前線」	連携企画室	71	1	2023年7月27日
サービスロボット産業オンラインセミナー～5Gと法設備が拓く新たなロボットの可能性～	ロボット技術グループ	166	1	2023年10月5日
2023年度第2回医工連携セミナー「医工連携による手術ロボット開発」	連携企画室	85	1	2023年10月27日
香りと味の相互作用	食品技術センター	320	1	2024年1月25日
サーキュラーエコノミーへの転換に向けたオンラインセミナー	プロジェクト企画室	55	1	2024年2月1日
顕微鏡で除く食品のおいしさ	食品技術センター	104	1	2024年2月6日
食品業界のグローバルトレンドと国内市場の動き	食品技術センター	72	1	2024年2月14日
オンデマンド配信				
データ分析入門	IoT技術グループ	29	115	2023年9月27日
DXリテラシー	IoT技術グループ	37	109	2023年11月30日
化粧品用粉体の表面設計～メイク製品だけではない粉の魅力～	バイオ技術グループ	122	7	2023年12月6日
IFSCC(国際化粧品技術者会連盟)世界大会への“いざない”～グローバルコスメティックトレンドはここから生まれる～	バイオ技術グループ	65	7	2023年12月6日
自動車部品の輸出を支援!自動車産業品質マネジメントシステムIATF16949セミナー	技術振興室	96	22	2024年2月8日
香りと味の相互作用	食品技術センター	-	8	2024年3月1日
顕微鏡で除く食品のおいしさ	食品技術センター	-	8	2024年3月1日
食品業界のグローバルトレンドと国内市場の動き	食品技術センター	-	8	2024年3月1日
リアル開催				
ロボット用ミドルウェア ROS2 を活用した自律走行ソフトウェア入門	ロボット技術グループ	10	2	2023年7月27日
自動車業界の構造転換に対する技術・経営・人材育成セミナー	総合支援課	33	1	2023年11月15日

名称	担当部署	受講者 (名)	規模	
			日数	開催初日
Fusion360 による 3D モデリング入門	城南支所	5	1	2023年11月17日
機械加工業のための 3D 微細レーザ加工の基礎	城南支所	3	1	2023年12月20日
自動車部品の輸出を支援!自動車産業品質マネジメントシステム IATF16949 セミナー	技術振興室	27	1	2024年2月6日
ヘアケア化粧品開発におけるゼータ電位測定を活用	バイオ技術グループ	4	1	2024年2月9日
顕微鏡観察による毛髪評価	バイオ技術グループ	6	1	2024年2月16日
はじめてのレオロジー～基礎知識の習得と実技講座～	バイオ技術グループ	4	1	2024年2月27日
ハイブリッド開催				
都産技研 ローカル 5G セミナー-最新技術動向と中小企業の 5G 利活用	通信技術グループ	120	1	2023年11月7日
その他のセミナー	31 件	1,588	308	

6.2 委員・講師などの派遣

6.2.1 委員などの派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関など84機関へ評価委員や専門委員として、合計110名派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
 公益社団法人日本木材保存協会
 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 独立行政法人中小企業基盤整備機構
 一般社団法人日本溶接協会
 一般社団法人日本非破壊検査協会
 一般財団法人日本規格協会
 一般社団法人電子情報技術産業協会 など

6.2.2 講師などの派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関など39機関へ非常勤講師や指導員として、合計53名派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

法政大学
 東京家政大学
 多摩美術大学
 東京都立産業技術高等専門学校

芝浦工業大学
一般社団法人日本防錆技術協会
東京都鍍金工業組合 など

6.3 インターンシップなどの受け入れ

6.3.1 インターンシップの受け入れ

職業体験による職業意識の向上と、公設試の業務について理解を深めてもらうことを目的にインターンシップを実施した。2023年度は1大学、1高等専門学校より2名を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	電気通信大学 情報理工学研究科	1	電気技術グループ	2023年8月30日 ～2023年9月12日
2	東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 創造工学専攻	1	通信技術グループ	2023年8月31日 ～2023年9月13日

6.3.2 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。2023年度は8大学より延べ21名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	芝浦工業大学 理工学研究科	2	プロセス技術グループ	2023年4月24日 ～2024年3月31日
2	金沢工業大学 バイオ・化学部	1	プロセス技術グループ	2023年5月12日 ～2024年3月31日
3	金沢工業大学 工学研究科	2	プロセス技術グループ	2023年5月12日 ～2024年3月31日
4	茨城大学 理工学研究科	1	複合素材技術グループ	2023年6月26日 ～2024年3月31日
5	東京学芸大学 教育学研究科	1	計測分析技術グループ	2023年8月17日 ～2024年3月31日
6	東京海洋大学 海洋工学部	2	プロセス技術グループ	2023年9月4日 ～2024年3月31日
7	東京海洋大学 海洋科学技術研究科	2	プロセス技術グループ	2023年9月4日 ～2024年3月31日
8	東京海洋大学 海洋科学技術研究科	1	プロセス技術グループ	2023年9月8日 ～2024年3月31日
9	宇都宮大学 工学部	4	プロセス技術グループ	2023年10月6日 ～2024年3月29日
10	宇都宮大学 地域創生科学研究科	3	プロセス技術グループ	2023年10月6日 ～2024年3月29日
11	東京都立大学 システムデザイン学部	1	プロセス技術グループ	2023年12月6日 ～2024年3月31日
12	千葉工業大学 工学部	1	プロセス技術グループ	2023年12月21日 ～2024年3月31日

7. 情報発信の推進

7.1 イベント開催

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを、広く中小企業や都民に紹介するために研究発表会や施設公開などを開催した。

7.1.1 TIRI クロスミーティング

東京ビッグサイトで行われた産業交流展内で、TKF オープンフォーラムや東京都中小企業振興公社による知的財産セミナー、都産技研表彰を同時開催により、イベント参加者のイノベーション創出の場を提供した。リアル（11月20日～11月22日）とオンデマンド配信（11月27日～12月26日）によるハイブリッドで開催した。

都産技研が単独で実施した研究テーマだけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関を含む、計43テーマの口頭発表とパネルディスカッション1件を実施した。リアル開催では来場者数412名、オンデマンド配信の登録者数136名が参加した。

・パネルディスカッション

「協業によるモノづくりの革新：パートナー選びから戦略設定まで」

《パネリスト》

- ・株式会社アールティ 代表取締役 中川友紀子 氏
- ・株式会社西川精機製作所 代表取締役 西川喜久 氏
- ・株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO 浜野慶一 氏

《モデレーター》

- ・株式会社日刊工業新聞社 編集局 第二産業部部長 石橋弘彰 氏

・本部見学会

当日受付にて本部見学会を実施し11名が参加した。産業交流展会場から都産技研本部までバスを運行した。

・TKF オープンフォーラム

第17回 TKF オープンフォーラム「食品の魅力アップを技術でサポート」を開催した。

・INNOVATION PARTNERSHIP AWARD

2023年度受賞企業の表彰を行った。

・東京都中小企業振興公社 知的財産セミナー

「都産技研や大企業の知財を使おう！知財マッチングってなに？」を東京都中小企業振興公社主催で実施した。

7.1.2 産業交流展

産業交流展は、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に事業所を有する中小企業

などの優れた技術や製品を、分野を越えて一堂に展示する首都圏最大規模の見本市であり、国内外への販路開拓による受発注の拡大、情報収集・交換などを促進することを目的とする展示会である。都産技研は、実行委員会の一員として企画運営に参画するとともに、出展を行った。

開催期間：オンライン開催 11月6日～11月29日
リアル開催 11月20日～11月22日

主催：産業交流展2023実行委員会

出展内容：

<首都圏テクノネットワークゾーン>

TIRI クロスミーティング2023の併催。都産技研の事業および研究・支援事例の紹介、製品開発支援ラボ入居企業3社出展、TKF、つくば市ほか連携機関の出展

<次世代技術ゾーン>

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業や中小企業との共同研究などで開発したロボット技術の紹介、その他プロジェクト事業の紹介（障害者、モビリティ、ヘルスケア、フードテック、ものづくりベンチャー、航空機）

7.2 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用などの事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

(1) 東京都・区市関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所
1	ふしぎ祭エンス	東京都	2023年4月22日	日本科学未来館
2	ビジネス交流フェスタ	台東区、(公財)台東区産業振興事業団	2023年8月22日	台東区民会館
3	「わたしのからだは心になる？」展	東京都	2023年8月30日 ～11月19日	SusHi Tech Square
4	大田区加工技術展示商談会 2023	大田区、(公財)大田区産業振興協会(大田工業連合会)	2023年9月8日	大田区産業プラザPIO
5	板橋オプトフォーラム	板橋区	2023年10月5日	板橋区立グリーンホール
6	第13回おた研究・開発フェア	大田区、(公財)大田区産業振興協会	2023年10月26日 ～27日	コングレスクエア羽田他
7	第39回葛飾区産業フェア	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部、葛飾区産業フェア運営委員会	2023年10月20日 ～22日	テクノプラザかつしか
8	第53回昭島市産業まつり	昭島市	2023年11月11日 ～12日	FOSTERホール(市民会館)・公民館
9	第25回産業ときめきフェア in EDOGAWA	産業ときめきフェア実行委員会、江戸川区	2023年11月17日 ～18日	タワーホール船堀

2023年度 年報

No.	展示会名	主催	開催月日	場所
10	中小企業の魅力体験イベント	東京都	2023年11月23日	東京たま未来メッセ
11	令和5年度研究成果発表会『オープンラボ2023』	千葉県産業支援技術研究所	2023年12月1日	千葉県産業支援技術研究所
12	第10回町工場見本市2024	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部	2024年2月15日 ～16日	東京国際フォーラム
13	第21回たま工業交流展	たま工業交流展実行委員会 (立川市、昭島市、武蔵村山市、羽村等21団体)	2024年2月21日 ～22日	東京都立多摩職業能力開発センター

(2) 民間団体その他

No.	展示会名	主催	開催月日	場所
1	CITE Japan 2023	日本化粧品原料協会	2023年5月17日 ～19日	パシフィコ横浜
2	トライボロジー会議2023春	(一社)日本トライボロジー学会	2023年5月29日 ～31日	国立オリンピック記念青少年総合センター
3	第30回燃料電池シンポジウム	(一社)燃料電池開発情報センター	2023年5月25日 ～26日	タワーホール船堀
4	第50回国際福祉機器展	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	2023年9月27日 ～29日	東京ビッグサイト
5	食品開発展2023	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)	2023年10月4日 ～6日	東京ビッグサイト
6	CEATEC 2023	(一社)電子情報技術産業協会(JEITA)	2023年10月17日 ～20日	幕張メッセ
7	EdgeTech+ 2023	(一社)組込みシステム技術協会	2023年11月15日 ～17日	パシフィコ横浜
8	アグリビジネス創出フェア2023	農林水産省	2023年11月20日 ～22日	東京ビッグサイト
9	マイクロウェーブ展	電子情報通信学会 APMC 国内委員会	2023年11月29日 ～12月1日	パシフィコ横浜
10	2023国際ロボット展	(一社)日本ロボット工業会、日刊工業新聞社	2023年11月29日 ～12月2日	東京ビッグサイト
11	エコプロ [第25回]	(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社	2023年12月4日 ～6日	東京ビッグサイト
12	第14回化粧品開発展東京 (COSME Tech 2024 Tokyo)	RX Japan(株)	2024年1月17日 ～19日	東京ビッグサイト
13	カーエレクトロニクス技術展 (オートモーティブワールド2024内)	RX Japan(株)	2024年1月24日 ～26日	東京ビッグサイト

7.3 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報発信の機能を果たし、中小企業などへの技術情報の提供に貢献している。研究発表の要旨を記載した「技術シーズ集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種冊子およびリーフレットを発行した。

7.3.1 冊子

2023年度に発行した冊子は以下のとおりである。

登録番号	タイトル	発行年月	部数（増刷含む）
都産技 2023-1	城南支所事業案内	2023年4月	500
都産技 2023-2	2022年アウトカム評価報告書	2023年4月	200
都産技 2023-3	食品技術センター事業案内	2023年6月	1,000
都産技 2023-4	事業案内	2023年6月	1,000
都産技 2023-5	年報 2022年度	2023年8月	200
都産技 2023-6	東京都異業種交流グループ 交流カルテ 2023年度グループ	2023年10月	40
都産技 2023-7	プロダクトデザインガイドブック	2023年11月	500
都産技 2023-8	2023年度技術シーズ集	2023年11月	2,000
都産技 2023-9	サーキュラーエコノミーに係るガイド	2024年2月	100
都産技 2023-10	サーキュラーエコノミーに係るナビゲーションマップ	2024年2月	100
都産技 2023-11	2023年度版東京都異業種交流グループ 活動報告&会員名簿	2024年2月	380
都産技 2023-12	ヘルスケア分野の技術支援ハンドブック	2023年12月	1,700
都産技 2023-13	DX推進センター ロボット試験設備 ご利用案内【改定】	2023年11月	100
都産技 2023-14	多摩テク事業案内	2023年12月	500
都産技 2023-15	ヘルスケア産業支援事業リーフレット	2024年1月	3,000
都産技 2023-16	国別規格 EU 編 (REACH 規則)	2024年3月	ウェブサイト掲載
都産技 2023-17	国別規格 中国編	2024年3月	ウェブサイト掲載
都産技 2023-18	「中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業」中間報告書	2024年3月	100
都産技 2023-19	2023年度都産技研活用事例集	2024年3月	ウェブサイト掲載

7.3.2 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を目的に発行する技術情報誌である。「TIRI NEWS」を毎月1、15日の月2回、ウェブニュース形式で都産技研の最新の技術情報を49記事配信した。また、ウェブ配信人気記事や研究成果、都産技研保有特許の紹介を行い、年間を通して技術紹介を行う冊子版 TIRI NEWS を10月、3月の年2回発行した（各号5,000部、710件を発送）

7.3.3 note

「note」は、都産技研を知らない層に向けて、都産技研の技術や研究を身近に感じてもらい「都産技研ならではの」の面白さや魅力を発信することを目的に、2023年8月にアカウントを開設した。毎月1～2本の記事を配信し、2023年度は14本公開した。

7.4 都産技研ウェブサイト

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。ウェブサイトの2023年度の総アクセス件数は2,279千件、アクセスユーザー数は503千件だった。

7.5 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週1回程度配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

登録者数：約9,600件

発行回数：57回

7.6 マスコミ報道

2023年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

(1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	2023年4月6日	多彩で繊細な手触りを評価する触覚センシングシステムを実用化－化粧品・自動車・繊維・バーチャルリアリティに応用展開－
2	2023年4月25日	TokyoものづくりMovement 未来のものづくりベンチャー発掘コンテスト採択者決定！－製品化・事業化に向けた支援を実施します－
3	2023年5月16日	輸入小麦の価格高騰への対策のために小麦代替食品の製品化に向けた共同研究テーマを募集します！
4	2023年7月4日	ブロックチェーン×IoTによる物流プラットフォームをリリース 食品や医薬品などの厳正なトレーサビリティ管理を実現!!
5	2023年7月18日	日常の活発な活動を支援するため 障害者・高齢者等向け用具の製品化に向けた共同研究テーマを募集します！
6	2023年7月28日	都産技研研究員の実施した研究テーマが第5回名古屋大学岡本若手奨励賞を受賞!!
7	2023年9月12日	フードテックによる製品開発支援事業 小麦代替食品の製品化に向けた公募型共同研究 採択テーマ決定
8	2023年9月26日	トップアスリート向けパラスポーツの技術を広く普及 一般の障害者向け高性能スポーツ用具等を国際福祉機器展[H.C.R2023]に出展

No.	発表日	発表内容
9	2023年10月6日	中小企業の皆さま！ビジネスの新たな可能性を探求しませんか？ TIRIクロスミーティング2023 ビッグサイト西ホールにて開催
10	2023年10月17日	老朽化した栈橋も安全に点検 自律型栈橋点検支援ロボット「YURA(ユラ)」の開発に成功
11	2023年10月20日	「自動車業界の構造転換に対する技術・経営・人材育成セミナー」を開催
12	2023年10月31日	2023年度ものづくりベンチャー育成事業 都内ものづくり中小企業からのアイデア 募集中!! 「Tokyo ものづくり Movement」
13	2023年11月14日	ものづくりベンチャー育成事業「Tokyo ものづくり Movement DemoDAY2023」-事業化ピッチイベントを開催します-
14	2023年11月28日	天然素材のセルロースを凍らせるだけ！強い機能性ゲル材料を新たに開発 -凍結によるセルロースの結晶相転移と簡易なゲル合成法を発見-
15	2023年12月14日	高い技術力を持つ中小企業が多数出展！！『東京イノベーション発信交流会2024』開催
16	2023年12月20日	日常の活発な活動を支援するため 障害者・高齢者等向け用具の製品化に向けた公募型共同研究採択テーマ決定
17	2023年12月25日	中小企業の技術を活かす！！「サーキュラーエコノミー(CE)への転換に向けたオンラインセミナー」を開催
18	2024年1月30日	押すと色が変わり、元の色に戻せる紙：メカノクロミック材料を含むセルロースナノファイバー紙
19	2024年1月31日	中小企業の技術を活かす「サーキュラーエコノミーへの転換支援事業」共同研究テーマ募集に向けたお知らせ！
20	2024年2月1日	能登半島地震復興技術支援について
21	2024年2月15日	輸入小麦の価格高騰への対策のために 小麦代替食品の製品化に向けた共同研究テーマを募集します！
22	2024年2月21日	未来のものづくりベンチャー発掘コンテスト2024 -ファイナリストがビジネスプランを発表。支援対象者を決定します！-
23	2024年2月28日	キッズフェスタ2024に出展 QOLを向上させるストロー補助具の実用化に成功!! 3月から共同研究先にて販売開始
24	2024年2月29日	日常の活発な活動を支援する 障害者・高齢者等向け用具の製品化に向けた、共同研究テーマを募集します！

(2) テレビ・ラジオ報道

月別のテレビ・ラジオ報道件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テレビ・ラジオ報道件数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
新聞報道	4	2	0	2	0	2	4	6	6	4	5	4	39
雑誌報道	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	2	8
ウェブ報道	66	65	39	70	36	29	77	112	82	139	147	38	900

7.7 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献などを購入するとともに、2～3ヶ月に1回程度企画展示を行い、蔵書の充実を図っている。

また、本部図書室を公開することで、都内中小企業などでの調査研究活動に活用されている。外部利用者数は、延べ181名であった。

図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

2023年度図書管理数

蔵書種類	本部 (城東・城南を含む)	多摩テクノプラザ	墨田支所	食品技術センター
和書(冊)	19,408	3,567	2,878	3,232
洋書(冊)	5,235	78	122	859
和文雑誌(種)	523	85	86	35
欧文雑誌(種)	42	14	10	14

ほかに、欧文雑誌電子ジャーナル版18誌を年間契約した。

企画展示図書の内容は以下のとおりである。

2023年度企画展示図書

月	テーマ
4月	コロナウイルス感染症とデジタル化
5月	
6月	都産技研のあゆみ
7月	
8月	サーキュラーエコノミー ～廃棄物を出さないサステナブルな社会へ～
9月	
10月	中小企業の成長に向けた価値創出 ～2023年版中小企業小規模企業白書から～
11月	
12月	
1月	サイバーセキュリティ ～サイバー攻撃から身を守るために～
2月	
3月	

8. 業務運営

8.1 組織運営

社会経済情勢や中小企業のニーズの変化などに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かし、柔軟かつ迅速に組織体制の検証を行い、組織体制の構築および運営を行った。

8.1.1 組織体制および運営

(1) 組織の効率的な執行体制確保

1) 2022年度に変更した執行体制を継続

2) 公益財団法人東京都中小企業振興公社との人事交流

2019年度に開始した人事交流を、双方の組織の活性化と人材の育成を目的に継続

(2) 既存組織体制にとらわれないプロジェクトチームの設置と部署間連携によるニーズへの対応

1) デジタル化推進委員会

デジタル化推進に関する共通認識の醸成と、各部の取り組みの共有・意見交換を目的にデジタル化推進委員会活動を継続

2) 協創的研究開発の継続

組織の垣根を乗り越え、複数の組織を横断したチームを構成し、統合的に課題を解決する協創的研究開発を推進

8.1.2 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

(1) 入所研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など（受講者49名）

(2) 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など（受講者 延べ94名）

(3) 専門研修：職務上必要な専門知識の習得（計15件）

(4) 一般派遣研修：外部機関における研修（受講者 延べ237名）

8.2 施設整備

都内中小企業の技術向上とその成果の普及を図るため、事業実施に必要となる施設整備を行った。本部においては、各種施設整備を実施した。また、2021年度から「本部長期保全計画」に基づき、設備改修工事を実施している。

8.2.1 本部・DX推進センター 施設整備・修繕工事 合計59件

1	1E04 電動油圧シリンダ用電源増設工事	28	太陽光発電設備工事
2	5S01-2 電源改修工事	29	急速充電装置工事その3
3	屋上排気除害設備モータ交換工事	30	4E09 電気設備等改修工事
4	3S04 排気ファンモータ交換工事	31	1E04 機器整備対応工事
5	シャッター開閉器交換工事	32	4E09 内装改修工事その2
6	屋上避雷導線修繕工事	33	自動扉用弱電設備工事
7	執務室パーテーション購入	34	共用試験室 491 (旧 4S06 室) 圧縮空気配管工事
8	4S06 電気錠設置工事	35	照明設備改修工事
9	2N04 コンセント増設工事	36	4E10 電気設備改修工事
10	第二非破壊検査室遠隔確認カメラ設置工事	37	1E04 電気設備改修工事
11	5E02 電源改修等工事	38	3N01 ボンベスタンド設置工事
12	役員幹部室改修工事	39	漏水検知システム増設工事
13	屋内消火栓用逆止弁交換工事その2	40	払込窓口デジタルサイネージ用電源工事
14	監視カメラ増設および修繕工事	41	半導体材料実験室(2N01)装置用冷却水及び上水配管修繕工事
15	屋上排気除外設備制御盤修繕工事	42	4E10 高圧ガスボンベ架台撤去工事
16	2N01 純水配管接続工事	43	4E10 高圧ガス減圧供給設備撤去工事
17	管路収集設備修繕	44	中央監視室内休憩室 1S04-2 空調機更新工事
18	屋上室外機(3C13-3サーバー室パッケージエアコン系統)修繕工事	45	1S04-1 中央監視室空調機修繕工事
19	超微細形状機器校正室空調設備修繕工事	46	3W04 分電盤ELB増設工事
20	4S04 電源改修工事	47	2N01 電源改修工事
21	駐車場管制設備出口判定機修繕工事	48	3W05 室棚撤去工事
22	屋上移動式粉末設備取替工事	49	1E01 電源改修工事
23	無機分析実験室(4N06)ほかフレキシブルダクト交換工事	50	消火器交換等作業
24	空調設備蒸気加湿器修繕工事	51	倉庫 363(3C14)ブラインド設置工事
25	4S06 電源改修工事	52	1S01 電源改修工事
26	3C19-1FCU修繕工事	53	3S04 電源改修工事
27	自動扉用配線等工事その2	54	第1細胞・遺伝子実験室(4E09)床配管撤去補修工事

55	アンカー打設等工事	58	ゼロエミッション化推進工事実施設計業務委託*
56	特高電気室スポットネットワーク監視盤PLC更新作業	59	サービスロボット用複合環境試験装置試験室における漏水センサ敷設等業務
57	バリアフリー及び非接触化対策工事*		

*2022年度からの継続案件

8.2.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計3件

1	弱电設備等撤去工事(5)	3	地下1階配管スペース冷温水配管漏水修繕
2	地下1階清掃員控室冷温水配管漏水修繕		

都が実施する大規模改修関係を除く

8.2.3 墨田支所

施設整備・修繕工事 合計6件

1	墨田支所 空調換気設備修繕業務委託	4	恒温恒湿室自動扉異音制御調整業務委託
2	受付事務室可変風量制御装置修繕業務委託	5	墨田支所恒温恒湿室自動扉駆動部修繕業務委託
3	墨田支所 照明器具LED更新業務委託	6	墨田支所 ブラインド操作コード交換業務委託

8.2.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計4件

1	機器整備対応工事*	3	情報設備改修工事
2	空調機の修理委託	4	廃水処理設備(制御盤)の修繕委託

*2022年度からの継続案件

8.2.5 食品技術センター

施設整備・修繕工事 合計1件

1	フードテック付帯工事*		
---	-------------	--	--

*2022年度からの継続案件

8.2.6 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計55件

1	多摩テクノプラザB棟空調設備改修工事(4)*	29	非常業務放送設備修繕
2	B棟ブース設置改修工事(5)	30	A棟2階男子トイレ大便器修繕
3	A棟恒温恒湿室空調用チラーユニット部品交換作業	31	A棟2階男子トイレ大便器不具合修繕
4	B棟中2階設備スペース給気用ファン交換作業	32	非常用発電機用燃料タンク液面指示計交換作業
5	B棟EHP-3-B室外機圧縮機等交換作業	33	A棟事務室電気湯沸器修繕
6	C棟2階女子トイレ修繕作業	34	蒸気ボイラー軟水器交換修理
7	A棟恒温恒湿室空調用冷水1次ポンプ部品交換作業	35	C棟1階電気湯沸器修繕
8	A棟雑用水加圧給水ポンプユニット整備作業	36	業務用ロスナイ修繕
9	トイレ呼出表示装置修繕	37	多摩正門カードリーダー交換
10	A棟非常用発電機用燃料タンク液面指示計等の調査	38	非常放送設備修理
11	A棟繊維物性試験室空調機AHU-1-1 部品交換作業	39	B複評室空調室内ユニット部品交換作業
12	A棟屋上キュービクル部品(コンデンサトリップ装置)交換作業	40	B棟複合素材評価室空調室内ユニット修繕作業
13	B棟非常放送機器修理作業	41	A棟事務室機械警備パソコン用無停電電源装置交換及び設定作業
14	B棟屋上キュービクル内リレー部品交換作業	42	B棟複合素材評価室空調用ドレン配管改修工事
15	A棟自動pH中和処理装置部品交換作業	43	A棟男子更衣室ロッカー転倒防止金具取付作業
16	A恒温恒湿冷水1次ポンプ更新作業	44	B棟仕上ゾーン手元開閉器(昇華熱転写機)移設作業
17	A棟北側外壁修繕工事	45	B棟複合素材評価室空調設備ガス漏れ診断
18	B棟電源回路雷保護対策工事	46	B棟自動ドア外カード交換
19	敷地内電話設備回線及び構成、並びに直通回線端末調査	47	B棟不織布ゾーン配線用遮断器改修等電気工事
20	A棟屋上空冷モジュールチラー部品交換作業	48	B棟EMCサイト機械警備関連機器取外し・再取付作業
21	加湿用ポンプユニット分解整備作業	49	A棟環境試験室動力幹線引込等電気工事
22	敷地内非常放送設備障害調査	50	A棟環境試験室2次側動力用電気設備工事
23	A棟雑用水加圧給水ポンプユニット・ポンプ更新	51	B棟仕上ゾーン布用インクジェット移設等作業委託
24	敷地内高木伐採及び剪定作業	52	B棟不織布ゾーン繊維機器2台移設作業
25	電話交換機用蓄電池交換作業	53	B棟仕上ゾーン200V電源移設作業
26	A棟外調機OHU-2-Aモータダンパ交換作業	54	A棟環境試験室上水給水管経路変更作業
27	空調用加湿器整備作業	55	B棟仕上ゾーン照明取付作業
28	電話交換機修繕		

*2022年度からの継続案件

城東支所、城南支所、多摩テクノプラザにおいては、東京都から建物管理業務を受託しており、施設整備には主に受託費を使用している。

8.3 安全衛生管理

8.3.1 安全衛生管理

(1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

(2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

(3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに、職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

＜安全衛生推進部会＞

- | | |
|----------------------|--------------|
| ① 内部・デジタル・企画・総務部会 | ⑤ 城東部会 |
| ② 物理応用技術部・機能化学材料技術部会 | ⑥ 墨田部会 |
| ③ 情報システム技術部会 | ⑦ 城南部会 |
| ④ 技術支援部会 | ⑧ 食品技術部会 |
| | ⑨ 多摩テクノプラザ部会 |

【構成員】

・ 部会長

①～④：各部の部長、室長、上席研究員、課長の中から1名選出

⑤～⑧：各支所長

⑨：多摩テクノプラザ 所長

・ 安全衛生推進員

①～④：各部内の室・グループ・課ごとに1名ずつ選出

⑤～⑧：各支所の管理係から1名、管理係以外から1～3名程度選出

⑨：総合支援課から1名、電子技術グループ、複合素材技術グループから1名ずつ選出

・ その他部会長が指名した者

【活動内容】

・ 月1回以上、安全衛生推進部会を開催

・ 災害ポテンシャルの摘出と排除を実施

・ 安全衛生上の課題検討と排除を実施

(4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

(5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、ストレスチェック、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した（6月1日～30日、10月1日～31日）。2023年度は、全職員を対象に「階段などの積極的な活用」を推奨し、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

メンタルヘルスケアに係る管理職向け研修（ラインケア研修、オンライン）および全職員向けセルフケア研修（eラーニング）を行った。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室などで安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

8.3.2 化学物質等管理

(1) 化学物質等の管理

化学物質等について、2008年度から薬品管理支援システム（IASO）にて管理を行っている。

化学物質等を取り扱う全ての部署に対して安全点検を行い、取り扱い方法や保管状況について確認した（10月2日から10月31日まで）。

年2回、薬品廃棄を行うとともに、3月には在庫管理のための薬品棚卸しを実施した。

(2) 化学物質等のリスクアセスメント

労働安全衛生法に基づき、リスクアセスメント対象物質（674物質）を取り扱う作業に際しては、事前にリスクアセスメントを実施した（既実施総件数2,545件）。

2023年度リスクアセスメント実施件数： 150件

8.3.3 高圧ガスの管理

(1) 第二種貯蔵所（本部）で定められた保有量を超えないよう適正な保有量管理を実施

(2) 職員に対する安全講習会「高圧ガス保安教育」を開催（リアルおよびオンデマンド開催）

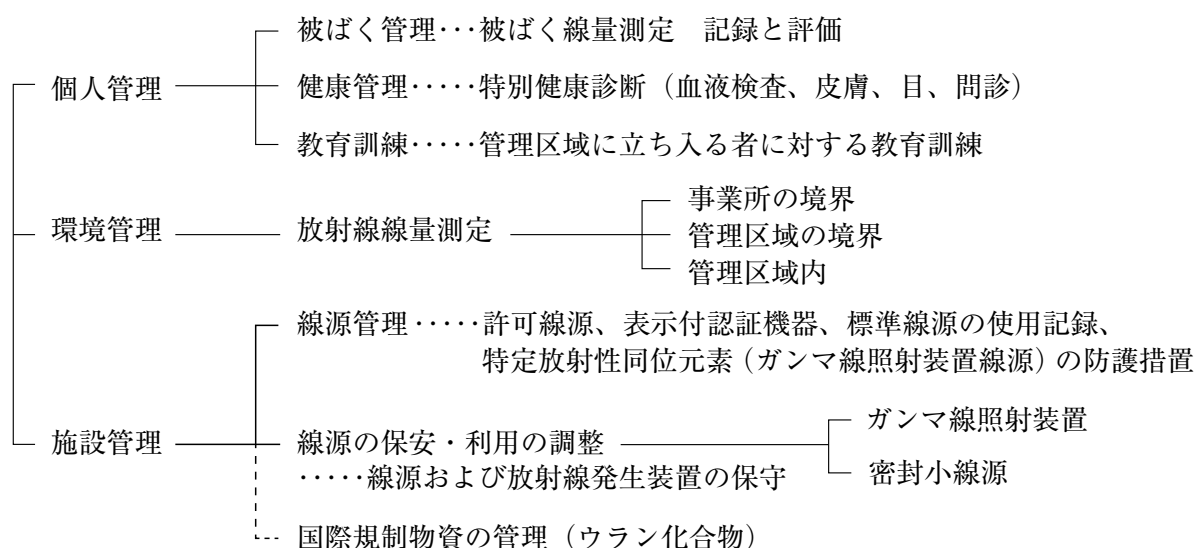
・実施期間：リアル（12月9日）、オンデマンド（12月18日～2月6日）

・対象者：本部全職員（受講者数289名）※他拠点職員は任意

8.3.4 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射性同位元素などの規制に関する法律（RI 規制法）関連法令の規定に基づき、個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

(1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



(2) 本部における放射線施設の概要

1) 使用許可 2011年1月17日付許可済み（許可証番号 使第5725号）

- ・放射線管理区域： 第一非破壊検査室、第二非破壊検査室
- ・許可線源： 4種（計6個） ※2024年3月現在
 - ・ガンマ線照射装置（Cs-137:81.4 TBq 3個）
 - 以下は、2024年3月現在未保有
 - ・密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq 各1個）

2) 表示付認証機器

2011年 10月27日届出

- ・ガンマ線標準照射線量線源（Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq 各1個）

2016年 9月20日届出

- ・ガスクロマトグラフ用線源（Ni-63:370 MBq 1個）

(3) 個人管理

1) 被ばく管理

① 放射線管理対象者

単位:人

対 象	職 員	外 来 者	合 計
放射線業務従事者	37	0	37
一時立入者	18	388	406
合 計	55	388	443

② 被ばく測定結果

放射線業務従事者、一時立入者とも、0.1ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度

放射線業務従事者： 50ミリシーベルト / 年、100ミリシーベルト / 5年
 一時立入者： 1ミリシーベルト / 年

2) 放射線健康診断

放射線業務従事者全員について、異常は認められなかった。

3) 教育訓練

① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・10名

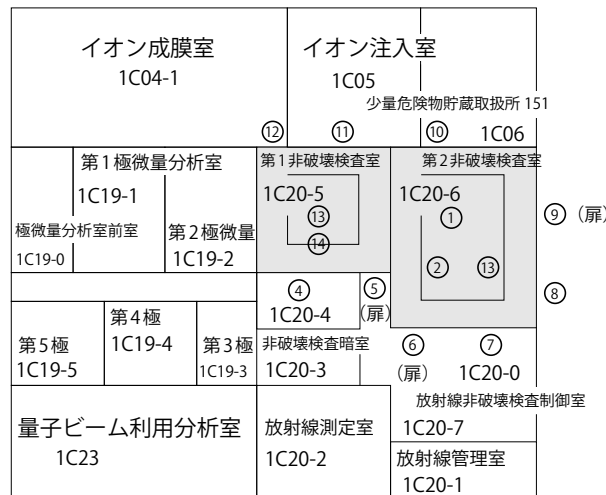
② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・27名

訓練内容 ・放射線の基礎

- ・放射線安全取り扱いに関する法律
- ・放射線の人体影響
- ・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置稼働状態にて、管理区域内（図中①、②、③）、管理区域境界（④～⑭）、事業所境界（⑮）、事業所外のバックグラウンド（⑯）における1センチメートル線量当量率を測定した。測定結果は各月とも、測定点①～⑭では0.5マイクロシーベルト/h以下、⑮、⑯では0.1マイクロシーベルト/h以下と線量限度内であった。



- ① ③ 使用施設中央
- ② 貯蔵箱近辺
- ⑬ 上階（研修室 243）右
- ⑭ 上階（研修室 243）左
- ⑮（正面玄関前境界）
- ⑯ BG（正面玄関前緑地内ヒバ）
- ：放射線管理区域

【参考】 管理区域ほかにおける線量限度

- 1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：
実効線量で1ミリシーベルト / 週（40 h） = 25マイクロシーベルト / h
- 2) 管理区域の境界における線量限度：
実効線量で1.3ミリシーベルト / 3月（40 h × 13週） = 2.5マイクロシーベルト / h
- 3) 事業所の境界における線量限度：
実効線量で250マイクロシーベルト / 3月 = 0.116マイクロシーベルト / h
- 4) 線源等の使用管理
 - ① 線源等の搬入および搬出： 実績なし
 - ② 線源等使用状況

単位:件

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	17	79	96
表示付認証機器(ガンマ線源、中性子線源)	0	31	31
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

(5) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施、安全が確保されていることを確認した。

- 1) 線源等使用者による始業・終業時における日常点検
- 2) 線源の保管状況の点検
- 3) 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6ヶ月ごと）
- 4) 地震（震度5弱以上）直後の安全点検 ※2023年度該当なし

(6) 法令に基づく定期確認・定期検査（5年ごと）

公益財団法人原子力安全技術センターによる定期確認・定期検査を受検し、合格した。

（2021年5月27日）

8.4 社会的責任

8.4.1 リスクマネジメント

2023年度は、「お客様の安全」（継続）、「スタンドアローン端末のセキュリティ管理」（継続）、「機器利用・依頼試験の停止等に関する全所的対応・周知方法の検討」（新規）の3テーマを選定した。

8.4.2 内部統制

(1) 内部統制等推進体制

「内部統制・コンプライアンス推進規程」を運用し、理事長を内部統制等最高責任者とする推進体制としている。

(2) コンプライアンス委員会の運営

内部統制等最高責任者である理事長直轄のコンプライアンス委員会を設置し、所内における内部統制・コンプライアンスに関する取り組みを総括している。

委員会は、年度内に4回開催した。

8.4.3 情報開示

「個人情報保護に関する法律」、「東京都情報公開条例」に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター保有個人情報開示・訂正・利用停止事務取扱要綱」等を制定・施行している。

2023年度は、情報開示請求4件であった。

(本年報は、2023年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績等報告書の内容に基づいて記載している)

資 料

1 沿革

1921年10月	府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
1924年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
1927年 3月	東京府立染織試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
1959年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
1970年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
1990年 7月	東京都立食品技術センター発足
1991年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
1996年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
1997年 4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足
2000年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
2002年 4月	多摩中小企業振興センター発足
2006年 4月	城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
2010年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
2011年 3月	駒沢支所閉鎖
2011年 9月	西が丘本部閉鎖
2011年10月	本部を江東区青海に移転
2015年 4月	バンコク支所開設
2021年 4月	東京都立食品技術センターと統合
2021年10月	設立100周年を迎える

2 施設

(1) 本部 2011年10月3日業務開始

所在地：東京都江東区青海二丁目4番10号

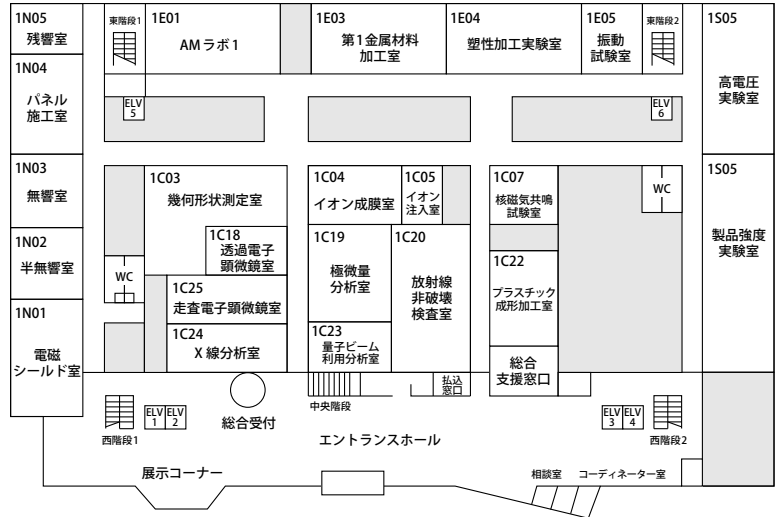
敷地面積：14,519.35㎡

建築面積：8,573.38㎡

延床面積：33,129.80㎡（本体建屋：33,032.30㎡、付属建屋：97.50㎡）

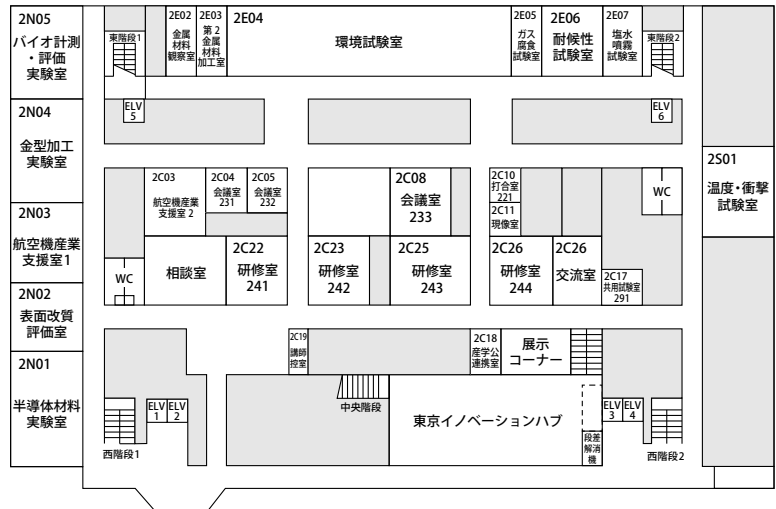
1階

総合受付
総合支援窓口
払込窓口
相談室



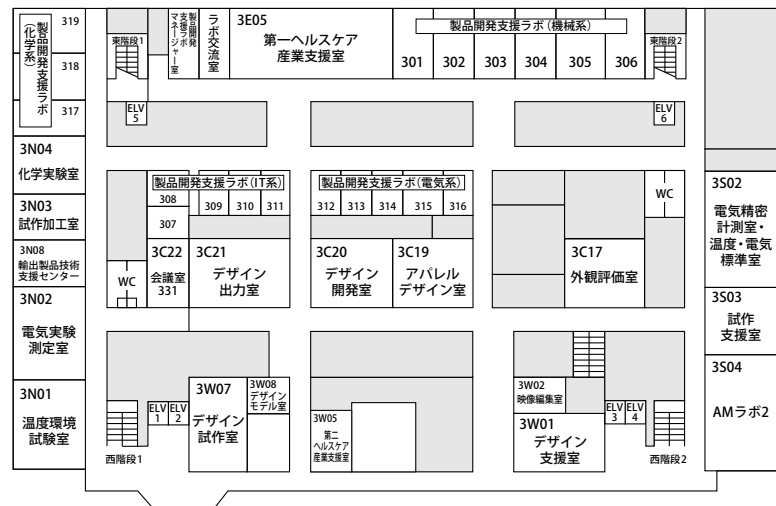
2階

東京イノベーションハブ
研修室・会議室
航空機産業支援室

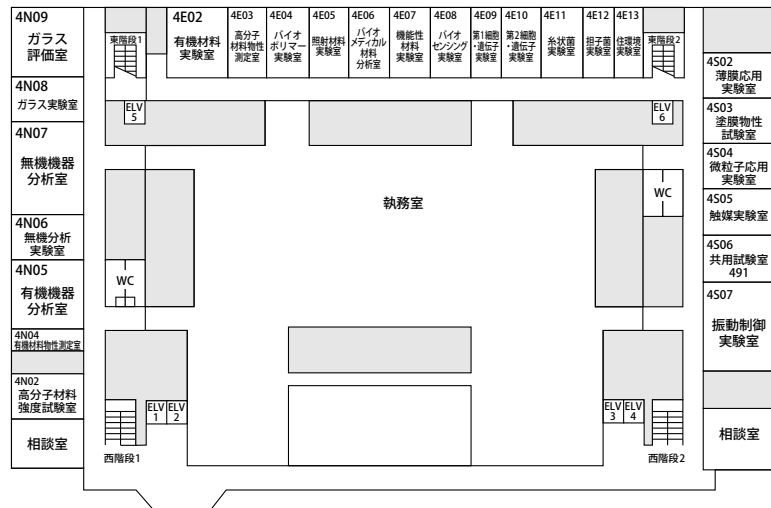


3階

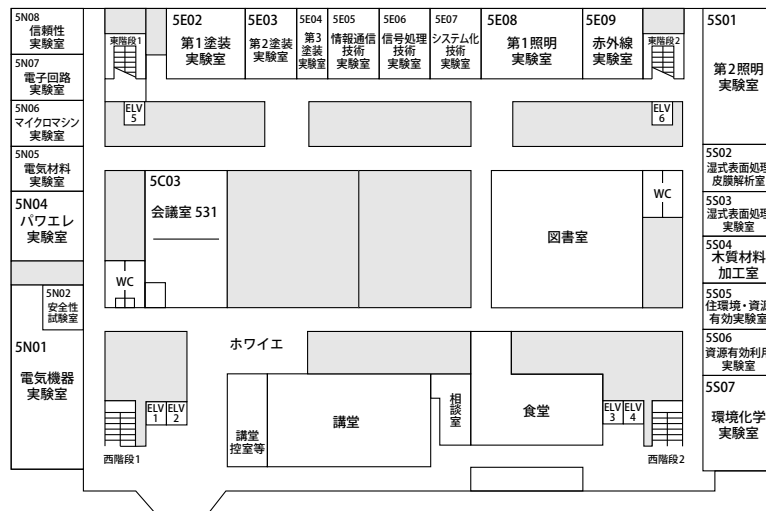
製品開発支援ラボ
輸出製品技術支援センター
ヘルスケア産業支援室



4階
執務室
相談室



5階
講堂
図書室
会議室
相談室



○本部建物内訳

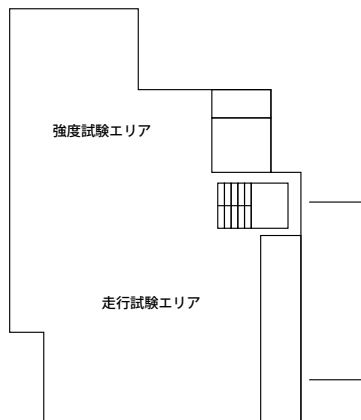
名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95㎡	機械室など
5階		6,397.80㎡	講堂、図書室、会議室など
4階		6,719.04㎡	執務室など
3階		6,352.55㎡	製品開発支援ラボ、ヘルスケア産業支援室など
2階		6,170.43㎡	東京イノベーションハブ、航空機産業支援室など
1階		7,081.91㎡	総合支援窓口、払込窓口など
地階		188.62㎡	一般廃棄物処理施設など
付属建屋		鉄筋コンクリート造	97.50㎡
	面積計	33,129.80㎡	

< DX 推進センター >

所在地：東京都江東区青海二丁目5番10号（テレコムセンタービル内）

使用面積：3,288.71㎡（延床面積158,050.18㎡）

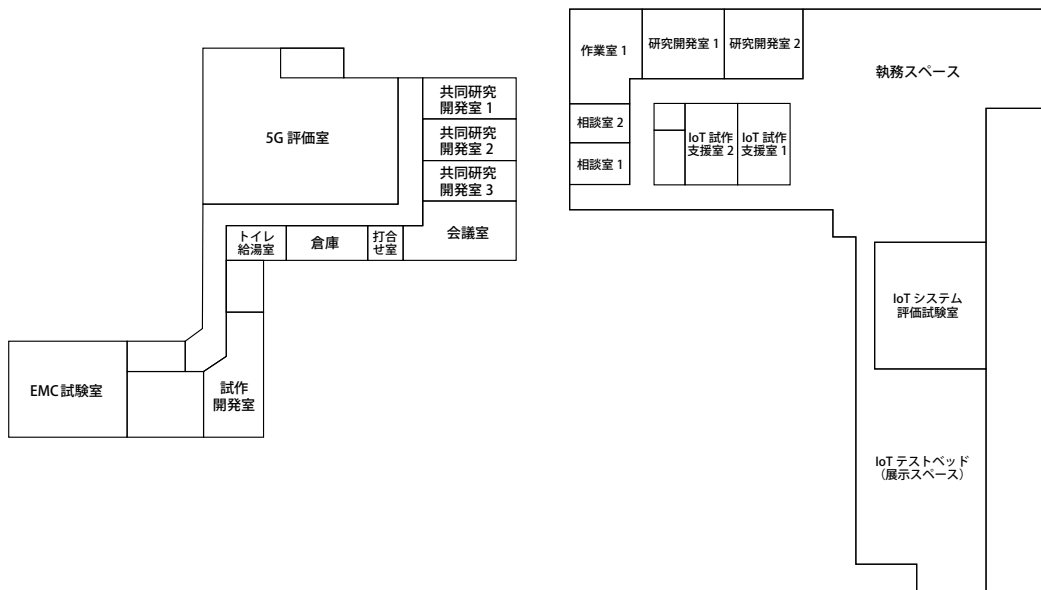
1階



2階



3階



○ DX 推進センター建物内訳

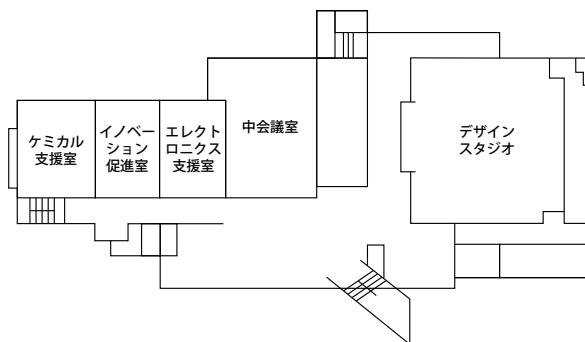
名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	1,587.7㎡	5G 評価室、EMC 試験室、IoT テストベッド（展示スペース）、共同研究開発室
2階	鉄筋コンクリート造	773.35㎡	疑似実証実験スペース、多目的研修室
1階	鉄筋コンクリート造	927.66㎡	走行試験エリア、強度試験エリア
	面積計	3,288.71㎡	

(2) 城東支所（改修工事のため休館中）

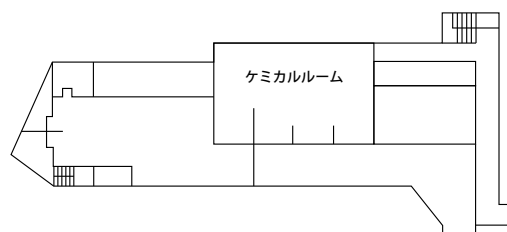
所在地：東京都葛飾区青戸七丁目2番5号（城東地域中小企業振興センター内）

使用面積：1,564.82㎡（延床面積4,402.90㎡）

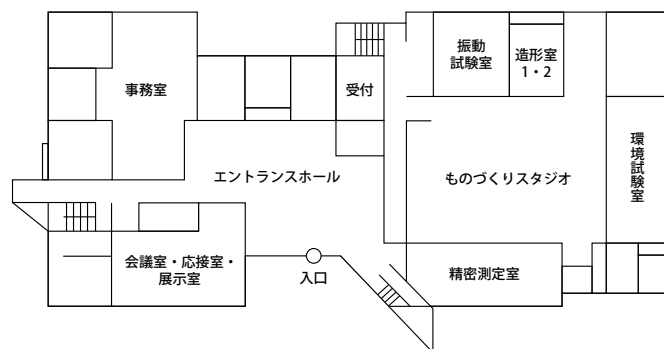
2階



地階



1階



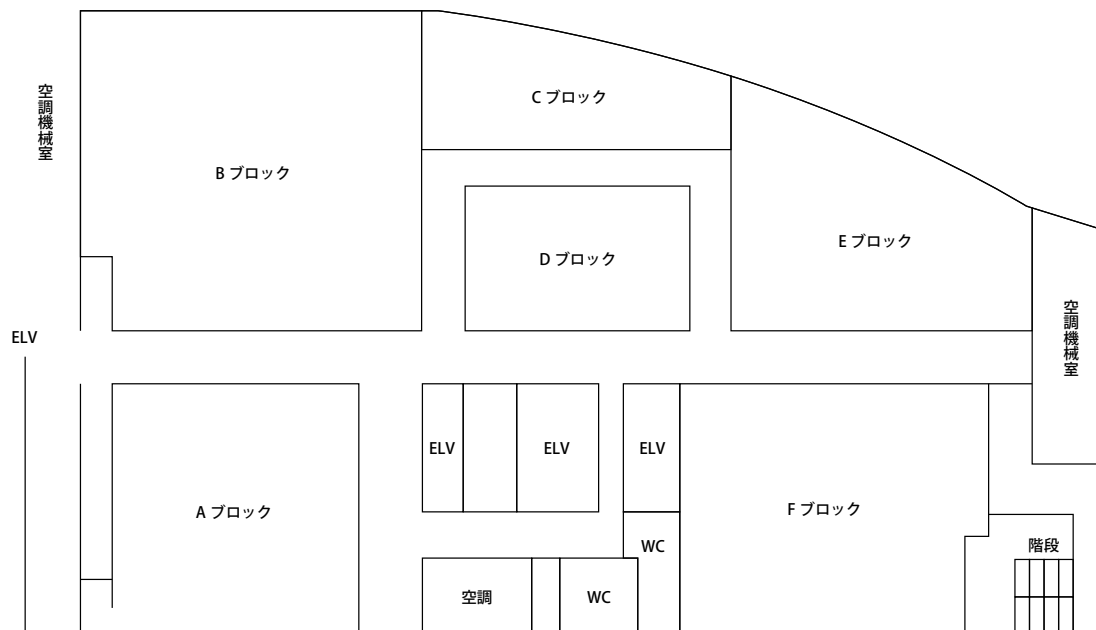
○城東支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
2階	鉄筋コンクリート造	654.02㎡	デザインスタジオ、中会議室、 エレクトロニクス支援室、イノベーション促進室、 ケミカル支援室
1階	鉄筋コンクリート造	728.80㎡	事務室、会議室・応接室、ものづくりスタジオ、 振動試験室、精密測定室、環境試験室
地階	鉄筋コンクリート造	182.00㎡	ケミカルルーム
	面積計	1,564.82㎡	

(3) 墨田支所

所在地：東京都墨田区横網一丁目6番1号（国際ファッションセンタービル12階）

使用面積：1,920.02㎡（延床面積47,565.60㎡）



○墨田支所建物内訳

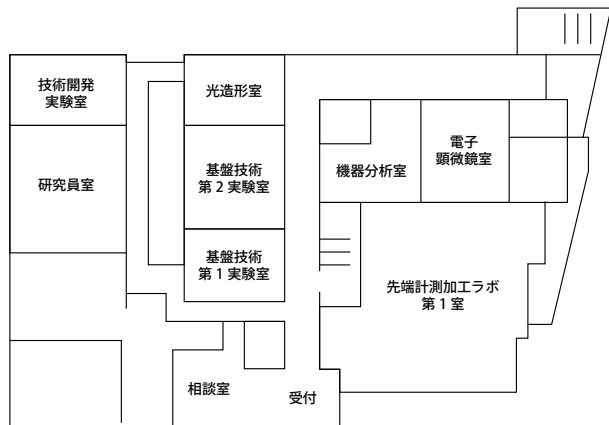
名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨造	296.46㎡	総合受付、相談コーナー、図書室、応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨造	417.65㎡	生活空間計測スタジオ、生活製品開発ラボ、染色加工試験室、品質評価試験室、安全技術評価室、耐光性試験室、薬品庫
Cブロック	鉄骨造	118.62㎡	高度観察システム室、生活科学試験室
Dブロック	鉄骨造	123.00㎡	恒温恒湿室、デザイン室
Eブロック	鉄骨造	218.31㎡	被服科学試験室、生活環境試験室、日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨造	310.49㎡	執務室、生活動作計測スタジオ
その他		435.49㎡	通路、空調機械室など
	面積計	1,920.02㎡	

(4) 城南支所

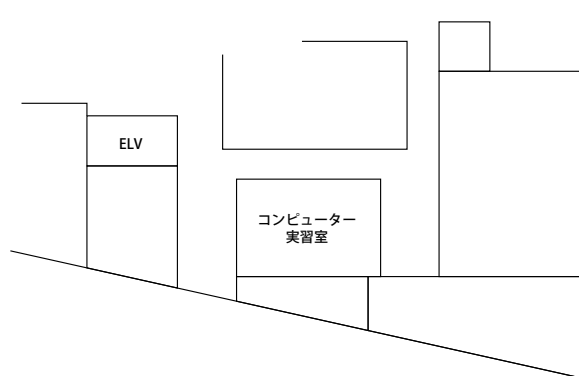
所在地：東京都大田区南蒲田一丁目20番20号（城南地域中小企業振興センター内）

使用面積：2,668.52㎡（延床面積8,054.61㎡）

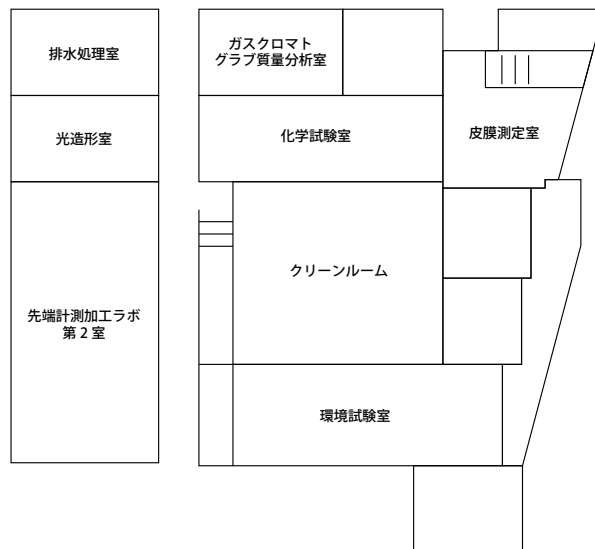
1階



2階



地階



○城南支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	246.94㎡	事務室など
2階	鉄筋コンクリート造	108.24㎡	コンピュータ実習室
1階	鉄筋コンクリート造	1,292.68㎡	受付、先端計測加工ラボ第1室、電子顕微鏡室、機器分析室、光造形室、各種実験室、研究員室
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66㎡	ガスクロマトグラフ質量分析室、化学試験室、皮膜測定室、クリーンルーム、環境試験室
	面積計	2,668.52㎡	

(5) 食品技術センター

所在地：東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番（東京都産業労働局秋葉原庁舎内）

使用面積：1,976.47㎡（延床面積（全館）7,473.14㎡）



○食品技術センター建物内訳

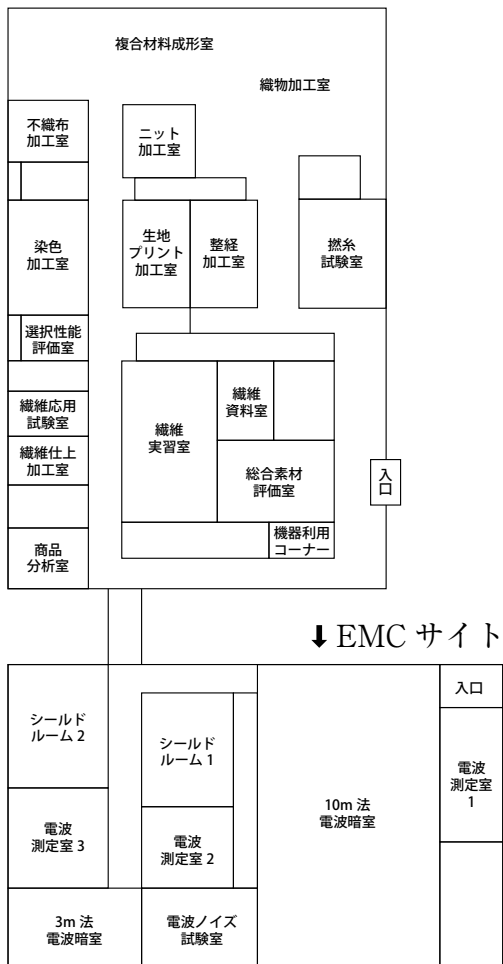
名称	建物		内容
	構造	面積	
屋上	鉄骨鉄筋コンクリート造	60.23㎡	設備
8階	鉄骨鉄筋コンクリート造	633.62㎡	第二研究室、クロマト分析室、有機溶媒実験室、粉体実験室、品質特性解析室、機器分析室、研究員室
7階	鉄骨鉄筋コンクリート造	625.68㎡	第一研究室、微生物実験室、細胞培養室、菌株保存室、事務室、セミナー室、相談室
6階	鉄骨鉄筋コンクリート造	649.25㎡	加工実験室、低温加工実験室、冷凍冷蔵室、調理実験室、開放試験室、交流室、図書室
1階	鉄骨鉄筋コンクリート造	3.24㎡	ショーケース
地下2階	鉄骨鉄筋コンクリート造	4.45㎡	設備
	面積計	1,976.47㎡	

(6) 多摩テクノプラザ

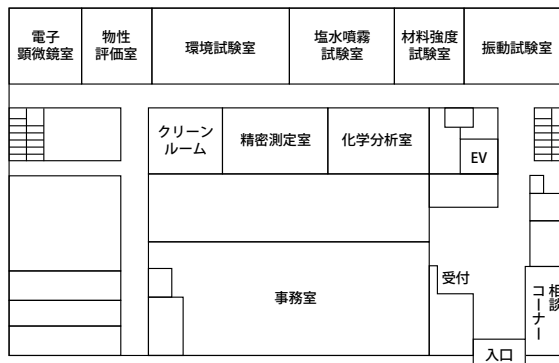
所在地：東京都昭島市東町三丁目6番1号（産業サポートスクエア・TAMA内）

使用面積：6,120.10㎡（産業サポートスクエア・TAMA延床面積9,258.64㎡）

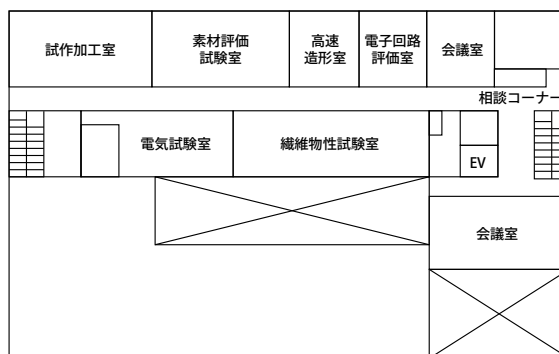
複合素材開発サイト



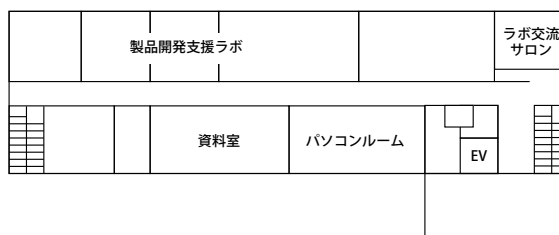
本館1階



本館2階



本館3階



○多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館 (A棟、地上3階建)	鉄筋コンクリート造	3,353.53㎡	事務室、振動試験室、環境試験室、塩水噴霧試験室、精密測定室、電子顕微鏡室、化学分析室、高速造形室、素材評価試験室、会議室、製品開発支援ラボ
複合素材開発サイト、 EMC サイト (B棟、地上1階建)	鉄骨造	2,766.57㎡	染色加工室、複合材料成形室、複合素材評価室、繊維実習室、10 m 法電波暗室、3 m 法電波暗室、シールドルーム、電波ノイズ試験室
	面積計	6,120.10㎡	

3 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務の実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価などを行う。2023年度は、試験研究分科会が4回開催された。

○2023年度試験研究分科会開催概要

	開催月日	概 要
第1回	2023年6月26日	・都産技研による2022年度業務実績の報告
第2回	2023年7月5日 2023年7月6日 (持ち回り開催)	・2022年度業務実績評価案の検討
第3回	2023年7月20日	・2022年度業務実績評価案の検討
第4回	2024年3月27日	・都産技研による2024年度年度計画の報告

4 2023年度 年度計画

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第26条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期計画（以下「中期計画」という。）を達成するための2023年度の業務運営に関する計画を以下のとおり定める。

I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援

1-1 技術相談

- ① ものづくりに関連するサービス産業などの技術分野の相談について積極的に対応する。また、支援内容のデータベース化及び相談内容の分析を行い、得られたデータやデジタル技術を活用した効率的かつ効果的な相談業務を実施する。
- ② 利用者の利便性向上のため、技術相談のデジタル化を推進する。ウェブ相談やメール相談を充実する。
- ③ 総合支援窓口において、複数技術分野にまたがる相談への一括対応、料金収納及び報告書の発行など、サービス機能の提供を継続実施する。

1-2 依頼試験

- ① 製品などの品質・性能の評価や事故原因究明等、中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。
- ② 都産技研の特徴的な技術分野において、一層高品質なサービスを実施する。また、試験所認定を伴う業務を継続実施するとともに、試験所認定の範囲を拡充する。
- ③ 中小企業ニーズに基づき公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理を適切に行う。
- ④ 依頼試験手続きに係る文書等の電子化を進める。
- ⑤ 東京都との「放射性物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。
- ⑥ 原子力発電所の事故に伴い、工業製品の放射線量測定試験を実施する。

1-3 機器利用

- ① 中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、機器の操作方法のアドバイスや測定データの説明などについての的確な指導・助言を行う。
- ② 高度な先端機器の機器利用ライセンス制度を継続する。
- ③ 都産技研ウェブサイトを活用し、機器利用可能情報の提供を継続する。

依頼試験及び機器利用の合計利用件数については、2023年度中27万件を目標とする。

1-4 オーダーメイド型技術支援

2021年に策定した「技術支援戦略」に基づき、試作や評価、人材育成など適宜組み合わせ

提案するオーダーメイド型技術支援により、中小企業の製品開発の段階に応じたきめ細かい支援を実施する。

オーダーメイド型技術支援を利用して製品化又は事業化に至った件数については、2023年度中 25件を目標とする。

1-5 基盤研究

- ① 第四期研究開発戦略に基づき、重点的に取り組む研究テーマを設定して着実に実施する。
- ② 多くの中小企業が抱える課題への対応に必要な研究、市場の拡大が見込まれる分野、及び社会的課題解決に資する分野の研究を基盤研究として取り組む。
- ③ 分野を横断・融合するような技術課題に対して、各研究部門で協力し、重点的に取り組む。
- ④ 基盤研究によって得られた研究成果を、製品化・事業化及び支援事業、共同研究、外部資金導入研究へと発展させる。

基盤研究の成果を基に、支援事業に発展した件数、共同研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、2023年度中27件を目標とする。

1-6 共同研究

- ① 基盤研究で得られた研究成果や中小企業や大学などのアイデアや技術シーズを効率的かつ効果的に製品化・事業化へつなげていくため、積極的に共同研究を実施する。
- ② 共同研究終了後も、製品化・事業化などの状況を把握し、支援事業でサポートするなど、フォローアップを充実させる。

1-7 外部資金導入研究・調査

- ① 技術開発の要素が大きい経済産業省の提案公募型事業や科学研究費助成事業などへ積極的に応募し、採択を目指す。
- ② 新領域や萌芽的研究、あるいは未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して、積極的に応募する。

1-8 知的財産の取得と活用

- ① 基盤研究や共同研究等の成果を精査し、知的財産権として出願するとともに、適切に管理する。
- ② 外部への積極的 PR 等により、知的財産権の実施許諾を推進する。

2 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援

2-1 新産業創出支援

- ① 「DX推進センター」において、中小企業のデジタルトランスフォーメーションに対する取り組み状況を踏まえ、普及啓発や、中小企業や大学などとの共同研究を通じ、IoT、ロボット技術などの社会実装を促進する。
- ② 中小企業の航空機産業への参入を技術的に支援するため、「航空機産業支援室」において、試作部品の技術検証の支援や、航空機に使用される国際規格に準拠した試験を実施する。
- ③ ものづくりベンチャーを育成するため、導入した機器を活用し、技術面から支援する。

2-2 社会的課題解決支援

- ① バイオ基盤技術を活用し、「ヘルスケア産業支援室」を拠点とした中小企業の化粧品などの製品開発を支援する。
- ② 食の高品質化、機能的食品、代替食品に関して、導入した機器を活用し、フードテックによる中小企業の製品開発を支援する。
- ③ パラリンピックのレガシーとして、中小企業の障害者用具等に関する製品開発を支援する。
- ④ サーキュラーエコノミーの実現に向けて、中小企業の循環経済事業への参入を支援するための技術調査や普及啓発に取り組む。
- ⑤ コロナ禍後の生活環境を踏まえたデジタルトランスフォーメーションに関する技術開発を継続する。

3 中小企業等の新事業展開支援

3-1 多様な連携によるオープンイノベーション等の促進

- ① 金融機関など他の支援機関や、豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と協力して、中小企業のオープンイノベーションにつながる交流の場や機会を提供する。
- ② 中小企業間連携による継続的な交流活動を通じて、技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。
- ③ 東京都をはじめとする自治体、中小企業支援機関などが実施する中小企業などへの助成や表彰などのための技術審査に積極的に協力する。
- ④ 他の公設試験研究機関や大学などと緊密な連携を図り、相互に補完して中小企業への技術支援の充実を図る。

3-2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援

- ① 新製品・新技術開発や、起業・第二創業を目指す中小企業に対して、都産技研の資源が活用できる本部と多摩テクノプラザの製品開発支援ラボの利用を促進する。
- ② 製品開発支援ラボの入居企業のきめ細かなニーズの把握と都産技研がコラボレーションする場を積極的に提供することにより、製品化・事業化を支援する。
- ③ 都のスタートアップ支援事業や起業支援機関との連携により、スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する。

3-3 海外展開の促進

- ① 中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な海外の法規制や国際規格への適合性などの相談やセミナーを、対象範囲を拡充し実施する。
- ② 中小企業の海外展開等に必要となる国際規格適合性の技術支援などにより、中小企業の海外展開支援を実施する。
- ③ 海外支援拠点であるバンコク支所と本部などでオンラインを活用し、海外進出した企業のニーズに合わせ、セミナーによる情報提供や相談対応などの技術支援を実施する。

中小企業の海外展開に寄与した件数については、2023年度中24件を目標とする。

4 地域や支所の特色を活かした支援

4-1 支所における支援

- ① 各地域の産業の変化などを踏まえ、各支所の役割を検証するとともに、施設の整備を行う。
- ② 多摩テクノプラザにおいて、複合素材開発サイトでは繊維強化複合材料などの開発支援を、EMCサイトでは車載電子機器や小型モビリティなどの安全性・信頼性評価やゼロエミッション推進に向けた、関連企業・団体との連携・情報共有、人材育成により開発支援の充実を図る。
- ③ 城東支所では、施設改修により城東地域中小企業振興センターでの業務を停止する。デジタル技術を活用した製品デザイン支援の機能を本部に移し、地域企業の製品開発支援を継続する。
- ④ 墨田支所では、人間工学的評価に基づいた生活関連製品の開発支援を図る。
- ⑤ 城南支所では、精密加工品を中心とする地域企業の高品質高付加価値製品の開発支援を図る。

4-2 食品産業への支援

- ① 食品産業に関わる先端技術等を活用し研究開発や支援業務の充実を図り、食を巡る様々な課題解決に取り組む。
- ② 東京都中小企業振興公社や都の農林水産業振興部門と連携を図り、商品の販路開拓や地域の特色を活かした商品開発を支援する。

5 東京の産業を支える産業人材の育成

5-1 中小企業の中核人材の育成

- ① 様々な技術分野の最新動向などに関するセミナーや都産技研が有する技術・設備を活用した実践に役立つ講習会を開催し、中小企業の中核を担う人材の育成を行う。
- ② ライブ配信又はオンデマンド配信などデジタル化によるセミナーを開催するなど、様々な形式による研修の機会を提供する。

5-2 次世代を担う人材の育成

大学、高等専門学校等から研修学生などを受け入れ、都産技研が有する技術や高度な設備などを活用した研究開発の機会を提供する。

6 情報発信の推進

- ① 2021年度に策定した「広報戦略」を踏まえ、ウェブサイト、広報誌、ニュース配信等により研究開発成果や保有する技術情報を分かりやすく伝えるよう、内容の充実に努める。紙媒体による広報誌のデジタル化を進め、迅速かつ幅広い技術情報の提供を実施する。
- ② 研究発表会やイベントへの出展を通じ、都産技研の研究成果や事業の普及を行う。
- ③ 動画共有サイト、SNS等を活用し、積極的な情報発信を行う。また、プレス発表を強化し、メディアからの個別取材にも対応するなど、研究や支援事業成果を積極的に発信する。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織体制及び運営

1-1 機動性の高い組織体制の確保

- ① 事業動向等を踏まえ組織体制の検証を不断に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。
- ② 既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

1-2 適正な組織運営

- ① 事業別のセグメント管理、業務時間分析等を活用し、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証する。
- ② 中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供できる組織運営を継続する。
- ③ 法令等を遵守しつつ業務を行い、都産技研のミッションを的確に果たすため、内部統制を推進し、適正な組織運営を行う。

1-3 職員の確保・育成

- ① コロナ禍後の産業構造の変化で必要となる技術開発や中小企業が抱える課題を解決する研究開発の強化に向け、専門性の高い優秀な研究職員を計画的に採用する。
- ② 機動的で柔軟な組織運営に向け、重要な役割を担う事務職員を計画的に確保する。
- ③ 技術支援力の向上とともに、デジタルトランスフォーメーションの推進をはじめ、多様化する中小企業支援ニーズに対応できる職員の育成に向け、人材育成計画に基づき効果的な研修を計画的・体系的に実施する。

1-4 ライフ・ワーク・バランスの推進

- ① 多様・柔軟な勤務形態の設定や休暇等の取得促進、テレワークの活用やフレキシブルな人員配置などにより、効率的な業務遂行を推進する。
- ② 組織全体として超過勤務の縮減に努めるとともに、職員の心身の健康維持と業務の効率性向上の両立を図る。

1-5 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ① 導入した各システムやITツールを活用し、業務のデジタル化および運営の効率化を図る。
- ② 導入した受付システムや機器利用予約システムを活用し、利用者へのサービス向上を推進する。
- ③ 各種支援内容のデータベース化など、デジタル技術による支援業務実績の整理と活用を行う。

2 業務運営の効率化と経費節減

2-1 業務改革の推進

- ① お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として業務改革を推進し、高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。
- ② コンビニ払いなどによるキャッシュレス化の推進、電子入札、テレワークやオンライン会議の実施、会議のペーパーレス化の徹底、各種業務システムの活用などを継続実施し、業務のデジタル化を促進する。また、外部機関や専門家の活用も含め業務のアウトソーシングも継続する。
- ③ コピー用紙調達量について、2025年度末までに2019年度比50%減を目指し、ペーパーレス化に向け取り組みを強化する。

都産技研内部の会議及び委員会のペーパーレスでの開催率については、2023年度80パーセント以上とすることを目標とする。

2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（効率化が困難な経費を除く。）を充当して行う業務については、産業構造の大きな転換やこれらに伴う中小企業ニーズの変化に基づく業務の見直し、自己収入の増加、事務処理の効率性の向上を図る。

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 資産の適正な管理運用

- ① 安全かつ効率的な資金運用管理を推進するとともに、債権管理を適切に行う。
- ② 建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定などが確実に実施できるよう管理運用する。これらの利用率が低い場合は、適切な有効活用を図る。

Ⅲ 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

Ⅳ 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

15億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借り入れの必要が生じることが想定される。

Ⅴ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし

Ⅵ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし

Ⅶ 剰余金及び積立金の使途

1 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、新しい事業の開始、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において、地方独立行政法人法第40条第1項又は第2項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

Ⅷ その他業務運営に関する事項

1 施設・設備の整備と活用

- ① 業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。都産技研本部のゼロエミッション化に資するため、既設照明のLED化、太陽光発電設備の設置、電気自動車用急速充電装置の設置を行う。
- ② 実施に当たっては、必要な財源を適切に確保し、総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

2 危機管理対策の推進

「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、危機管理体制の整備を継続する。

- ① 個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止に向け、全職員を対象に研修を実施する。
情報セキュリティ事故を未然に防止するため、職員への適切な情報提供や研修の実施に加え、システムやソフトウェアの適宜更新など、ヒューマンエラーによるリスクを低減する技術的対策やサイバーセキュリティ対策を講じ、個人情報の管理等を徹底する。
- ② 環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練や職員への意識向上のための研修を実施する。
- ③ 震災の発生や新興感染症の流行などに備えた対応策を必要に応じて見直すとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた確に対応する。
- ④ 緊急事態への対応方法を防災訓練や研修などで周知徹底するとともに、通報訓練や職員の安否確認システムを用いた訓練等を実施し、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制を継続する。

3 社会的責任

3-1 情報公開

運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ウェブサイトや刊行物の発行などにより経営情報の公開に取り組む。事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、SDGs(持続可能な開発目標)を意識し、省エネルギー対策の推進、CO₂削減等、環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

4 内部統制によるガバナンス強化とコンプライアンスの推進

- ① 内部統制の仕組みを有効に機能させるため、規程類の点検、整備を行う。
- ② 内部監査、業務点検の監査項目を適切に設定する。
- ③ コンプライアンスガイドを研修などにおいて活用することで、職員の意識を向上させる。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算

2023年度 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	5,691
標準運営費交付金（効率化対象内）	4,772
標準運営費交付金（効率化対象外）	194
特定運営費交付金（共済以外）	306
特定運営費交付金（共済）	419
施設整備費補助金	0
自己収入	1,127
事業収入	720
補助金収入	0
外部資金研究費等	100
その他収入	307
積立金取崩	0
計	6,818
支出	
業務費	5,060
試験研究経費	1,304
プロジェクト事業	306
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	2,931
共済組合負担金	419
一般管理費	1,758
計	6,818

[人件費の見積り]

2023年度、3,350百万円支出する。（退職手当は除く。）

2. 収支計画

2023年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,471
経常費用	7,471
業務費	4,516
試験研究経費	960
プロジェクト事業	106
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	2,931
共済組合負担金	419
一般管理費	1,758
減価償却費	1,197
収入の部	7,471
経常収益	7,471
運営費交付金収益	5,147
事業収益	720
外部資金研究費等収益	100
補助金等収益	0
その他収益	307
資産見返運営費交付金等戻入	1,179
資産見返補助金等戻入	15
資産見返物品受贈額戻入	0
資産見返寄附金等戻入	3
純利益	0
総利益	0

3. 資金計画

2023年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	6,818
業務活動による支出	6,274
投資活動による支出	544
資金収入	6,818
業務活動による収入	6,818
運営費交付金による収入	5,691
事業収入	720
外部資金研究費等による収入	100
補助金等による収入	0
その他の収入	307

※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。

都産技2024-5

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
2023年度 年報
2024年8月31日発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
企画部 経営企画室
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL 03-5530-2426
URL <https://www.iri-tokyo.jp/>

2023年度 年報
2024年8月

